FUJITSU Printer

B5WY-1611-01

XL シリーズ

ハードウェアガイド

ページプリンタ XL-9381/9321

製品を安全に使用していただくために

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の「安全上のご注意」（→ P.10）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所、通気性の悪い場所、直射日光のあたる場所、振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所、温泉地など硫黄の影響を受ける場所に設置しないでください。装置故障だけではなく、火災、故障、感電などの原因になることがあります。
表示された正しい電源・電圧でお使いください。

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。
矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

本製品の粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の拡散については、エコマーク No.122「プリンタ version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。
トナーは本製品にて推奨しておりますトナーカートリッジやドラムカートリッジを使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しております。
推奨トナーカートリッジやドラムカートリッジについては、「サプライ品一覧」（→ P.226）をご覧ください。

梱包物の確認とプリンタの設置は済んでいますか

添付されている梱包物の確認や、プリンタの設置、および動作確認が済んでいない場合は、添付の『設置ガイド』をご覧になり、プリンタを使用するための準備を行ってください。

第 1 章 お使いになる前に

本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1

第 2 章 プリンタを設置・接続する

本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

2

第 3 章 オプションを取り付ける

本製品のオプションであるプリンタ RAM モジュール、拡張給紙ユニットの取り付け方法を説明します。

3

第 4 章 日常の操作

本製品を使って印刷するときに必要となる、用紙のセット、トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換、プリンタ本体の清掃など、日常的な操作について説明します。

4

第 5 章 オペレータパネルの操作

液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

5

第 6 章 使用できる用紙と保管方法

本製品で使用できる用紙、使用できない用紙、用紙保管上のご注意について説明します。

6

第 7 章 こんなときには

故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

7

第 8 章 付録

本製品を使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。

8

目次

このマニュアル以外の情報は「画面で見るマニュアル」をご覧ください 5
製品に関する注意事項 5
このマニュアルの表記について 7
搭載ソフトウェアの IPv6 対応について 10
安全上のご注意 10

第 1 章　お使いになる前に

1　本製品の特長 18
2　各部の名称と機能 22

第 2 章　プリンタを設置・接続する

1　設置時の注意事項 28
本製品のサイズ 28
設置～動作確認までの注意事項 30
電源の入れ方／切り方 33
2　パソコンやネットワークに接続する 35
LAN ケーブル接続の場合 35
パラレルケーブル接続の場合 38
プリンタ USB ケーブル接続の場合 41

第 3 章　オプションを取り付ける

1　取り付け可能なオプションとご注意 44
取り付け可能なオプション 44
取り付け時のご注意 48
2　プリンタ RAM モジュールの取り付け 49
取り付け 49
取り外し 52
3　拡張給紙ユニットの取り付け 53
取り付け 53
取り外し 55

第 4 章　日常の操作

1　用紙をセットする 58
用紙をセットする向きについて 58
給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする 60
A4 SEF より大きい用紙をセットするとき 63
給紙トレイに用紙をセットする 64
はがきをセットする 66
封筒をセットする 68
2　印刷する 72
プリンタの状態確認（ポップアップ） 73
3　印刷を中止する 74
パソコンの画面から中止する（双方向通信が有効なとき） 74
オペレータパネルから中止する 75
4　トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項 77
トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する 77
トナーカートリッジやドラムカートリッジの取り扱いと保管 85

5 プリンタを清掃する 86
給紙カセット、給紙コロを清掃する 87
レジストローラを清掃する 89
給紙トレイの給紙コロを清掃する 91
LED ヘッドを清掃する 92
電源プラグについて 94
6 プリンタを長時間使用しないとき 95
7 プリンタを移動するとき 97
近くに移動する 97
梱包して運搬する 99

第 5 章 オペレータパネルの操作

1 各部の名称と機能 102
2 液晶ディスプレイの表示内容 104
電源を入れたときの表示内容 104
オンライン（印刷できる状態）時の表示内容 104
節電時の表示内容 106
節電モード 107
3 操作方法 108
基本的な操作方法 108
設定項目一覧 113
4 代表的な設定項目とその操作方法 124
設定の一覧印刷 124
テスト印刷（印字率約 5% サンプル） 125
IP アドレスの設定 126
TCP/IP の動作確認 131
セキュリティに関する設定 133

第 6 章 使用できる用紙と保管方法

1 使用できる用紙 138
給紙方法と用紙のサイズ 138
使用できる用紙の種類 140
2 使用できない用紙 144
3 用紙保管上のご注意 146

第 7 章 こんなときには

1 紙詰まりになったとき 148
紙詰まり発生時の状態と発生場所 148
用紙が詰まったとき 152
紙詰まり（A1）が発生したとき 153
紙詰まり（A2）が発生したとき 155
紙詰まり（B）が発生したとき 156
紙詰まり（B）（C）が発生したとき 159
紙詰まり（Y1）、（Y2）、または（Y3）が発生したとき 163
紙詰まり（Z1）が発生したとき 165
紙詰まり（Z2）が発生したとき 168
その他の紙詰まりが発生したとき 170
2 故障かなと思ったとき 175
3 印刷品質が低下したとき 179
4 メッセージ一覧 186
オペレータパネルに表示されるメッセージ 186
Windows 画面に表示されるメッセージ一覧 204

第 8 章　付録

1　仕様 214
本体仕様 214
インターフェース仕様 221
2　オプション品一覧 223
3　有寿命部品／消耗品／定期交換部品／ 24 時間運用について 224
4　サプライ品一覧 226
5　推奨用紙 228
6　用紙の印刷方向と印刷可能領域について 229
印刷方向 229
印刷可能領域 230
7　アフターサービスについて 232
本製品の廃棄について 233
本マニュアルで紹介している URL について 233

このマニュアル以外の情報は 「画面で見るマニュアル」をご覧ください

プリンタドライバのインストール方法など、このマニュアル以外の情報については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。添付の◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると表示される「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」画面で、「画面で見るマニュアル」をクリックすると次の画面が表示されます。

「XL-9381/XL-9321」を選択後、ご覧になりたいマニュアル名をクリックすると、マニュアルが表示されます。

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳しくは、本文をよくお読みになったうえで本製品を正しくお使いください。

製品寿命 （耐用期間） について

本製品の耐用期間（寿命）は、次のいずれか早いほうです。

- XL-9381：120 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（LEF））、
  XL-9321：60 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（LEF））
  「LEF」については、「用紙をセットする向きについて」（→ P.58）をご覧ください。
- 5 年（8 時間 / 日）

詳しくは、「本体仕様」（→ P.214）をご覧ください。

重要

- 耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
- A4 LEF より長い用紙を使用した場合、耐用期間は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。

サプライ品 （消耗品） について

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジや用紙などは、本製品専用の純正サプライ品をお使いください。
非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
詳しくは、「サプライ品一覧」（→ P.226）をご覧ください。

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は次のようになります。

定期交換部品	交換時期の目安
定着器	9 万ページ印刷ごとを目安に「定着器交換」で交換
給紙カセット給紙コロ	
給紙カセットフリクションパッド	
転写ローラ	

［注］上記は、A4 サイズ横送り（LEF）／片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。
A4 LEF より長い用紙を使用した場合、寿命は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。

サポート OS について

本製品がサポートしている OS は、Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2003 です。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本製品に関するお問い合わせをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンをお聞きする場合があります。
プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法については、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

冷却ファンについて

冷却ファンは、機内冷却のため回転したままになることがあります。冷却ファン回転中は、電源を切ったり、電源プラグを引き抜いたりしないでください。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

記号	内容
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号	内容
⚠	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
🛇	🛇で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、 イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 画面例でプリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- このマニュアルに掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をダブルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、シングルクリックに読み替えてください。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

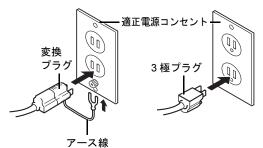
記号	内容
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。
	画面で見るマニュアルを表しています。起動方法は、「このマニュアル以外の情報は「画面で見るマニュアル」をご覧ください」（→ P.5）をご覧ください。
	CD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>Windows 8.1 64 ビット版</td><td colspan="2" rowspan="6">Windows 8.1</td><td rowspan="20">Windows</td></tr>
<tr><td>Windows 8.1 Pro 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8.1 Enterprise 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8.1 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8.1 Pro 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8.1 Enterprise 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8 64 ビット版</td><td colspan="2" rowspan="6">Windows 8</td></tr>
<tr><td>Windows 8 Pro 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8 Enterprise 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8 Pro 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 8 Enterprise 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter</td><td rowspan="4">Windows Server 2012 R2</td><td rowspan="8">Windows Server 2012</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter</td><td rowspan="4">Windows Server 2012 （R2 以外）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2012 Standard</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>Windows 7 Ultimate 64 ビット版</td><td colspan="2" rowspan="9">Windows 7</td><td rowspan="37">Windows</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Enterprise 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Professional 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Home Premium 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Ultimate 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Enterprise 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Professional 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Home Premium 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Starter</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Ultimate 64 ビット版</td><td colspan="2" rowspan="10">Windows Vista</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Enterprise 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Business 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Home Premium 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Home Basic 64 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Ultimate 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Enterprise 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Business 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Home Premium 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Windows Vista Home Basic 32 ビット版</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Standard</td><td rowspan="2">Windows Server 2008 R2</td><td rowspan="10">Windows Server 2008</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Enterprise</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008, Standard（64-bit）</td><td rowspan="8">Windows Server 2008（R2 以外）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™（64-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise（64-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™（64-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008, Standard（32-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™（32-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise（32-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™（32-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition</td><td colspan="2" rowspan="8">Windows Server 2003</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition</td></tr>
</table>

電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている電源コードの電源プラグは「3 極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。
平行 2 極接地端子付きコンセント（125V15A）への変換プラグも添付されていますので、コンセント形状に合わせて使用してください。
なお、標準添付の変換プラグ以外は使用しないでください。

搭載ソフトウェアの IPv6 対応について

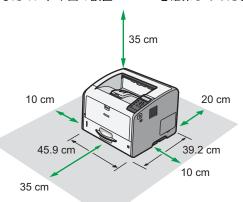
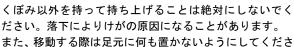
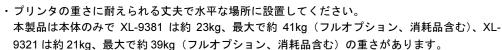
本製品は、IPv6 Ready Logo Phase-2 テストに合格しています。

安全上のご注意

設置および移動に関するご注意

・次の場所には設置しないでください。感電・火災の原因になります。
　火気のある場所
　ストーブやヒーター等の発熱器具に近い場所、高温になる場所
　アルコール、シンナー、ガソリン等の揮発性可燃物やカーテン等の燃えやすい物に近い場所
　風呂場、シャワー室等の水場、水気のある場所
　湿気・ほこり・油煙の多い場所
　通気性の悪い場所
　直射日光の当たる場所
　振動の激しい場所や傾いた場所等の不安定な場所
　温泉地など、硫黄の影響を受ける場所
・プリンタの上に次のような物を置かないでください。火災や感電の原因になります。
　花瓶、植木鉢、コップ等の水や液体の入った容器
　クリップ、アクセサリー等の金属物

⚠注意

・プリンタの吸気口、および排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

・本製品は、オプションや消耗品、用紙がない状態で　XL-9381 は約 23kg、XL-9321 は約 21kg の重さがあります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、左右にあるくぼみをしっかりと持ち、ゆっくりと持ち上げてください。
くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
また、移動する際は足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。

・プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。
本製品は本体のみで XL-9381 は約 23kg、最大で約 41kg（フルオプション、消耗品含む）、XL-9321 は約 21kg、最大で約 39kg（フルオプション、消耗品含む）の重さがあります。

・プリンタの上に物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。
・プリンタは、水平に移動してください。
転倒などによりけがの原因になることがあります。

・プリンタを移動する場合は、接続ケーブルを抜いた後に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。作業中は、足元に充分注意してください。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因になったり、本製品が倒れたりしてけがの原因になることがあります。

・給紙カセットを伸ばした状態 (A3 用紙などをセットした状態) で、プリンタの前後を持って移動しないでください。
落下によるけがの原因となったり、本製品が破損するおそれがあります。

電源に関するご注意

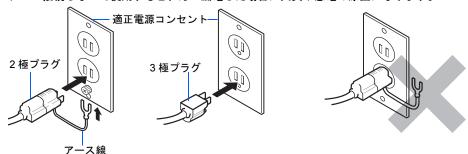
 警告

- 添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは、交流 100V、15A 以上のコンセント以外には差し込まないでください。本製品の定格電源は 100V、12A です。また、タコ足配線はしないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 延長コードは、定格（125V、15A）未満の物は使用しないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 矩形波が出力される機器に接続しないでください。
  火災の原因になります。

- 電源プラグおよびその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。
  そのまま使用すると火災の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
  ほこりが付いたりして、火災や故障の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電の原因になります。

- 次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。
  ガス管（引火や爆発の危険があります。）
  電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
  水道管や蛇口（配管の途中がプラスチック等になっている場合は、アースの役目を果たしません。）

- 電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。
  電源コンセントのアース線端子
  銅片等を 650 ㎜以上地中に埋めたもの
  D 種（旧：第 3 種）接地工事を行っている接地端子
- アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。
  アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因になります。

⚠警告

・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、接続ケーブルを抜き、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因になります。

・近くで落雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

⚠注意

・プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。電源が入っている場合は、電源スイッチを押し、必ずオペレーションパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れていることを確認してください。
プラグが変形し、火災の原因になることがあります。

・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になることがあります。

・1ヶ月に一度は、次のようなことを点検してください。
電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
電源プラグに異常な発熱およびさび、変形などはありませんか？
電源プラグやコンセントにほこりが付いていませんか？
電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか？
アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？
なお異常があるときは、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。

・長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのままにしておくと、劣化により火災や感電の原因になることがあります。

・プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

⚠ 警告

・プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災や感電の原因になります。

・吸気口や排気口などの開口部から、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災や感電の原因になります。

・カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。
火災や感電の原因になります。

・プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

・次のようなときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき
異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき
プリンタを落としたり、カバーなどを破損したとき
その後「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

・プリンタ、オプション品、サプライ品（トナーカートリッジやドラムカートリッジなど）を分解したり改造したりしないでください。このマニュアルで指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になります。

・トナーカートリッジやドラムカートリッジを火中に投じないでください。
トナー粉が跳ねてやけどや粉じん爆発の原因になります。使用済みのトナーカートリッジやドラムカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。
詳しくは、「使用済みトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの回収サービス」（→ P.232）をご覧ください。

注意

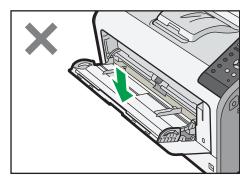
- 「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には絶対に触れないでください。
  やけどの原因になることがあります。

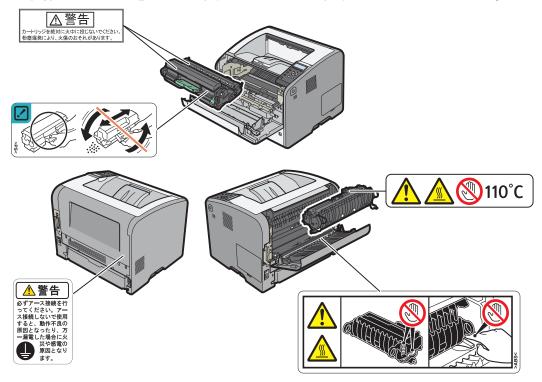
- 詰まった用紙を取り除くときは次の点に注意してください。
  このマニュアル内の「紙詰まりになったとき」（→ P.148）をよくお読みください。
  ネクタイやネックレス等を身に着けている場合は、プリンタ内部に巻き込まれないように、外してから操作してください。また、髪の毛が巻き込まれないよう、注意してください。
  鋭利部に触れないよう注意してください。
  プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると、火災などの原因になることがあります。
  定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないでただちに電源を切り、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。

- 使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。
  熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。
  プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因になることがあります。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。
  また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。
- 換気の悪い部屋で長時間ご使用になる場合や、大量印刷する場合は、充分な換気を行ってください。

- 用紙排出部のローラが作動しているときは作動部には触れないでください。
  指をはさみ、けがをする原因になることがあります。

- トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。
  万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。
  万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

- 給紙トレイのカバーに必要以上の力をかけたり、物を載せたりしないでください。カバーの破損の原因になります。また、カバーが破損した場合、落下によるけがの原因となるおそれがあります。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。
なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

ウイングアーク テクノロジーズ、SVF、Report Director Enterprise は、ウイングアーク テクノロジーズ株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
ESC/P、ESC/Page は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

第 1 章

お使いになる前に

この章では、本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1　本製品の特長 18
2　各部の名称と機能 22

1 本製品の特長

本製品の特長は次のとおりです。

■省エネの実現

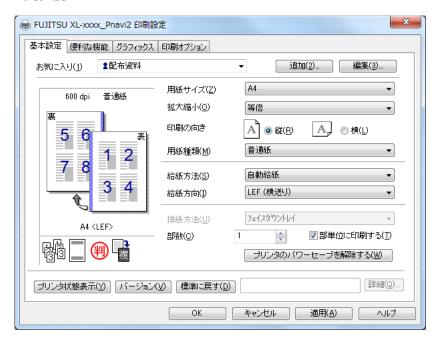
スリープモードの採用により、待機時消費電力 0.35W を実現しています。

■高速で高品位な印刷

XL-9381 は最大 38 ページ / 分、XL-9321 は最大 32 ページ / 分の高速での印刷が可能です。また、1200dpi の高解像度で印刷できます。1200dpi でも同じ速度で印刷が可能です。

■3 つのポートに対応

USB2.0、パラレル、LAN（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応）の 3 つのポートを標準装備しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

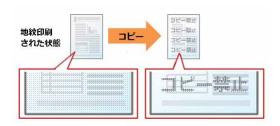
■高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア

・拡大／縮小印刷
　印刷する用紙サイズに合わせてデータを拡大または縮小して印刷します。
・部単位印刷
　2 部以上印刷をする際に部単位で印刷します。

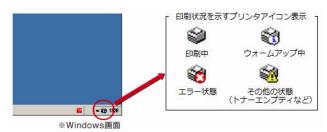
- お気に入りの設定
  よく使うドライバの設定を「お気に入り」として登録できます。
  登録した設定は 1 クリックで呼び出すことができます。
- N-up 印刷
  印刷データを 1 枚に印刷できます。

- 両面印刷

- ヘッダー／フッター印刷

・スタンプ印刷

・地紋印刷

・プリンタ管理ソフト「Printianavi2」

双方向プリンティングシステム「Printianavi2」を利用することで FUJITSU Printer XL シリーズプリンタの状態表示、印刷中止、印刷完了通知などの統合的な管理をパソコンで行うことができます。

・ネットワークソフトウェアにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

詳しくは、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

■さまざまな用紙サイズに対応

・給紙トレイ（標準）を使用することで、簡単に用紙サイズを変更できます。
・定形では、最大 A3 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義サイズ（長尺紙を含む）、厚紙（91g/ ㎡～ 220g/ ㎡）といった、さまざまな種類の用紙へ印刷することも可能です。

■便利な機能

・給紙カセットごとに、自動給紙の指定（有効／無効）が可能です（定形サイズ印刷時のみ）。
・給紙カセットからのユーザ定義サイズ（長尺紙除く）の用紙への印刷が可能です。

■優れた拡張性

次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。

・給紙カセット（標準 1 段 + オプションの拡張給紙ユニットを最大 3 段）取り付けることができ、給紙トレイを合わせると XL-9381 は最大 2300 枚、XL-9321 は最大 2000 枚の用紙をセットすることができます。

■次世代通信プロトコル IPv6 に対応

本製品に割り当てられた IPv6 アドレスや、設定したホスト名を用いることによって、対応アプリケーションから IPv6 通信で印刷できます（Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008）。詳しくは、「IPv6 アドレスの場合」（→ P.128）をご覧ください。

■セキュリティ機能の充実

ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザーがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなど、セキュリティ面でも優れた機能をもっています。

■E メール送信機能

消耗品や定期交換部品の交換要求やハードエラーが発生したときに、設定した E メールアドレスに、E メールを送信してお知らせします。E メールの送信先は 3 つまで設定できます。

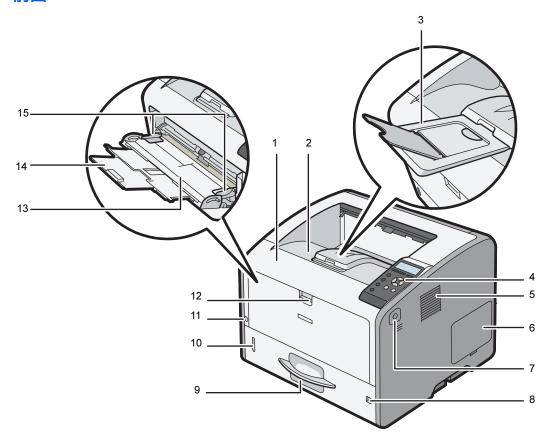
■ユーザビリティへの配慮

給紙カセットに取っ手を付け、用紙セット時の給紙カセットの抜き差しがしやすくなっています。

■SVF 帳票基盤ソリューションと連携

ウイングアーク テクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時は、プリンタの「機種」を「EPSON ESC/Page」にすることで、本製品への印刷が可能です。

2 各部の名称と機能

前面

1 前カバー

詰まった用紙を取り除くとき、トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときに開きます。

2 排紙トレイ

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

3 延長排紙トレイ

排紙トレイから用紙が落ちないように引き出します。

4 オペレータパネル

操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。

詳しくは、「オペレータパネルの操作」（→ P.101）をご覧ください。

表示されるメッセージは、「メッセージ一覧」（→ P.186）をご覧ください。

5 通風口（吸気）

機械内部の温度上昇を防止します。

6 メモリカバー

プリンタ RAM モジュールを取り付けるときに、このカバーを取り外します。

1

7 前カバーオープンボタン

前カバーを開けるときに押します。

8 用紙サイズダイヤル

用紙サイズを設定するときにこのダイヤルを使用します。用紙サイズダイヤルに表示されていない用紙サイズを使用するときは、ダイヤルを「＊」に合わせて用紙サイズを指定してください。

9 給紙カセット（カセット 1）

用紙をセットします。用紙は XL-9381：550 枚（普通紙）、XL-9321：250 枚（普通紙）までセットできます。

使用できる用紙サイズや用紙種類については、「使用できる用紙」（→ P.138）をご覧ください。

10 用紙残量インジケーター

給紙カセットの中に残っている用紙のおおよその残量を示します。

11 電源スイッチ

電源を入れるときまたは切るときにこのスイッチを押します。

12 給紙トレイオープンボタン

給紙トレイを開けるときに押します。

13 給紙トレイ

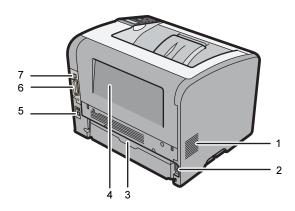
用紙をセットします。普通紙で最大 100 枚までセットできます。使用できる用紙サイズや用紙種類については、「使用できる用紙」（→ P.138）をご覧ください。

14 給紙トレイ延長ガイド

長い用紙をセットするときに引き出します。

15 用紙ガイド板

給紙トレイに用紙をセットするときは、用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。

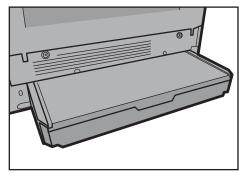
背面

1 通風口（吸気）

機械内部の温度上昇を防止します。

2 電源コードコネクタ

電源コードを差し込むコネクタです。電源コードの片方は、コンセントに差し込みます。

3 給紙カセットカバー

給紙カセットの延長カセットを引き出したときに、ちりやほこりの用紙への付着を防ぎます。

4 後ろカバー

詰まった用紙を取り除くときや、封筒レバーを操作するときに開けます。

5 LAN ケーブルコネクタ

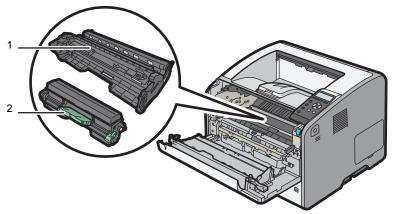
プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。

6 パラレルケーブルコネクタ

プリンタとパソコンをパラレルケーブルで接続するためのコネクタです。

7 プリンタ USB ケーブルコネクタ

プリンタとパソコンを USB ケーブルで接続するためのコネクタです。

内部 （前面）

1 ドラムカートリッジ

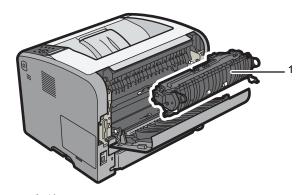
感光ドラム、現像部などで構成されているユニットです。ドラムカートリッジを交換する必要があるときは、オペレータパネルにメッセージが表示されます。詳しくは「トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項」（→ P.77）をご覧ください。

2 トナーカートリッジ

トナーが入っています。トナーカートリッジを交換する必要があるときは、オペレータパネルにメッセージが表示されます。詳しくは、「トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項」（→ P.77）をご覧ください。

POINT

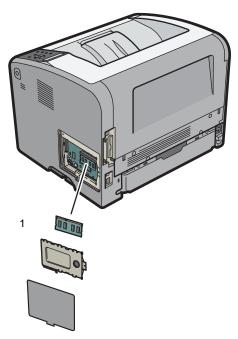
- 詰まった用紙を取り除くときは、そのまま引き出してドラムカートリッジごと取り外してください。トナーカートリッジを交換する場合など、トナーカートリッジだけ取り外すときは、右側にある緑色のバーを押し下げてから引き出します。

本体内部 （背面）

1 定着器

用紙にトナー定着させる機構です。プリンタ使用時は高温になっているので手を触れないように注意してください。詰まった用紙を取り除くときは、両側にある緑色のレバーを上げてから取り外します。定着器を交換する必要があるときは、オペレータパネルにメッセージが表示されます。

重要

- 定着器左右の緑色のレバーは、通常下げた状態で使用してください。

内部に取り付けるオプション

1 プリンタ RAM モジュール

プリンタ RAM モジュールを増設できます。取り付けについては、「プリンタ RAM モジュールの取り付け」（→ P.49）をご覧ください。

第 2 章

プリンタを設置・接続する

この章では、本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

1 設置時の注意事項 28
2 パソコンやネットワークに接続する 35

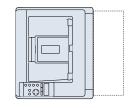
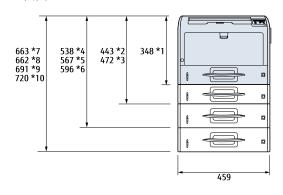
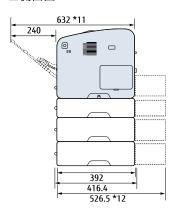
1　設置時の注意事項

本製品を設置し、単体で動作確認する手順については、『設置ガイド』をご覧ください。ここでは、設置時に注意していただきたいことや、補足情報を記載します。

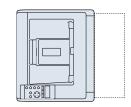
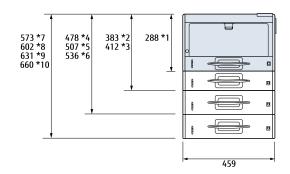
本製品のサイズ

本製品のサイズは次のとおりです。設置時のスペース確認にご利用ください。
また、設置スペースについては、「安全上のご注意」（→ P.10）をご覧ください。

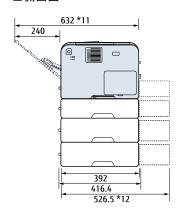
XL-9381 の場合

■上面図

■正面図

■側面図

*1：標準構成時
*2：拡張給紙ユニットA(250枚)を1段搭載時
*3：拡張給紙ユニットB(550枚)を1段搭載時
*4：拡張給紙ユニットA(250枚)を2段搭載時
*5：拡張給紙ユニットA(250枚)と拡張給紙ユニットB(550枚)を搭載時
*6：拡張給紙ユニットB(550枚)を2段搭載時
*7：拡張給紙ユニットA(250枚)を3段搭載時
*8：拡張給紙ユニットA(250枚)を2段と拡張給紙ユニットB(550枚)を搭載時
*9：拡張給紙ユニットA(250枚)と拡張給紙ユニットB(550枚)を2段搭載時
*10：拡張給紙ユニットB(550枚)を3段搭載時
*11：給紙トレイを開いて使用したとき
*12：給紙カセットを延長時

XL-9321 の場合

■上面図

■側面図

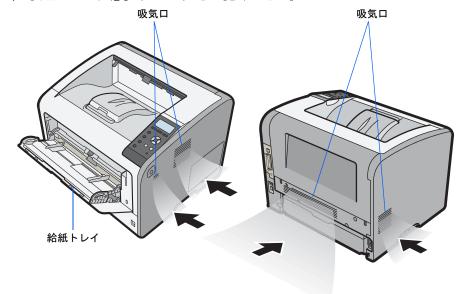
■正面図

*1：標準構成時
*2：拡張給紙ユニットA(250枚)を1段搭載時
*3：拡張給紙ユニットB(550枚)を1段搭載時
*4：拡張給紙ユニットA(250枚)を2段搭載時
*5：拡張給紙ユニットA(250枚)と拡張給紙ユニットB(550枚)を搭載時
*6：拡張給紙ユニットB(550枚)を2段搭載時
*7：拡張給紙ユニットA(250枚)を3段搭載時
*8：拡張給紙ユニットA(250枚)を2段と拡張給紙ユニットB(550枚)を搭載時
*9：拡張給紙ユニットA(250枚)と拡張給紙ユニットB(550枚)を2段搭載時
*10：拡張給紙ユニットB(550枚)を3段搭載時
*11：給紙トレイを開いて使用したとき
*12：給紙カセットを延長時

設置～動作確認までの注意事項

設置時

安全に快適に本製品をご利用いただくために、「安全上のご注意」（→ P.10）と共に、次の点に注意して設置してください。

- ご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
  温度：10 ～ 32 ℃、湿度：15 ～ 80％RH
  また、いつも良い状態でご使用いただける温度・湿度（推奨温度／推奨湿度）は、温度：15 ～ 25 ℃、湿度：30 ～ 70％RH です。
  温度 32 ℃のときは湿度 54％RH 以下、湿度が 80％RH 前後のときは温度 27 ℃以下でご使用ください（ただし、結露しないこと）。
  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、プリンタ本体の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
- サーバー接続などにより本製品の 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
  また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
- 本製品を前後左右に 5° 以上傾けないでください。
  画質障害の原因となります。
- 本製品は凹凸のない、平らな場所に設置してください。
  斜行などにより印字ずれが大きくなったり、故障の原因となったりします。
- ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなどの電波や磁気による障害が発生し、原因が本製品であると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。
  - 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）。
  - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
- 化学薬品や油分を使用または保管している環境では、本製品を使用しないでください。故障の原因となります。
- 電源コードやインタフェースケーブルの上に、本製品を載せないでください。

- 本製品の左右の側面には吸気口があります。
  吸気口をふさがないよう、壁から充分離して設置してください。設置スペースについては、「安全上のご注意」（→ P.10）をご覧ください。

- 本製品を設置する台は、本製品の底面全体が充分載る大きさのものを準備してください。
- 移転など、本製品を今後運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

重要

超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器を使用するときに水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出されて本製品の内部に付着し、画像不良の原因となります。使用時は、純水など不純物を含まない水をご使用ください。

トナーカートリッジやドラムカートリッジの取り付け時

⚠注意

- **トナーカートリッジやドラムカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のトナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けると、画質不良だけでなく、プリンタ本体の誤作動や故障の原因となる場合があります。**

トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。
- 直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラムカートリッジの取り付け作業は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ 5 分以内で終了してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。
- 感光体（ドラム）の表面には絶対に手を触れないでください。
- トナーカートリッジは、振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

電源コード接続時 ・ 電源投入時

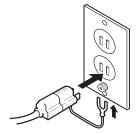
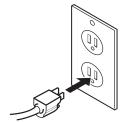
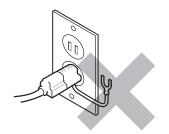
⚠警告

・電源コードを接続するときは、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れていることを確認します。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

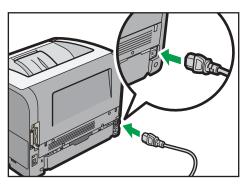
・変換プラグを使用する場合は、変換プラグから出ているアース線を、必ず次のいずれかに接続してください。
電源コンセントのアース線端子
銅片等を 650 ㎜以上地中に埋めたもの
D 種（旧：第 3 種）接地工事を行っている接地端子

・危険ですので、次の箇所にアース線を接続しないでください。
ガス管（引火や爆発の危険があります。）
電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。）

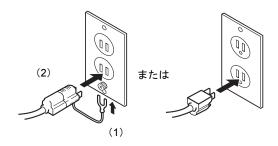
・プリンタや他の機器の電源コードに本製品を載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

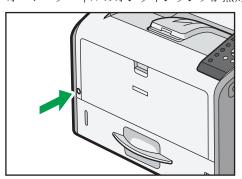
本製品の電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

2 極コンセントの場合

3 極コンセントの場合

電源の入れ方／切り方

電源の入れ方

1 電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込みます。

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

本製品の定格電源は、100V、12A 以下です。

変換プラグを利用する場合は、（1）アース接続を行ってから（2）電源プラグを差し込んでください。

3 電源スイッチを押します。

オペレータパネルのオンラインランプが点灯します。

電源の切り方

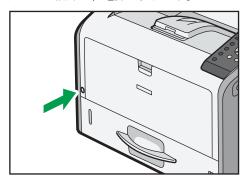
 注意

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要

・電源を切るときは、電源スイッチを押し続けないでください。電源スイッチを押し続けると電源が強制的に切れるため、メモリが破損して故障の原因になることがあります。
・電源プラグを抜くときは、電源ランプが消灯したことを確認してください。
・動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。
・電源が切断されない場合は電源スイッチを 4 秒以上押し続けてください。
オペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れていることを確認してください。

1 電源スイッチを押します。

電源切断の処理が終了すると自動的にオペレータパネルの液晶ディスプレイやオンラインランプが消灯し、電源が切れます。

重要

連続印刷直後などファン回転による冷却動作中は、ファン回転が終わってから電源が切れます。

2 パソコンやネットワークに接続する

本製品をパソコンやネットワークに接続する方法を説明します。お使いの環境に合わせて接続方法を選択してください。

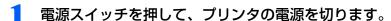
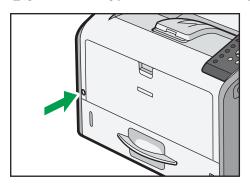
POINT

- 接続、運用形態は、次の基準を目安に選択してください。
  - LAN ケーブルで接続
    インターネットを利用して印刷する場合に選択します。LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
  - パラレルケーブル／プリンタ USB ケーブルで接続
    1 台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。より速く印刷したい場合は、プリンタ USB ケーブルによる接続をお勧めします。
- サーバー経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
- 本製品は、パラレル／ USB ／ LAN ケーブルを同時に接続できます。
  接続時は、「複数のポートに同時接続するときの注意事項」（→ P.37）もあわせてご覧ください。

LAN ケーブル接続の場合

本製品をネットワーク経由で接続するときは、ハブユニットとシールドツイストペアケーブルで接続します。通信速度に応じた適切なケーブルを選択してください。

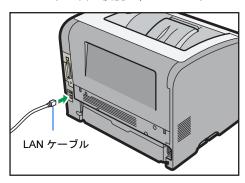
通信速度	利用できる LAN ケーブル
1000Base-T	エンハンスドカテゴリー 5 以上に対応したシールドツイストペアケーブル
100Base-TX	カテゴリー 5 以上に対応したシールドツイストペアケーブル
10Base-T	カテゴリー 3 以上に対応したシールドツイストペアケーブル

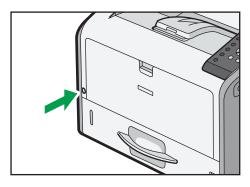
また、「LAN 接続時の注意事項」（→ P.37）もあわせてお読みください。

1 電源スイッチを押して、プリンタの電源を切ります。

重要

・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.186）をご覧ください。

2 LAN ケーブルを背面の LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

ハブユニット側の接続は、ハブユニットのマニュアルをご覧ください。

3 電源スイッチを押して、プリンタの電源を入れます。

オペレータパネルのオンラインランプが点灯します。電源が入らない場合は、「こんなときには」（→ P.147）をご覧ください。

この後は、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

POINT

・LAN ケーブルで接続した場合は、本製品に IP アドレスを設定する必要があります。
・IPv4 アドレスは、「Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されている「IP アドレス設定ユーティリティ 2」から設定するか、オペレータパネルから直接設定することができます。「IP アドレス設定ユーティリティ 2」については『ソフトウェアガイド』を、オペレータパネルの操作方法については「オペレータパネルの操作」（→ P.101）をご覧ください。
・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 40 秒かかります。
オペレータパネルの LED 表示がすべて消灯したことを確認してから、再度電源を入れてください。
・IPv6 アドレスは、「リンクローカルアドレス」「グローバルアドレス」の 2 種類の IPv6 アドレスの設定ができます。また、手動で IPv6 アドレスを設定する方法があります。IPv6 アドレスの設定方法については「IPv6 アドレスの場合」（→ P.128）をご覧ください。

LAN 接続時の注意事項

- LAN ケーブルをハブユニットに接続しても、ハブユニット側や本製品のリンクランプが点灯せず、ネットワークサーバーなどに接続できなかったり、印刷速度が低下したりすることがあります。
  このようなときは、プリンタの Ethernet タイプの設定を変更してください。本製品では Ethernet タイプとして「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選択できます（本製品の「10Mbps」は「10Mbps Half」を意味します）。本製品のオペレータパネルのメニューモードで、「初期設定」→「LAN 設定」→「Ethernet タイプ」を選択し、値を変更してください。オペレータパネルの操作方法については、「操作方法」（→ P.108）をご覧ください。プリンタの Ethernet タイプを変更しても改善されない場合は、プリンタを接続しているハブユニットの設定も変更してみてください。ハブユニットの Ethernet タイプの設定方法については、お使いのハブユニットのマニュアルをご覧ください。
- ハブユニットに STP（スパニングツリープロトコル）の設定がある場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定することをお勧めします。
  「有効」に設定している場合は、なんらかの要因でネットワーク通信が途切れると、通信が再開されるまでに数十秒程度を要する場合があります。また、プリンタの IP アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。詳しくはハブユニットのマニュアルをご覧ください。
- ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  - ケーブル長 100m のシールドツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のシールドツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバーなどに接続できないことがあります。
  - ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご相談ください。
    ラベルはハブユニットの底面に貼られており、次のように表記されています。

A8の例	A7の例	A6の例
SER.NO.000001 DATE:2007-5 AB-0123456789	SER.NO.000001 DATE:2007-5 AB-0123456789	SER.NO.000001 DATE:2007-5 AB-0123456789

該当するものに消し線（＝）がつけられます。

複数のポートに同時接続するときの注意事項

本製品は、LAN 経由でサーバープリンタとして動作すると共に、他のパソコンをパラレルポートや USB ポートにそれぞれ接続することができます。
複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- 「Printianavi2」および「Printianavi ネットワークポートモニタ」を使用して複数台のパソコンから同時に印刷した場合、複数台のうちの 1 台が印刷中のときは、残りのパソコンには「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージが表示されます。
- 使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。
- ポートの切り替え時間については、「設定項目一覧」（→ P.113）の「ポート設定」の「タイムアウト時間」をご覧ください。

重要

- 印刷中は、プリンタのケーブルを抜き差ししないでください。

パラレルケーブル接続の場合

警告

・パラレルケーブルを接続または取り外すときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。
電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

注意

・接続時はこのマニュアルをよく読み、間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、本製品およびパソコンが故障する原因になることがあります。

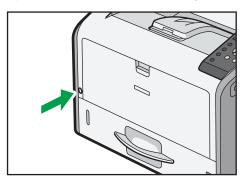
重要

・お使いの OS により、パラレルケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを先に行うかが異なります。
  ・Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
  『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてから、パラレルケーブルを接続してください。
  ・Windows Vista/Windows Server 2012 （R2 以外）/Windows Server 2008（R2 以外）/Windows Server 2003 の場合
  パラレルケーブルを接続してから、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてください。
・パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
・印刷中にパラレルケーブルを抜き差ししないでください。
・パラレルケーブルを接続している場合、節電モードのスリープには移行しません。ただし、接続しているパソコンが低消費電力モードに移行している場合は、「スリープ」に移行します。

POINT

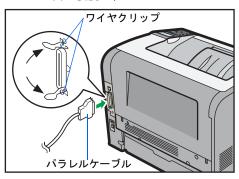
・パラレルケーブル接続時の環境は、次のとおりです。
  ・パソコン：双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
・本製品には、パラレルケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタケーブル」（→ P.47）をご覧ください。

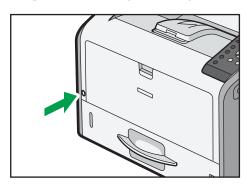
1 電源スイッチを押して、プリンタの電源を切ります。また、パソコンの電源も切ります。

プリンタのオペレータパネルの液晶ディスプレイおよびLEDが点灯していないことを確認し、電源が切れたことを確認します。

重要

・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.186）をご覧ください。

2 パラレルケーブルを背面のパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。

3 電源スイッチを押して、プリンタの電源を入れます。

オペレータパネルのオンラインランプが点灯します。電源が入らない場合は、「こんなときには」（→ P.147）をご覧ください。

4 パソコンの電源を入れて、Windows を起動します。

POINT

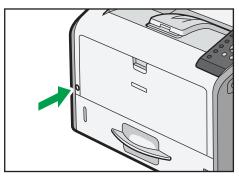
・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 40 秒かかります。
　オペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯したことを確認してから、再度電源を入れてください。

プリンタ USB ケーブル接続の場合

USB インターフェースをサポートする PC/AT 互換機に接続できます。
なお、本製品にプリンタ USB ケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタ USB ケーブル」（→ P.47）をご覧ください。

2

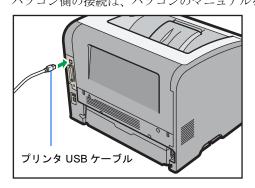
重要

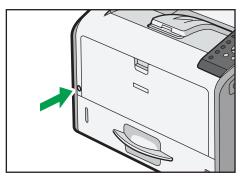
- お使いの OS により、プリンタ USB ケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを先に行うかが異なります。
  - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
    『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてから、プリンタ USB ケーブルを接続してください。
  - Windows Vista/Windows Server 2012 （R2 以外）/Windows Server 2008（R2 以外）/Windows Server 2003 の場合
    プリンタ USB ケーブルを接続してから、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてください。
- パソコンとプリンタの接続に使用するプリンタ USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- 印刷中にプリンタ USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- 本製品と接続したプリンタ USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）の USB ハブのコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- USB2.0 でお使いになるには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。
- USB ケーブルを接続している場合、節電モードのスリープには移行しません。

1 電源スイッチを押して、プリンタの電源を切ります。

重要

- オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.186）をご覧ください。

2 プリンタUSBケーブルを、背面のUSBケーブルコネクタに差し込みます。

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。

3 電源スイッチを押して、プリンタの電源を入れます。

パネルの電源ランプが点灯します。電源が入らない場合は、「こんなときには」（→ P.147）をご覧ください。

POINT

・スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約40秒かかります。
オペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯したことを確認してから、再度電源を入れてください。

第 3 章

オプションを取り付ける

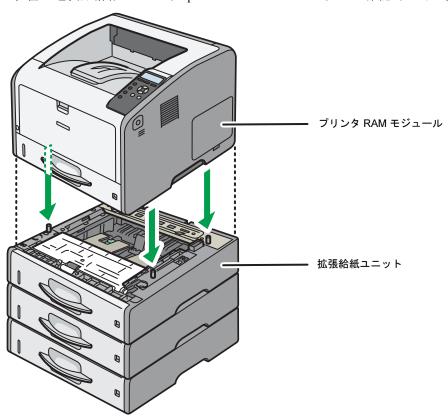
本製品のオプションには、プリンタ RAM モジュールおよび拡張給紙ユニットがあります。この章では、これらのオプションの取り付け方法を説明します。

1 取り付け可能なオプションとご注意 44
2 プリンタ RAM モジュールの取り付け 49
3 拡張給紙ユニットの取り付け 53

1　取り付け可能なオプションとご注意

本製品に取り付け可能なオプションと、取り付け時に注意していただきたいことを説明します。

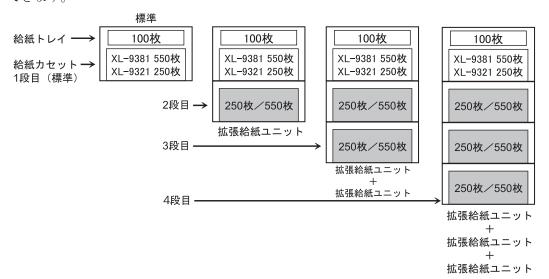
取り付け可能なオプション

本製品には、次のオプションを取り付け可能です。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

拡張給紙ユニット

2 段目、3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。大量文書の印刷時にご利用ください。

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF25MG	収容枚数は約 250 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。（給紙カセット添付）
拡張給紙ユニット -B	XL-EF55MG	収容枚数は約 550 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。（給紙カセット添付）

■取り付け形態

拡張給紙ユニットは、1 段目（標準）の給紙カセットとあわせて、次の取り付け形態を選択できます。

POINT

- 異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。
- 印刷中でも、給紙しているカセットの下の段であれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

3

プリンタ RAM モジュール

本製品に内蔵します。プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより、サポートするすべての用紙サイズ、解像度、両面印刷の組み合わせで確実に印刷できるようになります。プリンタに転送されるデータサイズが 35MB 以上の文書を部単位印刷する場合は、プリンタ RAM モジュールを増設することをお勧めします。

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール - 256MB	XL-EM256MC	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

■プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲

プリンタ RAM モジュールの有無により、印刷できる用紙サイズが異なります。搭載量と印刷可能範囲の対応は、次の表のとおりです。

	128MB（プリンタ RAM モジュールなし）						384MB（プリンタ RAM モジュールあり：256MB）					
用紙サイズ / 解像度 (dpi)	片面			両面			片面			両面		
	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200
A3 SEF	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
B4 SEF	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
リーガル SEF	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
A4 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レター SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B5 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レター LEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A4 LEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A5 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B5 LEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A5 LEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B6 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B6 LEF	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－
A6 SEF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
はがき SEF	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－
往復はがき SEF	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－
往復はがき LEF	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－
封筒洋長 3 号 SEF	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－
封筒洋長 3 号 LEF	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－
封筒洋形 2 号 SEF	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－
封筒洋形 2 号 LEF	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－

用紙サイズ / 解像度 (dpi)	128MB （プリンタ RAM モジュールなし）						384MB （プリンタ RAM モジュールあり：256MB）					
	片面			両面			片面			両面		
	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200	300	600	1200
封筒洋形 4 号 SEF	○	○	○	−	−	−	○	○	○	−	−	−
封筒長形 3 号 SEF	○	○	○	−	−	−	○	○	○	−	−	−
封筒長形 4 号 SEF	○	○	○	−	−	−	○	○	○	−	−	−
封筒角形 2 号 SEF	○	○	○	−	−	−	○	○	○	−	−	−
ユーザ定義サイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長尺紙	○	−	−	−	−	−	○	−	−	−	−	−

○：どのデータも確実に印刷できます。
▲：データの内容によっては、印刷できない場合があります（プロテクトモード使用時は印刷できません）。
−：印刷できません。
解像度、プロテクトモード：プリンタドライバで設定します。詳しくは、プリンタドライバのヘルプ、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

プリンタケーブル

本製品とパソコンを接続します。
接続インターフェースに応じて、パラレルケーブル、またはプリンタ USB ケーブルを使用できます。本製品にはプリンタケーブルは添付されていませんので、次の別売ケーブルをお使いください。

■パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL716	富士通製パソコン、各社 PC/AT 互換機に接続できます。（1.5m）

■プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	サポート OS が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。（1.5m）

重要

- プリンタケーブルは、次の長さのシールドケーブルをお使いください。
  - パラレルケーブル：1.5m 以下
  - プリンタ USB ケーブル：5m 以下

取り付け時のご注意

オプションを取り付けるときは、次の点をお守りください。

⚠警告

・オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠注意

・オプション類の取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因になることがあります。

重要

・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ず電源を切った状態で作業してください。

2 プリンタ RAM モジュールの取り付け

プリンタ RAM モジュールの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。
なお、本作業にはコインなどが必要です。あらかじめ用意しておいてください。

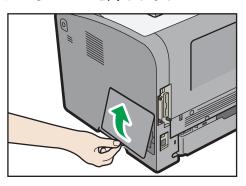
⚠警告

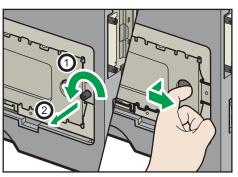
・プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源が入っている場合、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れたことを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

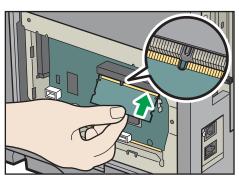
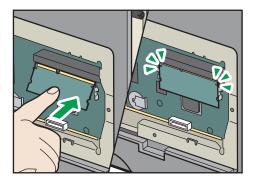
重要

・静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。
- 本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- モジュールに触れる前に、金属製のもの(ロッカーなど)に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分には、手を触れないでください。

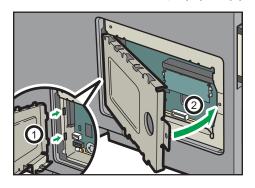
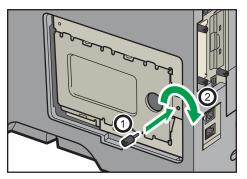
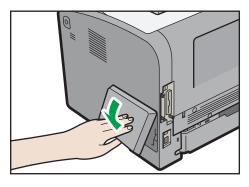
取り付け

1 メモリカバーを外します。

2 コインネジを外し、内部カバーを取り外します。

3

3 差し込み口の左右にあるツメを広げます。

4 プリンタ **RAM** モジュールの切り欠きを差し込み口の凸部分に合わせ、斜めに差し込みます。

5 カチッと音がするまで、プリンタ **RAM** モジュールをしっかり押し込みます。

重要

・プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには充分に注意してください。

6 ①内部カバーの左側のツメ２ヶ所を本製品に差し込んでから、②内部カバーをかぶせて、ネジ穴の位置を合わせます。

7 コインネジを締めます。

8 メモリカバーを取り付けます。

動作確認

次の操作でプリンタ RAM モジュールをチェックし、プリンタが問題なく動作することを確認してください。

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

詳しくは、「電源の切り方」（→ P.34）をご覧ください。

重要

- スリープモード中に電源を切った場合は、電源が切れるまでに約 40 秒かかります。オペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯したことを確認してから、再度電源を入れてください。

2 オペレータパネルのリセットスイッチを押しながら、電源スイッチを押して、プリンタの電源を入れます。

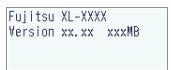
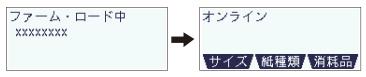
POINT

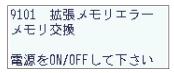
- 「RAM1　チェック」と表示されたら、リセットスイッチを放してもかまいません。

3 オペレータパネルの表示が次のように変化することを確認します。

1. 標準 RAM（RAM1）のチェックが開始された後、増設した RAM モジュール（RAM2）のチェックが開始されます。

■標準 RAM のチェック開始　　■増設 RAM モジュールのチェック開始

2. RAM モジュールチェック後、増設した RAM 容量（384MB）が表示されることを確認します。

3. ファームがロードされ、「オンライン」と表示されることを確認します。

「オンライン」と表示されれば、RAM モジュールに問題はありません。

次のメッセージが表示された場合は、増設したプリンタ RAM モジュールが正常に取り付けられているか確認してください。

その他のメッセージが表示された場合は、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→P.186)をご覧ください。

重要

- プリンタRAMモジュールを増設した場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。設定方法は『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

取り外し

1 プリンタの電源を切り、ケーブル類を取り外します。

- 電源が入っている場合は、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れていることを確認します。
- パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。
- 電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- プリンタ RAM モジュールの取り外しは取り付けの逆の手順を実施してください。

3 拡張給紙ユニットの取り付け

3

拡張給紙ユニットの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。

本製品に取り付けることができる拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニット -A（A3 ユニバーサル・250 枚）と拡張給紙ユニット -B（A3 ユニバーサル・550 枚）があります。プリンタへの取り付け／取り外し方法や用紙のセット方法は、どちらの拡張給紙ユニットの場合も同様です。
本製品には、最大 3 段まで取り付けることができます。

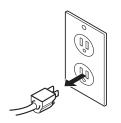
警告

・拡張給紙ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源が入っている場合は、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れたことを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

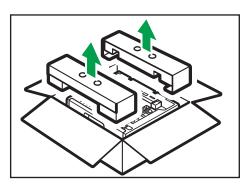
注意

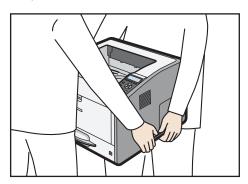
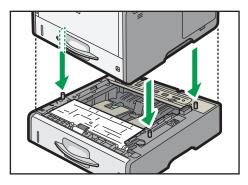
・拡張給紙ユニットは、本製品専用品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、充分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因になることがあります。
・本製品は、用紙が入っていない状態で XL-9381 は約 23kg、XL-9321 は約 21kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
また、移動するときに足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。
・取り付け時は、指をはさまないように注意してください。

取り付け

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 極コンセントの場合

3 極コンセントの場合

2 拡張給紙ユニットから保護材を取り外します。

3 プリンタの両側面にある運搬用の取っ手を持ち、2 人以上でゆっくりと持ち上げて拡張給紙ユニットまで水平に運びます。

プリンタを持ち上げるときは、給紙トレイの部分や手差しトレイの下側を持たないでください。

4 拡張給紙ユニットには 3 本の垂直ピンが付いています。プリンタの底面にある穴に垂直ピンを合わせ、拡張給紙ユニットの上に本機をゆっくりと下ろします。。

5 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源を入れます。

重要

・拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。
設定方法は『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

POINT

・拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、プリンタの電源投入後に次のいずれかの操作を行い、取り付けた拡張給紙ユニットをプリンタが認識していることを確認してください。
・オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「節電中」のときに、装置情報スイッチを押します。
オペレータパネルの液晶ディスプレイ下段の、「装着数」と表示されている部分を確認してください。

A4換算印刷ページ数
XXXXXXページ
拡張給紙ユニット
装着数：2

拡張給紙ユニットを1段取り付けたときは「1」、2段取り付けたときは「2」と表示されます。「0」と表示されている場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
確認後は、オペレータパネルの節電中 / 解除スイッチ以外のいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「節電中」に戻ります。
・設定の一覧（→ P.124）を印刷し、「システム情報」欄の給紙口情報を確認してください。
取り付けた段数に応じて、次のように印刷されます。印刷されない場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
・1段取り付けたとき：「カセット1＝（用紙サイズ）」「カセット2＝（用紙サイズ）」
・2段取り付けたとき：「カセット1＝（用紙サイズ）」「カセット2＝（用紙サイズ）」「カセット3＝（用紙サイズ）」
・3段取り付けたとき：「カセット1＝（用紙サイズ）」「カセット2＝（用紙サイズ）」「カセット3＝（用紙サイズ）」「カセット4＝（用紙サイズ）」

取り外し

1 プリンタの電源を切り、ケーブル類を取り外します。

・電源が入っている場合は、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れていることを確認します。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。

重要

・スリープモード中は、節電中 / 解除スイッチが点滅しています。

2 「取り付け」（→ P.53）と逆の手順で、拡張給紙ユニットを取り外します。

第 4 章

日常の操作

この章では、本製品を使って印刷するときに必要となる、日常的な操作について説明します。

1 用紙をセットする 58
2 印刷する 72
3 印刷を中止する 74
4 トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項 77
5 プリンタを清掃する 86
6 プリンタを長時間使用しないとき 95
7 プリンタを移動するとき 97

1　用紙をセットする

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする方法を説明します。

重要

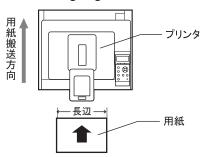
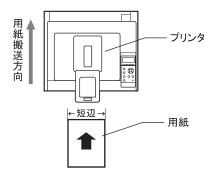
・ラベル紙、長尺紙は、給紙トレイから印刷してください。給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）からは印刷できません。詳しくは「給紙トレイに用紙をセットする」（→ P.64）をご覧ください。
・用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。

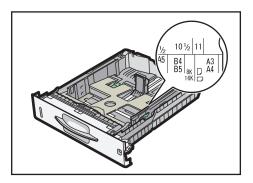
POINT

・異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。また、給紙トレイについても、異なるサイズの用紙を同時にセットすることはできません。

用紙をセットする向きについて

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットするときは、用紙を「横送り」または「縦送り」されるように置きます。

・「横送り」とは、用紙の長辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「LEF（Long Edge Feed の略）」とも表記されます。

・「縦送り」とは、用紙の短辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「SEF（Short Edge Feed）」とも表記されます。

用紙サイズと送り方向の刻印

給紙カセットや給紙トレイには、さまざまな用紙をセットするときの目安となる刻印がついています。
本プリンタでは、サポートしていない用紙サイズの刻印があります。使用できる用紙サイズについては、「給紙方法と用紙のサイズ」（→ P.138）をご覧ください。

この刻印は、セットする用紙に合わせて給紙カセットを伸縮したり、用紙の縦／横ガイドのクリップを移動したりするときに使用します。

POINT

- このマニュアルでは、A4 サイズの用紙を「横送り」と「縦送り」で区別して説明する箇所で、次のように表記します。
  - 横送り：「A4 サイズ横送り（LEF）」
  - 縦送り：「A4 サイズ縦送り（SEF）」
- 横送り（LEF）のほうが高速に印刷できます。
- 排紙のカールが大きい、または両面印刷時に紙詰まりしやすい場合は、プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 L」（トナーの定着温度を少し低くする設定）にすることで、改善される場合があります。また、A4 サイズであれば LEF と SEF を変更することで改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。

用紙ごとのセット方向

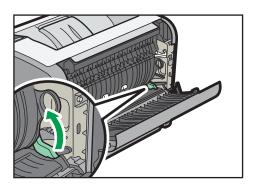
用紙ごとのセット方向は次のとおりです。

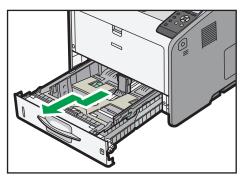
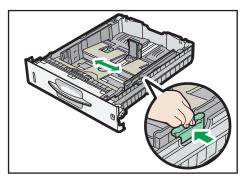
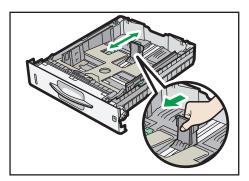
セット方向	用紙の種類
横送り（LEF）	A4、A5、B5、B6、レター、往復はがき、ユーザ定義サイズ
縦送り（SEF）	A4、A3、B4、レター、B5、A5、B6、A6、はがき、往復はがき、リーガル、長尺紙、ユーザ定義サイズ

給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする

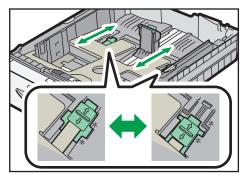
ここでは、給紙カセットに用紙をセットする手順を説明します。

重要

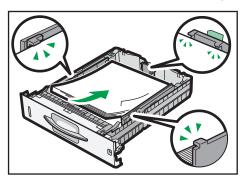
- ご購入時はプリンタ背面の定着器部分の封筒レバーが下がっている状態になっています。封筒以外の用紙に印刷するときは、封筒レバーが垂直になるようにきちんと押し上げ、奥まで押し込んでください

1 給紙カセットの取っ手の部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと水平に引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。

給紙カセットは平らな場所に置いてください。

2 横ガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。

3 **縦ガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。**

4 **給紙カセット（XL-9381 の場合）または 550 枚用給紙カセット（オプションの場合）に用紙をセットするときは、カセットの底板にある 2ヶ所の用紙厚変更スイッチの位置を、セットする用紙の厚さに合わせて変更します。**

厚紙 1（131g/ ㎡）以上の用紙をセットするときは、スイッチを奥側にスライドさせます。

普通紙（130g/ ㎡）以下の用紙をセットするときは、スイッチを手前側にスライドさせます。

5 **印刷する面を下にして用紙をセットします。**

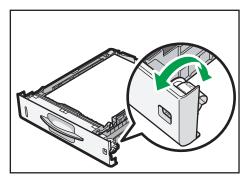
上限表示を超えないようにしてください。

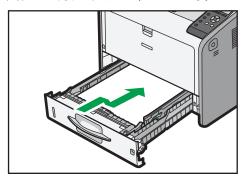
4

6 横ガイドと縦ガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。

用紙と横ガイドや縦ガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間があるときは、横ガイドや縦ガイドを操作して調整してください。

用紙ガイドを用紙に強く押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。

セットした用紙を給紙カセットの中で大きく動かさないでください。カセット底板のすき間に用紙端部が入り、紙詰まりや用紙折れの原因になります。

7 セットする用紙サイズと給紙方向に用紙サイズダイヤルを合わせます。

8 前面を持ち上げるようにして給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

紙詰まりを防止するため、しっかり奥までカセットを入れてください。

POINT

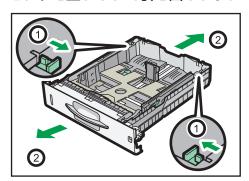
・給紙カセットに A4 より大きい用紙をセットするときは、延長カセットを引き出してください。引き出し方法は、「A4 SEF より大きい用紙をセットするとき」（→ P.63）をご覧ください。

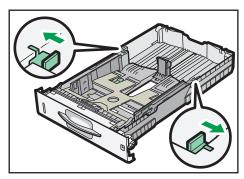
A4 SEF より大きい用紙をセットするとき

給紙カセットに A4 より大きい用紙をセットするときは、延長カセットを引き出してください。

1 **給紙カセットを完全に引き抜きます。**

詳しくは、「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」の手順 1（→ P.60）をご覧ください。

2 **①延長カセットの 2ヶ所のロックを内側にスライドさせて外し、②延長カセットを止まるまで引き出します。**

3 **延長カセットの 2ヶ所のロックを外側にスライドさせてロック位置に戻します。**

延長カセットがきちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。

POINT

・A4 □ より短い用紙をセットするときは、□ でセットし延長カセットを使用しないでください。

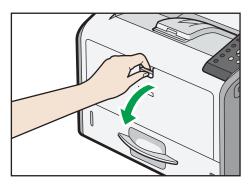
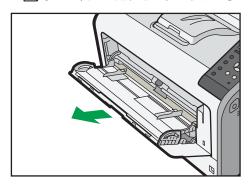
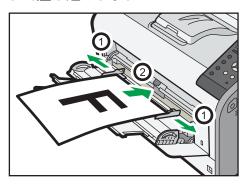
4

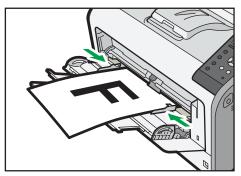
給紙トレイに用紙をセットする

給紙カセットにセットできないサイズや厚さの用紙をセットできます。

重要

・使用する用紙に対応した給紙カセットについては、「給紙方法と用紙のサイズ」(→ P.138) をご覧ください。
・横ガイドのツメの下に収まる量の用紙をセットしてください。紙詰まりの原因になることがあります。
・トレイに異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
・ラベル紙は 1 枚ずつセットしてください。
・A3 より長い用紙は 1 枚ずつセットし、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られかたや画質が異なりますので、事前に使用する用紙で印刷結果を確認してください。

1 **給紙トレイ中央の給紙トレイオープンボタンを押し下げながら、給紙トレイを開きます。**

A4 以上の長さの用紙をセットするときは、延長ガイドを引き出します。

2 ①用紙ガイドを広げ、②印刷する面を上にして、用紙の先端が突き当たるまで差し込みます。

3 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

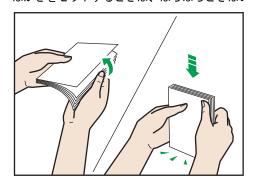
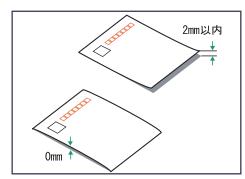
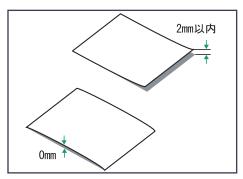
4

POINT

- 給紙トレイにセットするときは、できるだけ方向にセットしてください。
- はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。詳しくは、「はがきをセットする」（→P.66）をご覧ください。

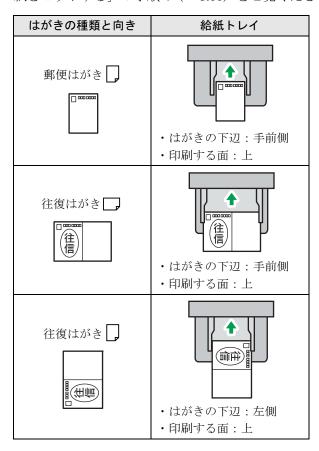
はがきをセットする

はがきをセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- 市販の郵便はがきがセットできます。
- 往復はがきは折り目のないものを使用してください。
- はがきをセットするときは、ぱらぱらとさばいてから端を揃えてください。

- 郵便はがきが反っていると、正しく送られなかったり、印刷品質に影響が出ることがあります。セットする前に反りが次の図の範囲になるように直してください。
  - はがきの表面（宛先記入面）に印刷するとき

  - はがきの裏面に印刷するとき

- 郵便はがきの裏面にバリ（裁断したときにできた返し）があるときは、郵便はがきを平らなところに置き、定規などを水平に１～２回動かして、郵便はがきの４辺のバリを取り除き、バリを取り除いたときに出た紙粉を払ってください。

はがきの種類やセットする向きによって、給紙トレイにセットする方法が異なります。はがきに印刷するときは、必ずはがきのセット方向を確認してください。
給紙カセットにセットする方法は、「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」の手順 4（→ P.61）をご覧ください。

はがきの種類と向き	給紙トレイ
郵便はがき	・はがきの下辺：手前側 ・印刷する面：上
往復はがき	・はがきの下辺：手前側 ・印刷する面：上
往復はがき	・はがきの下辺：左側 ・印刷する面：上

POINT

- はがきに印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
- 郵便はがきの厚紙の種類は「厚紙 2」をお勧めします。使用するはがきの用紙厚さに合わせて設定を変更してください。それぞれの設定での実際の用紙厚さについては、「給紙方法と用紙のサイズ」（→ P.138）をご覧ください。

封筒をセットする

封筒をセットするときの推奨条件について説明します。

⚠注意

・封筒レバーを操作するときには、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

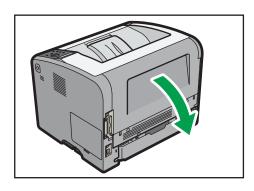
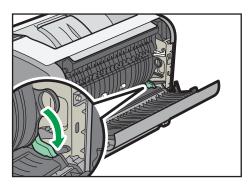
重要

- 窓付き封筒は使用しないでください。
- のり付き封筒は、のりで封筒どうしが貼りつくことがあります。さばいてからセットしてください。封筒どうしが貼りつくときは、1枚ずつセットしてください。
- 封筒のフラップ（ふた）の長さや形状によっては紙詰まりが起こることがあります。
- フラップを開いた状態でセットしたときは、不定形サイズを指定してください。
- 購入時よりフラップ（ふた）が閉じられている封筒の場合、フラップ（ふた）を閉じた状態でセットし、封筒のサイズを指定して印刷できます。ただし、フラップ（ふた）を給紙カセット1の奥側にセットするときは、フラップ（ふた）を開いてください。
- 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒が反っていたり曲がっているときは、鉛筆や定規で上向きの反りが2mm以内、下向きの反りが0mmになるように直してからセットしてください。

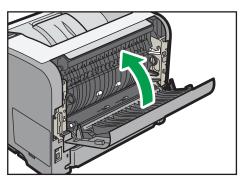
封筒の形やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。封筒に印刷するときは、必ず封筒のセット方向を確認してください。

封筒レバーを使用する

封筒をセットする前に、封筒レバーを下げてください。

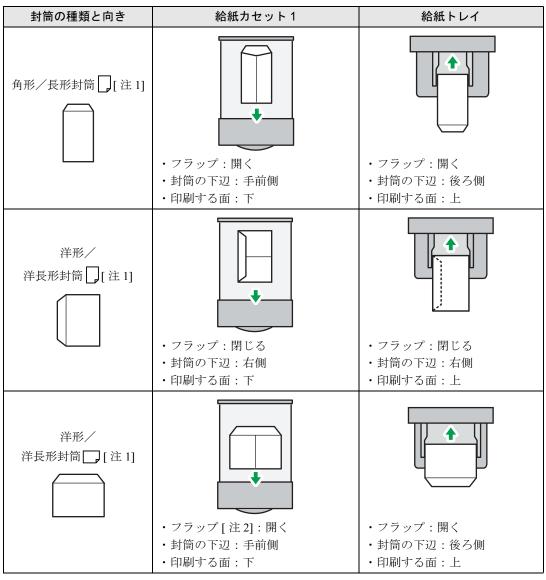
1 後ろカバーを開けます。

2 封筒レバーを一番下まで下げます。

重要

・封筒レバーの操作を行わないで印刷した場合は、シワになる場合があります。

3 後ろカバーを閉めます。

重要

・封筒の印刷が終わったら、必ず封筒レバーを上げてください。

封筒のセット方向

封筒の種類と向き	給紙カセット 1	給紙トレイ
角形／長形封筒 [注 1]	・フラップ：開く ・封筒の下辺：手前側 ・印刷する面：下	・フラップ：開く ・封筒の下辺：後ろ側 ・印刷する面：上
洋形／洋長形封筒 [注 1]	・フラップ：閉じる ・封筒の下辺：右側 ・印刷する面：下	・フラップ：閉じる ・封筒の下辺：右側 ・印刷する面：上
洋形／洋長形封筒 [注 1]	・フラップ [注 2]：開く ・封筒の下辺：手前側 ・印刷する面：下	・フラップ：開く ・封筒の下辺：後ろ側 ・印刷する面：上

注 1：角形／長形封筒や洋形／洋長形封筒を上の図のようにセットするときは、プリンタドライバの「項目別設定」タブにある「基本」メニューで、「180 度回転」にチェックを入れて印刷してください。
注 2：縦ガイドでフラップを押さえられないときは、正しく給紙できないことがあります。その場合は給紙トレイにセットしてください。

封筒をセットした後、プリンタドライバとオペレータパネルの両方で、用紙の種類を「封筒」に設定してください。また、用紙の厚さを設定してください。詳しくは、「給紙方法と用紙のサイズ」（→ P.138）をご覧ください。

使用できる封筒

給紙口によってセットできる封筒サイズが異なります。詳しくは、「給紙方法と用紙のサイズ」（→ P.138）をご覧ください。

また、レーザープリンタ専用封筒（ハート株式会社）は、封筒（洋長 3 号、長形 3 号、角形 2 号）が使用できます。

POINT

- 給紙口に一度にセットする封筒は、同じサイズ、同じ用紙種類の封筒にしてください。
- 封筒には両面印刷できません。
- 周囲と異なる厚みの部分があると、均一に印刷できないことがあります。2、3 枚通紙して、印刷結果を確認してください。
- 封筒に印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 湿気を吸った封筒は使用しないでください。
- 推奨封筒でも、高温になるところや湿気の多いところで印刷すると、シワが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。
- 封筒の長辺の端に細かいシワができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りするときに、封筒の用紙が重なり合っている部分にすじが入ることがあります。
- 給紙カセット 1 と給紙トレイのみ封筒をサポートしています。

4

2 印刷する

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作は、お使いのアプリケーションによって異なりますが、ここでは一例を説明します。

1 印刷を行う前に、プリンタドライバをインストールします。

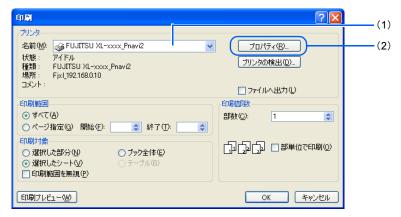
インストール方法は、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

2 本製品が印刷できる状態であることを確認します。

・正しく接続されているか
・本製品の電源が入っているか
・用紙がセットされているか（「用紙をセットする」（→ P.58））

3 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。

「印刷」ウィンドウが表示されます。

4 (1) プリンタが正しく選択されていることを確認し、(2)「プロパティ」をクリックします。

POINT

・アプリケーションによっては、「プロパティ」が「詳細設定」と表示されたり、プロパティウィンドウのタブが「印刷」ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

5 各項目を設定し、「OK」をクリックします。

各設定項目について詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

6 「印刷」ウィンドウで「OK」をクリックします。

印刷が開始されます。

正常に印刷できないときは、「こんなときには」(→ P.147)をご覧ください。

プリンタの状態確認 (ポップアップ)

Printianavi 機能を使うと、本製品の状態をパソコン上で確認できます。

Printianavi 機能は、印刷が実行されると本製品のモニタを開始します。本製品でエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法が、パソコンの画面にポップアップ表示されます。

Printianavi 機能によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、およびポップアップについて詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

3 印刷を中止する

印刷開始後（オペレータパネルのオンラインランプが点滅、または液晶ディスプレイに「データアリ」と表示されている場合）に、印刷を中止する方法を説明します。

印刷を中止するには、パソコンから中止する方法と、本製品のオペレータパネルから中止する方法の 2 通りがあります。

パソコンの画面から中止する　（双方向通信が有効なとき）

パソコンから印刷を中止するときの操作は、プリンタのプロパティウィンドウの「Printianavi2」タブの表示方法の設定によって異なります。
詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

ポップアップ表示のとき

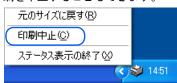
「印刷中止」をクリックします。

エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

画面右下の通知領域のアイコンをダブルクリックし、表示されたウィンドウで「印刷中止」をクリックします。

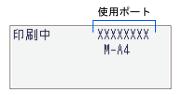
POINT

・画面右下の通知領域のアイコンを右クリックし、表示されるメニューで「印刷中止」をクリックして、印刷を中止することもできます。

4

オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。リセットすると、本製品はプリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

1 印刷中にオンラインスイッチを押します。

オペレータパネルの操作について詳しくは、「オペレータパネルの操作」（→ P.101）をご覧ください。

オペレータパネルに「排出処理中」と表示されて印刷中の用紙が排出され、オフライン状態になります。

2 リセットスイッチを押します。

「初期化しますか？（Y,N)」と表示されます。このとき、オンラインスイッチを押すと、リセットせずに印刷を再開できます。

```
初期化しますか？(Y,N)
 Y→リセット
 N→オンライン
```

3 再度リセットスイッチを押します。

「初期化中」と表示され、初期化されます。

受信データがあると、オンラインランプが点滅します。
初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

POINT

・プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。「Printianavi2」を使用しているときは、パソコン上の Printianavi2 メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

4 トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換と注意事項

トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換方法と、使用時の注意事項を説明します。

トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する

トナーカートリッジ 1 本あたりの印刷量の目安は、LB320A/LB320AF/LB321A/LB321AF が約 6000 ページ、LB320B/LB320BF/LB321B/LB321BF が約 12000 ページです（JIS X 6931（ISO/IEC19752）に基づく）。
トナー残量が少なくなると、トナーカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されます。また、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあっても、感光体（ドラム）の寿命が近づいたり、感光体（ドラム）の寿命に達したりすると、トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。メッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジやドラムカートリッジに交換してください。サプライ品については、「サプライ品一覧」（→ P.226）をご覧ください。

重要

・トナーカートリッジ（環境共生トナーを含む）やドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 24ヶ月 (開封後は 1 年間) の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ / 汚れ / かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

警告

・トナーカートリッジやドラムカートリッジを火中に投じないでください。粉じん爆発やトナー粉が跳ねてやけどの原因になります。
・使用済みのトナーカートリッジやドラムカートリッジを処分するときは、当社の回収サービス（→ P.84）をご利用ください。

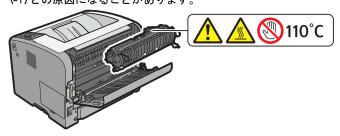
・トナーが目や口に入らないように注意してください。
トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
・トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

・上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手をはさまないように注意してください。けがをすることがあります。
・上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手をはさんでけがをする原因になりますので、触れないようにしてください。

・トナーカートリッジやドラムカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。

⚠注意

- トナーカートリッジやドラムカートリッジは、純正品をご使用ください。他社製サプライ品を使用すると、印字品質の低下、故障および製品破損の原因となることがあります。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。
  また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。

- プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
  やけどの原因になることがあります。

交換に関する留意事項

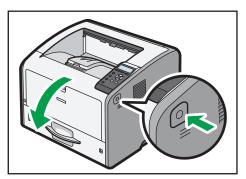
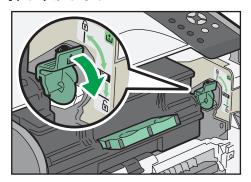
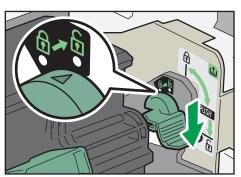
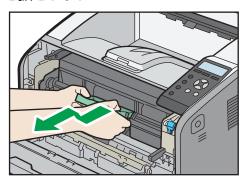
トナーカートリッジやドラムカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。

- 直射日光や強い光（約 2000 lx 以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- 常に、予備のトナーカートリッジやドラムカートリッジを用意しておいてください。
- 純正品以外のトナーカートリッジやドラムカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージがオペレータパネルに表示される場合があります。

  K004 カートリッジエラー
  <トナーカートリッジ>
  純正のカートリッジを
  セットして下さい

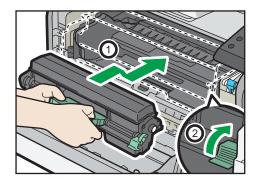
- トナーカートリッジやドラムカートリッジ内のトナーがかたよっていると、交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。
- 交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されない場合でも、次のようなときはトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換が必要です。
  - 縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  - 不鮮明な印刷状態が発生した場合
  - 適切な用紙に替えて印刷しても改善されない場合

トナーカートリッジ交換方法

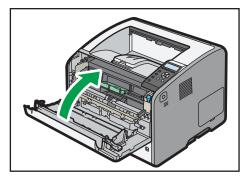
1 前カバーオープンボタンを押し、前カバーをゆっくりと開きます。

2 トナーロックレバー（緑色）を、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げます。

3 トナーロックレバー（緑色）が図の位置になるまでレバーを押し下げます。

4 トナーカートリッジの緑色の取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

POINT

- トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。トナー漏れの原因になります。

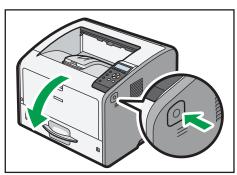
5 新しいトナーカートリッジを用意します。

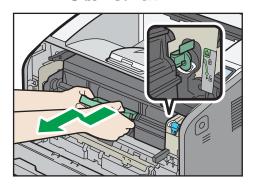
①新しいトナーカートリッジの緑色の取っ手を持ち、ドラムカートリッジにセットします。
②トナーロックレバー（緑色）を、矢印方向へ「カチッ」と音がするまで押し上げます。

重要

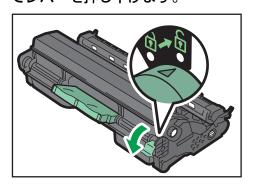
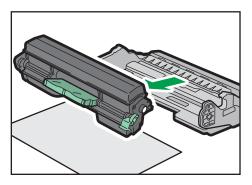
- トナーロックレバー（緑色）は、トナーカートリッジをドラムカートリッジにセットしてから、操作してください。

6 前カバーを静かに閉めます。

ドラムカートリッジ交換方法

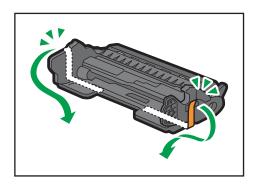
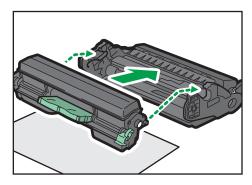
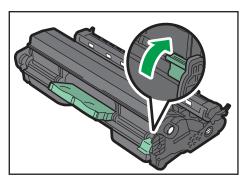
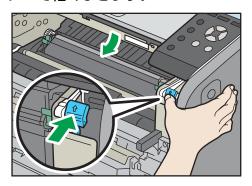
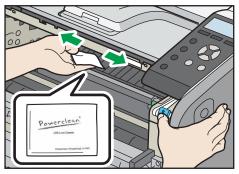
POINT

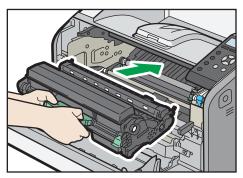
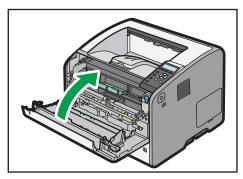
- トナーカートリッジにトナーが残っていれば、今まで使用していたトナーカートリッジを新しいドラムカートリッジに取り付けて使用することができます。

1 前カバーオープンボタンを押し、前カバーをゆっくりと開きます。

2 トナーロックレバー（緑色）がロックされていることを確認し、緑色の取っ手を持ち、トナーカートリッジごとドラムカートリッジを少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

3 トナーロックレバー（緑色）を、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げます。さらに、トナーロックレバー（緑色）が図の位置になるまでレバーを押し下げます。

4

4 ドラムカートリッジから、トナーカートリッジを取り外します。

重要

- トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。トナー漏れの原因になります。

5 新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出し、ドラムカートリッジのテープをはがします。

6 新しいドラムカートリッジに、トナーカートリッジをセットします。

7 トナーロックレバー（緑色）を、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し上げます。

8 片手でレバー（青色）を押している間 **LED** ヘッドがプリンタ内部に出てきます。もう片方の手で **LED** ヘッド下方のレンズ面を **LED** レンズクリーナーで軽くふきます。

・LED レンズクリーナーは、ドラムカートリッジに添付されています。

9 カートリッジの緑色の取っ手を持ちプリンタにセットします。

10 前カバーを静かに閉めます。

使用済みカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。
回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。
「エコ受付センター」までご連絡ください。

- エコ受付センター
  通話料無料：0120-300-693
  平日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
- プリンタ消耗品無償回収サービス
  http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/

ご協力をお願いいたします。

トナーカートリッジやドラムカートリッジの取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り扱うときは、次の点に注意してください。

- ドラムカートリッジを直射日光や強い光（約 2000lx 以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- ドラムカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- トナーシールを引き抜いた後は、トナーカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できます）。

保管上のご注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていた袋に入れ、保管してください。
- 直射日光を避け、次の環境で保管してください。
  温度範囲 10 ～ 32 ℃、湿度範囲 15 ～ 80%RH（ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 小さなお子様の手が届かない所に保管してください。

5 プリンタを清掃する

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1ヶ月に 1 回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジ交換時や紙詰まりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠注意

・プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

・電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

・お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

重要

- 清掃時には、次の点にご注意ください。
  - プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10 分くらいたって内部の温度が下がってから作業してください。
  - 水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形のおそれがあります。
  - 油をさす必要はありません。注油はしないでください。
  - トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できます）。
  - 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は使用しないでください。
- クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
  すき間からしみこんだり、プリンタのプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。

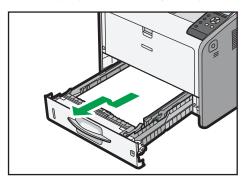
やわらかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、水で濡らして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使用して拭きます。水拭き後、から拭きをして水気を充分に取ります。

給紙カセット、 給紙コロを清掃する

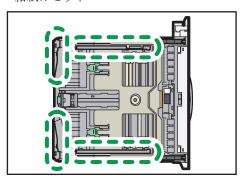
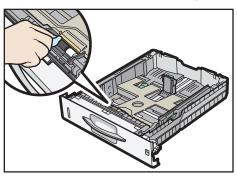
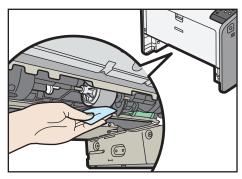
紙粉が多く出て給紙カセットや給紙コロが汚れると、紙が重なって送られたり、詰まったりする原因になります。
給紙カセットと給紙コロの清掃方法はどのカセットでも同じです。給紙カセットを例に説明します。

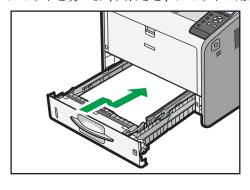
1 **プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。**

平らな場所に給紙カセットを置いて、セットしている用紙を取り出してください。

3 **水で濡らし固く絞った布、または乾いた布で次の場所を拭きます。**

・給紙カセット

4

・給紙コロ
水で濡らし固く絞った布を使用して、給紙コロを回転させながら全体を拭いてください。その後、乾いた布で拭いてください。

4 前面を持ち上げて給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

用紙をセットした給紙カセットを本製品にセットするときは、ゆっくりと入れてください。カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。

5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

レジストローラを清掃する

紙粉の多い用紙やプレプリント用紙を使用したときや紙詰まりの処理の後などは、レジストローラの周辺が汚れることがあります。紙粉や汚れによって印刷結果に部分的な白抜けが起きるときは、レジストローラを清掃してください。

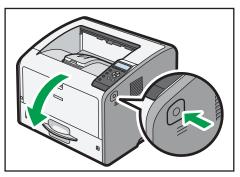
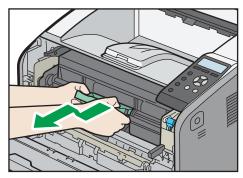
⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

重要

- アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

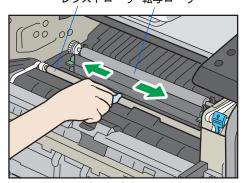
2 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

3 トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、プリンタから引き出します。

重要

- トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。

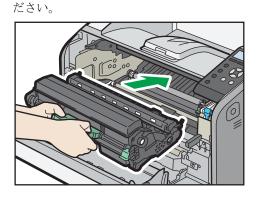
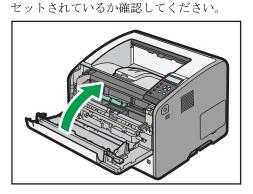
4

4 手でレジストローラを回しながら、水で濡らし固く絞った布で、左右に動かして拭きます。その後乾いた布で拭きます。

重要

・転写ローラには触れないようにしてください。

5 トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。

トナーカートリッジは、本製品に貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。

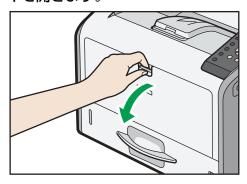
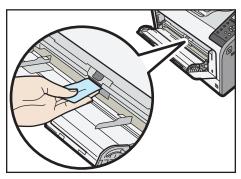
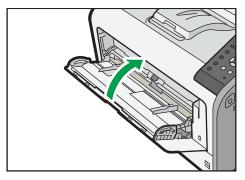
6 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

7 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

給紙トレイの給紙コロを清掃する

重要

・アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 給紙トレイ中央の給紙トレイオープンボタンを押し下げながら、給紙トレイを開きます。

3 水で濡らし、固く絞った布で、給紙トレイの給紙コロを回しながら、左右に動かして拭きます。その後乾いた布で拭きます。

4 給紙トレイを閉じます。

5 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

LED ヘッドを清掃する

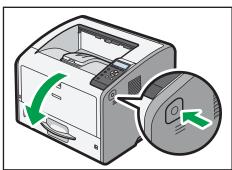
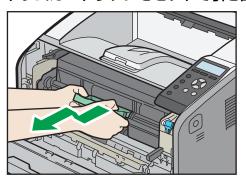
印刷したときにかすれたり、白いすじが入ったり、文字がにじんだりするときは、LED レンズクリーナーで LED ヘッドを清掃してください。LED レンズクリーナーは本体、ドラムカートリッジに同梱されています。

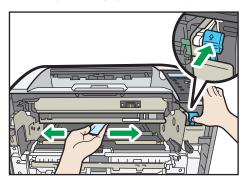
⚠注意

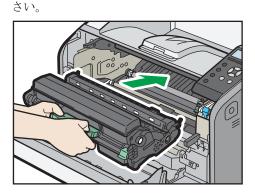
・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

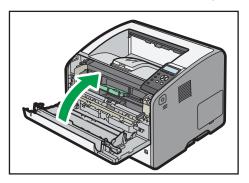
・LED ヘッドの清掃は、本製品の電源が切れていて、プリンタ本体が常温である（熱くない）ことを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 前カバーオープンボタンを押し、前カバーをゆっくりと開けます。

3 トナーカートリッジレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジのハンドルを持ち、プリンタからトナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで引き出します。

4 片手でレバーを突き当て位置まで押しながら、転写ローラに触らないようにもう片方の手で **LED** ヘッド下部のレンズ面を **LED** レンズクリーナーで軽く拭きます。

レバーを突き当て位置まで押すと、LED ヘッドが降りてきます。

5 トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。

トナーカートリッジは、本体に貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。

6 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

7 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

電源プラグについて

⚠警告

- 電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源プラグに焦げ跡がある
  - 電源プラグの刃が変形している

  そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 電源コードは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
  - 電源コードの被膜にき裂、へこみがある
  - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - 電源コードの一部が熱くなる
  - 電源コードが傷んでいる

  そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

プリンタを長時間使用しないとき

1 週間以上プリンタを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

⚠警告

・電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。

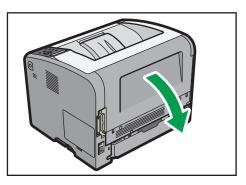
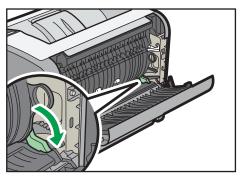
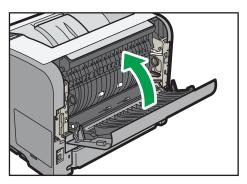
・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1 **プリンタの電源スイッチを押し、オペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れていることを確認します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。**

重要

・エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.186）をご覧ください。

2 **後ろカバーを開けます。**

4

3 封筒レバーを下げてロックします。

4 後ろカバーを閉めます。

重要

・長時間使用しない時は、必ず封筒レバーを下げてください。

5 用紙を取り出します。

給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」（→ P.137）をご覧ください。

7 プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

注意

・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で XL-9381 は約 23kg、XL-9321 は約 21kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。

POINT

・拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、拡張給紙ユニットからプリンタ本体を取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷が付かないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。
拡張給紙ユニットの取り外しについては、「取り外し」（→ P.55）をご覧ください。

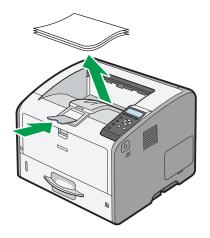
近くに移動する

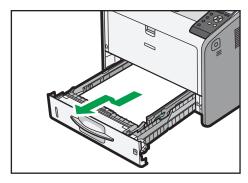
プリンタを設置していた机を変えたり、となりの部屋に移動させたりする場合は、次の手順に従ってください。

1 プリンタの電源を切り、ケーブル類を取り外します。

・電源スイッチを押し、オペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れていることを確認します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

4

2 （1）排紙トレイに用紙がある場合は用紙を取り除き、（2）排紙延長トレイが引き出されている場合は元に戻します。

3 給紙カセットと給紙トレイから用紙を取り除きます。

取り除いた用紙は、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」（→ P.137）をご覧ください。

POINT

・用紙の入っている給紙カセットは重いため、注意してプリンタから抜いてください。

4 適切な場所に設置し直します。

設置方法については『設置ガイド』をご覧ください。

梱包して運搬する

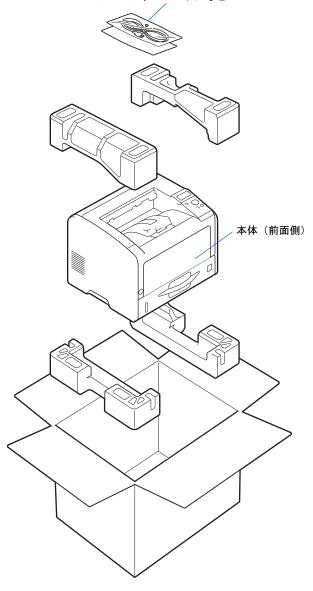
本製品を運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。次の手順に従ってください。

1 **「近くに移動する」（→ P.97）をご覧になり、用紙を取り外します。**

2 **次の図のように梱包し直して、運搬します。**

精密機械のため、梱包や運搬するときは次の点に注意し、ていねいに取り扱ってください。

・梱包時は、ご購入時に使用していた梱包材を使用してください。

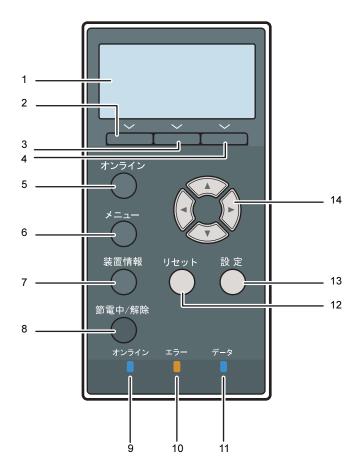
4

第 5 章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

1 各部の名称と機能 102
2 液晶ディスプレイの表示内容 104
3 操作方法 108
4 代表的な設定項目とその操作方法 124

1 各部の名称と機能

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、キー、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

1 液晶ディスプレイ

プリンタの状態やエラーメッセージが表示されます。節電エネモードについては「節電モード」（→ P.107）をご覧ください。

2 サイズキー

各給紙口の用紙サイズを設定するときに押します。「設定項目一覧」（→ P.113）の「用紙サイズ設定」をご覧ください。

3 紙種類キー

各給紙口の用紙種類を設定するときに押します。「設定項目一覧」（→ P.113）の「用紙種類設定」をご覧ください。

4 消耗品キー

消耗品状態が表示されます。

5 オンラインスイッチ

オンライン／オフラインの切り替え、メニューモードを完了するときに押します。

6 メニュースイッチ
設定を変更したり、現在の設定を確認したりするときに押します。

7 装置情報スイッチ
印刷枚数、拡張給紙ユニット数を表示するときに押します。

8 節電中ランプ / 解除スイッチ
節電モードの解除を行います。

9 オンラインランプ
電源が入っているときに点灯します。電源が切れているときやスリープモードのときは消灯します。

10 エラーランプ
プリンタの異常を知らせます。
・点灯：プリンタでエラーが発生していることを示します。
・消灯：プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。

11 データランプ
パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

12 リセットスイッチ
オフライン時に、未処理のジョブを破棄し、プリンタをリセットする。
設定を有効にしないで前の画面に戻るときや、メニューから通常の表示に戻るときに押します。

5

13 設定スイッチ
メニューモードのときに、設定や設定値を確定させるときに押します。

14 方向スイッチ
カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させたりするときに使用します。
本書で「▲」「▼」「◀」「▶」表記されているときは、同方向の方向スイッチを押します。

重要

・液晶ディスプレイの表示が「オンライン」または「節電中」のときに、▲スイッチ、◀スイッチ、▶スイッチ、設定スイッチ、オンラインスイッチのいずれかを 1 回押すと、メニューモードまたはオフライン状態に移行します。
この状態では印刷データを受け付けませんが、このまま、オペレータパネルを操作せずに 90 秒経過すると、以降は印刷データを受信した時点で印刷が開始されるようになります。
なお、印刷終了後はオンライン状態に戻ります。

2 液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。1 行全角で 12 文字（半角 24 文字）、4 段に表示されます。
エラーが発生すると「エラー」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

POINT

- メッセージ（エラーを含む）の表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.186）をご覧ください。

電源を入れたときの表示内容

本製品の電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。
電源を入れたときの表示内容については、『設置ガイド』をご覧ください。

オンライン　（印刷できる状態）　時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。

POINT

ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、以下をご覧ください。
- 「エラーメッセージ一覧」（→ P.187）
- 「警告メッセージ一覧」（→ P.201）

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">表示内容</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">プリンタ状態</td><td colspan="2">オンライン</td><td>オンライン状態または印刷データ受信中です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オフライン</td><td>オフライン状態です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">印刷中</td><td>印刷を行っています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">準備中</td><td>ウォームアップ中です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">クールダウン</td><td>クールダウン中です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">節電中</td><td>節電中です。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">動作モードの設定</td><td colspan="2">EP</td><td>エミュレーションの ESC/P モードでの印刷が可能状態です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">HX</td><td>HEX ダンプ印刷モードです。</td></tr>
<tr><td colspan="2">表示なし</td><td>Printia XL ドライバの印刷モードのみ、印刷が可能な状態です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">MW</td><td>Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">MR</td><td>Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中です。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">インターフェース状態</td><td colspan="2">パラレル</td><td>パラレルポート経由でパソコンと通信しています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">LAN</td><td>LAN ポート経由でパソコンと通信しています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB</td><td>USB ポート経由でパソコンと通信しています。</td></tr>
<tr><td rowspan="16">給紙口 / 用紙サイズ</td><td rowspan="5">給紙口</td><td>1-</td><td>給紙カセット 1 から給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>2-[注 1]</td><td>給紙カセット 2 から給紙・印刷中です</td></tr>
<tr><td>3-[注 1]</td><td>給紙カセット 3 から給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>4-[注 1]</td><td>給紙カセット 4 から給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>M-</td><td>給紙トレイから給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td rowspan="11">用紙サイズ</td><td>A3</td><td>A3 用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>A4 用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>A5 用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>A6</td><td>A6 用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>B4</td><td>B4 用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>B5</td><td>B5 用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>B6</td><td>B6 用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>リーガル</td><td>リーガル用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>レター</td><td>レター用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>はがき</td><td>郵便はがきを給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>ユーザ</td><td>ユーザ定義サイズの用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>封筒用紙を給紙・印刷中です。</td></tr>
</table>

項目	表示内容	説明
警告情報 [注 2]	データあり	未処理データがある状態です。
	カセット n 確認	カセットなし状態です（n はカセット番号)。
	トナーカートリッジ準備	トナーカートリッジの交換準備が必要な状態です。
	トナーカートリッジ交換	トナーカートリッジの交換時期です。
	定着器準備	定着器の交換準備が必要な状態です。
	定着器交換	定着器の交換時期です。
	ドラムカートリッジ準備	ドラムカートリッジの交換準備が必要な状態です。
	ドラムカートリッジ交換	ドラムカートリッジの交換時期です。
	装置寿命残り xx%	プリンタ本体が装置寿命に近づいた状態です。xx には「20」、「10」のいずれかが表示されます。
	封筒レバー位置確認	用紙種類を封筒に選択した場合に、封筒レバー位置が封筒側に設定されていないときに表示されます。
ファンクションキーガイダンス	サイズ	各給紙口の用紙サイズの設定を行います。
	紙種類	各給紙口の用紙種類の設定を行います。
	消耗品	消耗品の状態が表示されます。

注 1　:　カセット 2 ～ 4 はオプションです。
注 2　:　警告情報が複数ある場合には、メッセージ部が 2 秒間隔で切り替わります。

節電時の表示内容

メニューモードの「初期設定」→「その他の設定」→「節電モード」で選択した設定により、表示が異なります。

- 「節電 1」を選択している場合
  印刷待機状態のまま、設定時間が経過すると、液晶ディスプレイに「節電中」と表示され、節電中 / 解除スイッチが点灯します。
- 「節電 2」／「スリープ」を選択している場合
  印刷待機状態のまま、設定時間が経過すると、オンラインランプが消灯して、節電中 / 解除スイッチが点灯します。さらにスリープ状態となった場合は節電中 / 解除スイッチが点滅します。

節電時は、印刷データを受信するか、節電中 / 解除スイッチを押すことにより、ウォームアップが開始され、オンライン状態となります。

節電モード

節電モードを設定します（初期値＝「スリープ」)。節電モードとは、一定時間印刷しなかった場合に、自動的に定着器の電源を切断するなどの処理を実行することにより、消費電力を節約するための機能です。設定画面では、現在値と、その項目が選択された状態となります。設定項目は、◀スイッチまたは▶スイッチで選択し、「設定」で確定すると、その内容で現在値が更新されます。
また、▲スイッチで 1 つ上の階層へ戻ります。

3 操作方法

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

基本的な操作方法

使用するスイッチ

通常モードにてメニュースイッチが押された場合に起動し、プリンタ本体に関する各種設定や装置情報の印刷などを実行します。

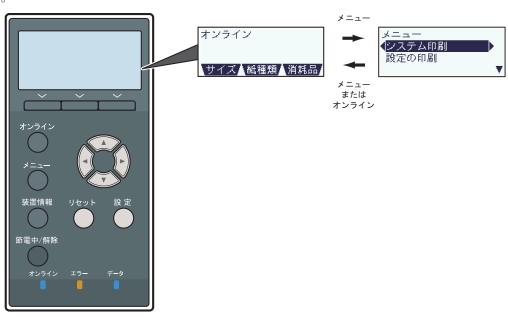
先頭の第一階層は次の項目となります。

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層
システム印刷				
初期設定				
印刷設定				
EP モード設定				
装置情報				

第一階層は、◀スイッチまたは▶スイッチで選択し、▼スイッチで第二階層に移動します。(第一階層では、▲スイッチは無効となります。)

メニューモードの「初期設定」→「その他の設定」→「エミュレーション設定」が解除となっている場合、「EP モード設定」は表示されません。

メニューモードに入るときは、メニュースイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、メニュースイッチまたはオンラインスイッチを押します。

5

<table>
<tr><th colspan="2">スイッチ操作</th><th colspan="2">メインメニューからの移動先</th></tr>
<tr><td colspan="2">メニュー</td><td colspan="2">メニューモードを終了します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オンライン</td><td colspan="2">メニューモードを終了します。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">方向</td><td>▲</td><td colspan="2">無効</td></tr>
<tr><td rowspan="4">▼</td><td>システム印刷</td><td>「システム印刷」へ移動します。</td></tr>
<tr><td>初期設定</td><td>「初期設定」へ移動します。</td></tr>
<tr><td>印刷設定</td><td>「印刷設定」へ移動します。</td></tr>
<tr><td>装置情報</td><td>「装置情報」へ移動します。</td></tr>
<tr><td>◀</td><td colspan="2">前の項目へ移動します。ただし、先頭項目の場合には、最終項目へ移動します。</td></tr>
<tr><td>▶</td><td colspan="2">次の項目へ移動します。ただし、最終項目の場合には、先頭項目へ移動します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定</td><td colspan="2">無効</td></tr>
<tr><td colspan="2">上記以外のスイッチ</td><td colspan="2">無効</td></tr>
</table>

メニューモードでは、目的の設定値を上位の階層から順に選んで表示し、設定します。設定値までの階層の深さは項目によって異なります。

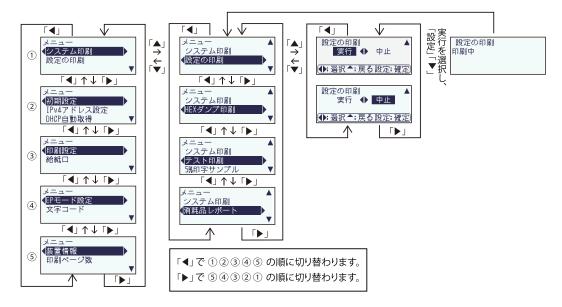
POINT

- プリンタがオフライン状態、オンライン状態のいずれの場合も、メニュースイッチを押せばメニューモードに移行します。ただし、印刷の途中（オペレータパネルのデータランプが点滅、または液晶ディスプレイに「データあり」と表示されている場合）は、メニューモードには移行できません。
- 電源を入れてからしばらくたつと、オペレータパネルに「節電中」と表示されることがありますが、メニューモードに移行できます。
- オペレータパネルの操作を制限している場合は、次の画面が表示され、パスワードの入力が必要になります。詳しくは、「オペレータパネルの操作制限」（→ P.134）をご覧ください。

使用するスイッチ

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

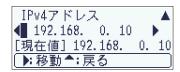
スイッチ	説明
◀スイッチまたは▶スイッチ	同じ階層で項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
▲スイッチまたは▼スイッチ	上の階層または下の階層に移動します。
設定スイッチ	表示された値に設定するときや、メニュー印刷、テスト印刷を行うときに押します。

■各スイッチによる切り替え例

スイッチの使い分けと設定例

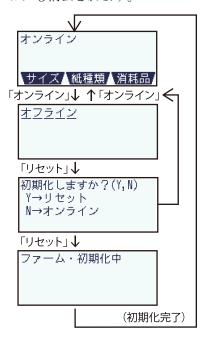
◀スイッチまたは▶スイッチをカーソルの移動に使用している場合は、設定値は▲スイッチ、▼スイッチを使用します。
IPv4 アドレスの設定を例に、設定方法を説明します。

1 ◀スイッチまたは▶スイッチで、設定するブロックにカーソルを移動します。

2 ▲スイッチ（加算）、▼スイッチ（減算）で値を設定します。

3 各ブロックの設定が終わったら◀スイッチまたは▶スイッチでカーソルを左端に移動し、設定スイッチを押します。

4 **メニュースイッチ、またはオンラインスイッチを押します。**

プリンタのリセット

オフライン状態でリセットスイッチを押すことにより、リセット処理を実行します。
リセット処理を実行した場合、印刷またはテスト印刷（連続印刷）を中断し、本体内部にあるジョブも消去されます。

テスト印刷　（連続印刷）　の終了

「テスト印刷」の連続印刷は、リセットスイッチを押すと終了します。

設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧は次のとおりです。設定値に記載された「*」および数値は、ご購入時に登録される初期設定を示します。
各項目を選択して値を設定する方法については、「基本的な操作方法」（→ P.108）をご覧ください。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
用紙サイズ設定	給紙トレイ				*	A4LEF	給紙トレイで使用する用紙サイズを選択します。
	カセット 1				*	A4LEF	カセット 1 で使用する用紙サイズを選択します。
	カセット 2[注 1]				*	A4LEF	カセット 2 で使用する用紙サイズを選択します。
	カセット 3[注 1]				*	A4LEF	カセット 3 で使用する用紙サイズを選択します。
	カセット 4[注 1]				*	A4LEF	カセット 4 で使用する用紙サイズを選択します。
用紙種類設定	給紙トレイ				*	ドライバ優先	給紙トレイで使用する用紙サイズを選択します。
	カセット 1				*	ドライバ優先	カセット 1 で使用する用紙サイズを選択します。
	カセット 2[注 1]				*	ドライバ優先	カセット 2 で使用する用紙サイズを選択します。
	カセット 3[注 1]				*	ドライバ優先	カセット 3 で使用する用紙サイズを選択します。
	カセット 4[注 1]				*	ドライバ優先	カセット 4 で使用する用紙サイズを選択します。
消耗品情報	トナーカートリッジ						トナーカートリッジの残量を表示します。 また、残量分での印刷可能枚数を表示します。
	ドラムカートリッジ						ドラムカートリッジの消耗率を表示します。 また、残量分での印刷可能枚数を表示します。
	定着器						定着器の消耗率を表示します。 また、残量分での印刷可能枚数を表示します。
	装置寿命						装置寿命の消耗率を表示します。
装置情報							総印刷ページ数、拡張給紙ユニット装着数を表示します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
システム印刷	設定の印刷					実行	現在の設定内容を印刷します。
						中止	
	HEX ダンプ印刷 [注 2]					設定	HEX ダンプ印刷を設定します。
						中止	
	テスト印刷	5%印字サンプル				実行	A4 SEF サイズ、300dpi で、印字率 5% のサンプルを印刷します。
						中止	
		ESC/P 印刷 [注 2]				実行	ESC/P モードで使用する各種文字（ANK, 漢字、修飾）をエミュレーション解像度でテスト印刷します。
						中止	
	消耗品レポート					実行	消耗品の交換履歴や警告発生履歴を印刷します。
						中止	
初期設定	IPv4 アドレス設定	DHCP 自動取得			*	設定	DHCP により、IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを自動取得します。
						解除	DHCP により、IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを自動取得しません。
		IPv4 アドレス [注 3]					IPv4 アドレス (0.0.0.0 ～ 255.255.255.255) を設定します。
		サブネットマスク [注 3]					サブネットマスク (0.0.0.0 ～ 255.255.255.255) を設定します。
		ゲートウェイ [注 3]					ゲートウェイ (0.0.0.0 ～ 255.255.255.255) を設定します。
	IPv6 アドレス設定	IPv6 アドレス					IPv6 アドレス（0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000 ～ FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF）を 1 桁単位（0-F の範囲）で設定します。
	LAN 設定	MAC アドレス					MAC アドレスを表示します。
		Ethernet タイプ			*	自動	Ethernet のタイプを自動検出して動作します。
						100Mbps Full	100Mbps（全二重）で動作します。
						100Mbps Half	100Mbps（半二重）で動作します。
						10Mbps	10Mbps で動作します。
		省電力（EEE）機能			*	有効	省電力（EEE）機能を有効にします。
						無効	省電力（EEE）機能を無効にします。
		TCP/IPv4 プロトコル			*	有効	TCP/IPv4 プロトコルを有効にします。
						無効	TCP/IPv4 プロトコルを無効にします。
		TCP/IPv6 プロトコル				有効	TCP/IPv6 プロトコルを有効にします。
					*	無効	TCP/IPv6 プロトコルを無効にします。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
初期設定	LAN 設定	ボート番号	印刷ポート番号			9313	印刷を受け付ける場合に使用するポート番号を、1 〜 65535 の範囲で設定します。
			検索ポート番号			9313	ネットワーク内のプリンタ装置を検索する場合に使用するポート番号を、1 〜 65535 の範囲で設定します。
		サービス設定 [注 4]	プリンタ検索		*	有効	プリンタ検索サービスを有効にします。
						無効	プリンタ検索サービスを無効にします。
			Internet Service		*	有効	Internet Service を有効にします。
						無効	Internet Service を無効にします。
			SNMP		*	有効	SNMP を有効にします。
						無効	SNMP を無効にします。
		サービス設定 [注 4]	プリンタ起動通知		*	定期通知	プリンタ起動通知を有効にします（プリンタ起動時に通知し、以後 15 秒ごとに通知します）。
						起動時のみ	プリンタ起動通知を有効にします（プリンタ起動時のみ通知します）。
						無効	プリンタ起動通知を無効にします。
			BPP 印刷		*	有効	LAN 印刷（BPP 印刷）を有効にします。
						無効	LAN 印刷（BPP 印刷）を無効にします。
			IPP 印刷		*	有効	IPP 印刷を有効にします。
						無効	IPP 印刷を無効にします。
			LPR 印刷		*	有効	LPR 印刷を有効にします。
						無効	LPR 印刷を無効にします。
			RAW 印刷		*	有効	RAW 印刷を有効にします。
						無効	RAW 印刷を無効にします。
		アクセス管理 [注 5]				有効	アクセス管理を有効にします。
					*	無効	アクセス管理を無効にします。

5

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
初期設定	ポート設定	パラレルポート設定	双方向モード		*	設定	双方向インターフェースを有効にします。
						解除	双方向インターフェースを無効にします。
			INIT 受信		*	有効	INIT 信号を受信した場合の初期化動作を有効にします。
						無効	INIT 信号を受信した場合の初期化動作を無効にします。
			タイムアウト時間			30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能とするまでの時間を、10 〜 3600 秒の範囲（10 秒単位）で設定します。
		USB ポート設定	タイムアウト時間			30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能とするまでの時間を、10 〜 3600 秒の範囲（10 秒単位）で設定します。
	管理 / 初期化	メニュー操作制限 [注 4]				設定	メニューモード起動時にパスワードを要求します。ただし、項目確定にはパスワードが必要となります。
					*	解除	メニューモード起動時にパスワードを要求しません。
		LAN 初期化					IP アドレス、LAN 設定、お気に入りの URL（Internet Service）設定内容をご購入時の初期値に戻します。
		設定初期化					Flash-ROM, Panel-RAM, Active-RAM の内容をご購入時の初期値に戻します。ただし、IP アドレス , LAN 設定の設定内容は、初期化の対象外となります。
		パスワード変更					パスワード（1 〜 4 桁の数字）を変更（設定）します。このパスワードは、「メニュー操作制限」を設定する場合と、メニュー操作制限設定時にメニューモードを起動する場合に使用します。
		消耗品履歴初期化					消耗品の交換履歴および警告発生履歴をご購入時の初期値に戻します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
初期設定	その他の設定	節電モード			*	スリープ	「節電時間」で設定された時間が経過した場合には節電 2 状態となります。また、節電 2 状態への移行から約 67 秒経過後、装置制御 CPU を停止します。
						節電 2	「節電時間」で設定された時間が経過した場合、エンジン部ヒーター、FAN, モーター、およびエンジン部 CPU を停止し、オペレータパネル表示を OFF にします。
						節電 1	「節電時間」で設定された時間が経過した場合、エンジン部のヒーター、FAN、モーターを OFF にします。
		節電時間			*	10 秒	節電モードとなるまでの時間を 10 秒に設定します。
						1 分	節電モードとなるまでの時間を 1 分に設定します。
						15 分	節電モードとなるまでの時間を 15 分に設定します。
						30 分	節電モードとなるまでの時間を 30 分に設定します。
						60 分	節電モードとなるまでの時間を 60 分に設定します。
						240 分	節電モードとなるまでの時間を 240 分に設定します。
		ブザー			*	2 秒	アラームが発生時に、ブザーが 2 秒間鳴動します（いずれかのスイッチを押すか、エラーが自動で解除された場合は鳴動が停止します）。
						10 秒	アラームが発生時に、ブザーが 10 秒間鳴動します（いずれかのスイッチを押すか、エラーが自動で解除された場合は鳴動が停止します）。
						連続	アラームが発生時に、ブザーが連続で鳴動します（いずれかのスイッチを押すか、エラーが自動で解除された場合は鳴動が停止します）。
						OFF	アラームが発生しても、ブザーが鳴動しません。

5

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
初期設定	その他の設定	液晶コントラスト				レベル 4	液晶ディスプレイのコントラスト（濃さ）を設定します。 コントラストレベルは 7 段階（レベル 1 ～レベル 7）あり、レベルが高いほど濃くなります。
		印字濃度調整				2	印字濃度を -6（薄）から 3（濃）の範囲（10 段階）で設定します。
		主走査方向の位置	給紙トレイ			0.0mm	スキャン方向の印刷位置を -3.5 ～ +3.5mm の範囲（0.5mm 単位）で設定します。
			カセット 1				
			カセット 2[注 1]				
			カセット 3[注 1]				
			カセット 4[注 1]				
			両面設定	給紙トレイ			「両面設定」が選択された場合の設定対象（給紙トレイ , 各カセット）を選択します。第五階層で設定対象（給紙トレイ、各カセット）ごとに、両面印刷時のスキャン方向の印刷位置が設定できます。
				カセット 1			
				カセット 2[注 1]			
				カセット 3[注 1]			
				カセット 4[注 1]			
		副走査方向の位置	給紙トレイ			0.0mm	紙送り方向の印刷位置を -3.5 ～ +3.5mm の範囲（0.5mm 単位）で設定します。
			カセット 1				
			カセット 2[注 1]				
			カセット 3[注 1]				
			カセット 4[注 1]				
			両面設定	給紙トレイ			「両面設定」が選択された場合の設定対象（給紙トレイ、各カセット）を選択します。第五階層で設定対象（給紙トレイ、各カセット）ごとに、両面印刷時のスキャン方向の印刷位置が設定できます。
				カセット 1			
				カセット 2 [注 1]			
				カセット 3 [注 1]			
				カセット 4 [注 1]			
		エミュレーション設定			*	解除	標準添付ドライバモードで動作します。 標準添付ドライバモード以外のモード用の各種コマンドを受信した場合には、何も処理をせず、コマンドを破棄します。
						ESC/P [注 6]	ESC/P エミュレーションモードで動作します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
初期設定	その他の設定	カートリッジ準備			*	続行	トナーカートリッジ寿命を迎えても、印刷を続行します。
						停止	トナーカートリッジ寿命を迎えた場合、印刷を停止します。
		USB シリアル No 通知			*	有効	USB シリアル No 通知機能が有効になります。
						無効	USB シリアル No 通知機能が無効になります。
		ドラムクリーニング 1					白スジが複数本発生した場合、ドラムクリーナーに付着した異物（紙粉など）を除去します。
		ドラムクリーニング 2					白スジが 1 本発生した場合、ドラムクリーナーに付着した異物（紙粉など）を除去します。
印刷設定	給紙口					給紙トレイ	1 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。
					*	カセット 1	2 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。
						カセット 2 [注 1]	3 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。
						カセット 3 [注 1]	4 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。
						カセット 4 [注 1]	5 段目の給紙ユニットから給紙（検索）します。
	自動給紙設定	給紙トレイ			*	有効	自動給紙の対象とします。
		カセット 1				無効	自動給紙の対象としません。
		カセット 2 [注 1]					
		カセット 3 [注 1]					
		カセット 4 [注 1]					
	ユーザ定義サイズ [注 2]	給紙トレイ	ユーザ定義幅			297mm	給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。 60 ～ 297mm
			ユーザ定義長さ			210mm	給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 127 ～ 1260mm
		カセット 1	ユーザ定義幅			297mm	カセット 1 にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。 90 ～ 297mm
			ユーザ定義長さ			210mm	カセット 1 にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 148 ～ 432mm

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
印刷設定	ユーザ定義サイズ [注 2]	カセット 2 [注 1]	ユーザ定義幅			297mm	カセット２にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。 100 ～ 297mm
			ユーザ定義長さ			210mm	カセット２にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 148 ～ 432mm
		カセット 3 [注 1]	ユーザ定義幅			297mm	カセット３にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 148 ～ 432mm
			ユーザ定義長さ			210mm	カセット３にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 210 ～ 356mm
		カセット 4 [注 1]	ユーザ定義幅			297mm	カセット４にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。 100 ～ 297mm
			ユーザ定義長さ			210mm	カセット４にセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。 148 ～ 432mm
	両面印刷					設定	両面印刷を実行します。
					*	解除	両面印刷を実行しません（片面印刷を実行します）。
	印刷方向 [注 2]					たて	行が用紙の短辺と平行になるように印刷します。 ただし、上端および左端の余白は追加しません。
						たて余白	行が用紙の短辺と平行になるように印刷します。 また、上端および左端の余白も追加します。
						よこ	行が用紙の長辺と平行になるように印刷します。 ただし、上端および左端の余白は追加しません。
						よこ余白	行が用紙の長辺と平行になるように印刷します。 また、上端および左端の余白も追加します。
	縮小印刷 [注 2]				*	100%	縮小印刷の設定値を 100%（通常）に設定します。
						75%	縮小印刷の設定値を 75%（A3 → B4、A4 → B5）に設定します。
						70%	縮小印刷の設定値を 70%（A3 → A4、A4 → A5、B4 → B5）に設定します。
						リスト印刷 A4	縮小印刷の設定値をリスト印刷 A4（A4 横 , 75% 縮小）に設定します。
	コピー枚数 [注 2]					1 枚	ESC/P モードで印刷を実行する場合のコピー枚数を、1 ～ 999 枚の範囲で設定します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層		設定値	機能（範囲）
印刷設定	とじしろ方向 [注 2]					長辺とじ	用紙の長辺側をとじしろにします。
						短辺とじ	用紙の短辺側をとじしろにします。
	とじしろモード [注 2]					左 / 上とじ	用紙の左側または上側をとじしろにします。
						右 / 下とじ	用紙の右側または下側をとじしろにします。
	とじしろ量 [注 2]	おもて				0mm	おもてのとじしろ量を、0 ～ 30mm の範囲で設定します。
		うら				0mm	うらのとじしろ量を、0 ～ 30mm の範囲で設定します。
	スムージング [注 2]				*	設定	印刷時、文字や図形の輪郭を滑らかにします。
						解除	印刷時、文字や図形の輪郭を滑らかにしません。
	トナーセーブ [注 2]					設定	印刷時、トナーの消費量を節約します。[注 7]
					*	解除	印刷時、トナーの消費量を節約しません。
	データなし印刷 [注 2]					設定	データなしページの場合でも印刷します。
					*	解除	データなしページの場合には印刷しません。 ただし、オーバーレイ登録中の場合には、データなしページであっても印刷します。
	タイマー監視印刷 [注 2]				*	解除	タイマー監視印刷を実行しません。
						30 秒	監視時間を 30 秒として、タイマー監視印刷を実行します。
						10 秒	監視時間を 10 秒として、タイマー監視印刷を実行します。
	用紙サイズ (MSI)	用紙幅				60 ㎜	用紙幅のサイズを 1mm 単位で設定します。 60 ～ 297mm
		用紙長さ				900 ㎜	用紙長さのサイズを 1mm 単位で設定します。 127 ～ 900mm
	文字コード				*	カタカナ	カタカナコード表を使用します。
						グラフィック	拡張グラフィックコード表を使用します。
	給紙位置 [注 8]					8.5mm	給紙位置を 8.5mm に設定します。
						22.0mm	給紙位置を 22.0mm に設定します。
	右マージン位置				*	用紙幅	使用する用紙の印刷領域の幅に設定します。
						136 桁	使用する用紙に関係なく、136 桁 (13.6 インチ) に設定します。 用紙幅が 136 桁未満の場合、印刷領域を超えた部分は印刷されません。
	ANK 文字				*	Roman	ANK 文字を Roman 書体で印刷します。
						SansSerif	ANK 文字を SansSerif 書体で印刷します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
印刷設定	漢字書体				*	明朝	漢字を明朝体で印刷します。
						ゴシック	漢字をゴシック体で印刷します。
	CR コード				*	CR のみ	CR（復帰）動作のみを行います。
						CR+LF	CR（復帰）動作と LF（改行）動作を行います。
	たて余白設定	たて上端余白				8.5mm	給紙位置 [注 8] が 8.5mm の場合。上端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 8.5mm ～ 50.0mm
						22.0mm	給紙位置 [注 8] が 22.0mm の場合。上端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 22.0mm ～ 50.0mm
		たて左端余白				5.0mm	左端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 5.0mm ～ 50.0mm
	よこ余白設定	よこ上端余白				8.5mm	給紙位置 [注 8] が 8.5mm の場合。上端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 8.5mm ～ 50.0mm
						22.0mm	給紙位置 [注 8] が 22.0mm の場合。上端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 22.0mm ～ 50.0mm
		よこ左端余白				5.0mm	左端の余白量を、0.1mm 単位で設定します。 5.0mm ～ 50.0mm
	印字位置調整	たて				0.0mm	たて方向の印字位置を、-30.0 ～ 30.0mm の範囲で、0.1mm 単位で設定します。
		よこ				0.0mm	よこ方向の印字位置を、-30.0 ～ 30.0mm の範囲で、0.1mm 単位で設定します。
装置情報	印刷ページ数					xxxxxxx ページ	総印刷ページ数を、0 ～ 9999999（10 進数）で表示します。
	カウンタ (A4 換算)					xxxxxxx ページ	A4 換算した場合の総印刷ページ数を、0 ～ 9999999（10 進数）で表示します。 A4 LEF サイズで換算した総印刷枚数です。
	メモリ容量					xxxx Mbyte	メモリ容量で表示します。 メモリ容量の値は、標準メモリと増設メモリの合計値（10 進数）となります。
	メイン ROM 版数					Version xx.xx	プログラム ROM の版数を表示します。
	ネットワーク版数					Version xx.xx	ネットワーク版数を表示します。
	制御チップ版数					Version xx.xx	制御チップ版数を表示します。
	エンジン ROM 版数					Version xx.xx	エンジン ROM 版数を表示します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値		機能（範囲）
装置情報	エンジンステータス	STATUS(0x00)				STATUS(0x00) = 0xXX	エンジンステータス (0x00 ～ 0x4F) の内容 (16 進数) で表示します。
		・・・				・・・	
		STATUS (0x4F)				STATUS(0x4F) = 0xXX	
	NV コード	1-105-001				1-105-001 = 0xXXXXXXXX	NV コードの内容（16 進数）を表示します。 定着通紙温度設定
		3-920-001				3-920-001 = 0xXXXXXXXX	NV コードの内容（16 進数）を表示します。 濃度調整設定
		7-993-001				7-993-001 = 0xXXXXXXXX	NV コードの内容（16 進数）を表示します。 トータルカウンタ（エンジン）
	カートリッジ情報	トナー情報				トナー情報 = X	トナーカートリッジ情報を 16 進数で表示します。
	USB ステータス					xxxxxxx	USB の接続状態を表示します。
	LAN ステータス					a.bcd.efg.hi.j	LAN の接続情報を表示します。
	IPv 4 アドレス表示	IPv 4 アドレス				xxx.xxx.xxx.xxx	IPv4 アドレス（IP アドレス）の内容を表示します。
		サブネットマスク				xxx.xxx.xxx.xxx	IPv4 アドレス（サブネットマスク）の内容を表示します。
		ゲートウェイ				xxx.xxx.xxx.xxx	IPv4 アドレス（ゲートウェイ）の内容を表示します。
	IPv 6 アドレス表示	IPv 6 アドレス	手動設定			xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx:	IPv6 の各種アドレス（手動設定）を表示します。
			Global			xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx:	IPv6 の各種アドレス（グローバル）を表示します。
			Link Local			xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx: xxx:	IPv6 の各種アドレス（リンクローカル）を表示します。
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチ X-X			*	OFF	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。変更しないでください。
						ON	

注 1　：「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」は、それぞれが装着されている場合、表示されます。

注 2　：「エミュレーション設定」が解除されている場合は表示されません。

注 3　：「DHCP 自動取得」が設定されている場合、「IPv4 アドレス」,「サブネットマスク」,「ゲートウェイ」は表示されません。

注 4　：設定について詳しくは、「セキュリティに関する設定」をご覧ください。設定を無効にした場合について詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」の説明をご覧ください。

注 5　：機能について詳しくは「IPv4 アドレスによるアクセス管理」をご覧ください。

注 6　：ウイングアーク テクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時に、プリンタの機種を「EPSON ESC/Page」にして印刷するときは、エミュレーション設定を「ESC/P」にします。なお、プリンタの機種を「Dot Printer」（ ESC/P）や「FUJITSU VSP」（FM シーケンス）にして印刷することはできませんので、ご注意ください。

注 7　：トナーセーブ率は、印刷データの内容によって変わります。

注 8　：給紙位置が余白の最小値となります。

4 代表的な設定項目とその操作方法

ここでは、オペレータパネルで行える、代表的な機能の設定方法や操作方法について説明します。

設定の一覧印刷

プリンタおよび LAN ポートの、現在の設定内容の一覧を印刷します。設定の一覧は、メニューモードの「システム印刷」→「設定の印刷」で印刷します。

■印刷例

FUJITSU　XL−xxxx

システム情報

項目		値
装置号機	=	LR9999999
総印刷ページ数	=	1234567ページ
カウンタ（A4換算）／装置寿命ページ数	=	1234567ページ／60万ページ
装置寿命カウンタ	=	残り　12％　（消耗率　123％）
トナーカートリッジカウンタ	=	残り　12％
ドラムカートリッジカウンタ	=	残り　12％　（消耗率　123％）
定着器カウンタ	=	残り　12％　（消耗率　123％）
電源投入後総印刷ページ数	=	1234567ページ
カートリッジ情報	=	0
メモリ容量	=	128MB
ＵＳＢステータス	=	HIGH SPEED
メインＲＯＭ版数	=	Ver 99.99
ネットワーク版数	=	Ver 99.99
制御チップ版数	=	Ver　4.00
エンジンＲＯＭ版数	=	Ver 99.99
給紙口情報		
給紙トレイ	=	B4 LEF（横置き）
カセット１	=	A4 LEF（横置き）
カセット２（550FDR）	=	A4 LEF（横置き）
カセット３（550FDR）	=	A4 LEF（横置き）
カセット４（550FDR）	=	A4 LEF（横置き）

IPアドレス設定

項目		値
ＩＰｖ４アドレス設定		
ＤＨＣＰ自動取得	=	解除
ＩＰアドレス	=	192.168.　0.112
サブネットマスク	=	255.255.255.　0
ゲートウェイ	=	0.　0.　0.　0
ＩＰｖ６アドレス設定		
固定アドレス	=	1111:2222:3333:4444:5555:6666:7777:8888
リンクローカル	=	1111:2222:3333:4444:5555:6666:7777:8888
グローバル	=	1111:2222:3333:4444:5555:6666:7777:8888
ゲートウェイ	=	1111:2222:3333:4444:5555:6666:7777:8888

LAN設定

項目		値
ＭＡＣアドレス	=	00000E850006
Ｅｔｈｅｒｎｅｔタイプ	=	自動認識
ＴＣＰ／ＩＰｖ４プロトコル	=	有効
ＴＣＰ／ＩＰｖ６プロトコル	=	有効
印刷ポート番号	=	9313
検索ポート番号	=	9313
ＴＣＰ／ＩＰｖ４動作状態	=	2（IPv4アドレス要求中）
ＴＣＰ／ＩＰｖ６動作状態	=	0（正常動作中）
ＬＡＮステータス	=	1.011.011.11
アクセス管理	=	有効
プリンタのＵＲＬ（IPv4）	=	http://8901234567890123456790123456789013245678901234567890123
プリンタのＵＲＬ（IPv6）	=	http://8901234567890123456790123456789013245678901234567890123
サービス設定		
プリンタ検索	=	有効
インターネットサービス	=	有効
ＳＮＭＰ	=	有効
プリンタ起動通知	=	定期通知
ＢＰＰ印刷	=	有効
ＩＰＰ印刷	=	有効
ＬＰＲ印刷	=	有効
ＲＡＷ印刷	=	有効
省電力（EEE）機能	=	有効

アクセス管理設定

No	IPv4アドレス	マスク長
１	172.　22.　79.139	/24
２	172.　22.　79.139	/24
３	172.　22.　79.139	/24
４	172.　22.　79.139	/24
５	172.　22.　79.139	/24

制御設定　＝　許可

ポート設定

項目		値
パラレル		
双方向モード	=	設定
タイムアウト時間	=	3600秒
ＩＮＩＴ受信	=	有効
ＵＳＢ設定		
タイムアウト時間	=	3600秒

POINT

- 印刷は、現在設定されている方法で行われます。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、A4SEF、A5SEF、はがきサイズより小さいユーザ定義サイズの用紙は印刷できません。
  印刷した場合は、「用紙サイズ不一致」または「用紙サイズ不足」と表示されますので、オペレータパネルに表示されたサイズの用紙をセットして再度印刷するか、いったん印刷をキャンセルして、他の用紙サイズに変更してから、再度印刷してください。
- 用紙がない場合は「用紙なし」と表示されますので、用紙を補給してください。
- 印刷を中止する場合は、リセットスイッチを押してください。
- LAN 設定で「TCP/IPv4 プロトコル」、「TCP/IPv6 プロトコル」を「無効」にしたときは、詳細な LAN 設定内容は印刷されません。また、「エミュレーション設定」を「無効」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。

テスト印刷 （印字率約 5% サンプル）

300dpi で印字率約 5%のサンプルを印刷します。印字率約 5%のサンプルは「システム印刷」→「テスト印刷」→「5%サンプル」で印刷します。

■印刷例

IP アドレスの設定

ここでは、プリンタに IP アドレスを設定する方法を説明します。
設定方法は、お使いの環境（IPv4 アドレス環境／ IPv6 アドレス環境）により異なります。

IPv4 アドレスの場合

DHCP による自動取得を設定または解除します。DHCP による自動取得が解除されている場合には、IPv4 アドレス , サブネットマスク , ゲートウェイアドレスの手動設定が可能となります。

POINT

- 「8.4.1.1DHCP 自動取得」が設定されている場合、「IPv4 アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」は表示されません。

「IPv4 アドレス設定」から▼スイッチで第三階層に移動し、◀スイッチまたは▶スイッチで項目を選択します。
設定画面への移動は▼スイッチで行います。また、▲スイッチで 1 つ上の階層へ戻ります。

本製品に IPv4 アドレスを設定する場合、次の 2 種類の方法があります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。
- プリンタに直接設定する手動設定
- プリンタの電源を入れたときに DHCP サーバーから自動的に取得する自動取得設定

なお、IPv4 アドレスの設定は、ネットワークに接続されたパソコンから、添付の「Printia LASER プリンタユーティリティ」に収められているソフトウェアを使用して行うこともできます。ソフトウェアによる設定方法については、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

■手動設定の場合

設定は、メニューモードの「初期設定」→「IPv4 アドレス設定」で、まず「DHCP 自動取得」を解除してから、IPv4 アドレスの設定を行います。
メニューモードで DHCP 自動取得の画面を表示し、次の手順で設定してください。

1 DHCP 自動取得を解除します。

▶スイッチまたは◀スイッチを押して、「解除」を選択します。設定スイッチを押すと、値が設定されます。初期設定は「設定」です。

2 IPv4 アドレスを設定します。

1. ▲スイッチを押して、次の表示にします。

2. ▶スイッチを押して「IPv4 アドレス」を選択し、▼スイッチを押します。

3. ▶スイッチまたは◀スイッチを押して IP アドレスを変更するブロックを選択して、▲スイッチまたは▼スイッチで値を設定します。

4. 各ブロックすべてを設定したら設定スイッチを押します（この操作では、IPv4 アドレスはまだ反映されません）。

サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、▲スイッチを押して手順 2 の表示に戻した後、▶スイッチ◀スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で手順 3 〜手順 4 の操作を行ってください。

3 設定が終わったらメニュースイッチを押し、設定を終了します。

本製品に設定値を反映します。
設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

■DHCP による自動取得の場合

メニューモードの「初期設定」→「IPv4 アドレス設定」→「DHCP 自動取得」が「設定」になっていることを確認します。いったん本製品の電源を切ってから、DHCP サーバーと本製品をネットワークに接続し、本製品の電源を入れてください。プリンタの起動時に IPv4 アドレスを DHCP サーバーから取得します。

POINT

- DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本製品の電源を再度入れたときに同じ IP アドレスを取得できるように、DHCP サーバーにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」→「MAC アドレス」をご覧になるか、設定の一覧を印刷してください。
- DHCP による自動取得の場合、IPv4 アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。
  取得した IPv4 アドレスは、メニューモードの「装置情報」→「IPv4 アドレス表示」で確認することができます。

・IP アドレスが取得できなかった場合や、表示された IPv4 アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニューモードの「初期設定」→「IPv4 アドレス設定」→「DHCP 自動取得」(「手動設定の場合」(→ P.126)の手順 1 〜手順 2 参照)が「設定」になっているか確認します。「解除」の場合は、「設定」に変更してください(初期値は「設定」です)。
設定変更後、メニューモードを解除するとプリンタが再起動し、IP アドレスの取得を行います。

IPv6 アドレスの場合

IPv6 アドレスの手動設定が可能となります(現状は 1 項目のみ)。

「IPv6 アドレス設定」から▼スイッチで第三階層に移動します。
設定画面への移動は▼スイッチで行います。また、▲スイッチで 1 つ上の階層へ戻ります。

本製品に IPv6 アドレスを設定する場合、次の 2 種類の方法で自動取得できます。また、手動で IPv6 アドレスを設定する方法もあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

- リンクローカルアドレス
  同一ネットワーク内での通信に使用されるアドレスです。リンクローカルアドレスは、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」→「TCP/IPv6 プロトコル」を「有効」に設定すると、「fe80::」から始まるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。なお、本製品に設定できるリンクローカルアドレスは 1 つです。
- グローバルアドレス
  インターネット経由の通信に使用されるアドレスです。グローバルアドレスの設定には、RA(Router Advertisement)と呼ばれるパケットを送信できるルーターとの接続が必要です。グローバルアドレスは、ルーターから送信された RA に含まれるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。

重要

・リンクローカルアドレスは、ルーターを越えた通信はできません。
・グローバルアドレスは、DHCPv6 を用いたステートフルアドレスを設定できません。ステートレスアドレスのみ設定できます。

■自動設定された IPv6 アドレスの確認方法

自動設定された IPv6 アドレスは、メニューモードの「システム印刷」→「設定の印刷」で設定一覧を印刷し、「IP アドレス設定」内の「IPv6 アドレス設定」欄で確認できます。

■手動設定の場合

設定は、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」で、「TCP/IPv6 プロトコル」を「有効」にしてから、IPv6 アドレスの設定を行います。
メニューモードで「初期設定」→「IPv6 アドレス設定」の順にクリックし、次の手順で設定してください。

重要

次の IPv6 アドレスは、他の装置等で、すでに用途が定められている予約アドレスのため使用できません。プリンタに設定しないでください。

・FE80 ～ FEFF で始まるアドレス（リンクローカルアドレス）
・FF00 ～ FFFF で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）

間違って IPv6 アドレスを設定した場合は、正しい IPv6 アドレスに 設定し直してください。

1 **プリンタのオペレータパネルの表示が「オンライン」または「節電中」になっていることを確認します。**

プリンタの節電中ランプが点灯し、液晶ディスプレイが消えている場合は、節電中 / 解除スイッチを押して、節電状態を解除してから設定してください。

2 **メニュースイッチを押し、メニューモードに入ります。**

3 **▶スイッチを押し、▼スイッチを押して「IPv4 アドレス設定」を選択します。**

4 **▶スイッチを押して「IPv6 アドレス設定」を選択し、▼スイッチを押します。**

5 **▼スイッチを押して「IPv6 アドレス」と表示します。**

5

6 ▶スイッチまたは◀スイッチで、カーソルを移動して▲スイッチまたは▼スイッチで（0 ～ F）を 1 桁ずつ設定します。

IPv6アドレス(1/3)
◀ 2000:0000:0000: ▶
[現在値] 0000:0000:0000:
◀▶:移動 ▲▼:変更 設定:確定

7 （1／3）画面の設定が終わったら、▶スイッチを押して、（2／3）、（3／3）も設定します。

8 すべてを設定したら設定スイッチを押します。

ここではまだ IPv6 アドレスは反映されていません。

9 設定が終わったらメニュースイッチを押し、設定を終了します。

本製品に設定値を反映します。
設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

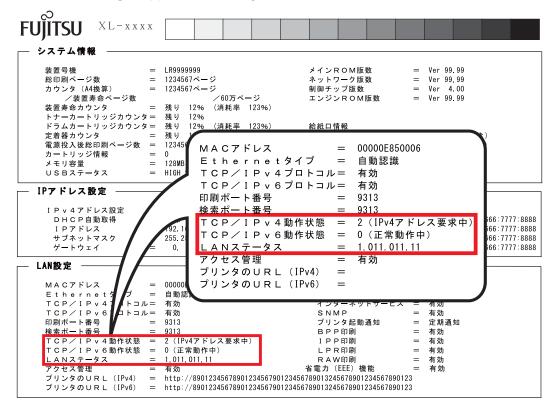
POINT

設定するアドレスは、ルーターに設定されている、ＲＡ と同じアドレスを設定してください。
合わせていない場合は、プリンタと通信できません。

例)
ルーターの RA で設定しているアドレス :
2001:0DB8:1111:1000::
ルーターアドレス :
2001:0DB8:1111:1000:B494:35D0:8F88:2A3A
設定アドレス :
2001:0DB8:1111:1000:0217:42FF:FE78:A974

設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

TCP/IP の動作確認

TCP/IPv4、TCP/IPv6 が正常に動作しているかどうかの確認は、メニューモードの「システム印刷」→「設定の印刷」を行い、「LAN 設定」の「TCP/IPv4, TCP/IPv6 動作状態」および「LAN ステータス」を確認してください。

TCP/IPv4 動作状態

コード	内容と処置
0	TCP/IPv4 は正常に動作しています。
1	IPv4 アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IPv4 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IPv4 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバーの電源が入っているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IPv4 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切り、再び入れてください。
5	DHCP による TCP/IPv4 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバーの電源が入っているか確認してください。

コード	内容と処置
6	IPv4 アドレスが他のホストで使用されています。 他のホストの設定を確認し、重複していない IPv4 アドレスを設定してください。 DHCP で IPv4 アドレスを自動取得している場合は、電源を再度入れてください。 STP（スパニングツリープロトコル）の設定があるハブユニットを使用している場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定してください。「有効」に設定していると、プリンタの IPv4 アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。
9	その他不明の状態です。 考えられる主な原因に、ゲートウェイの設定に誤りがある可能性があります。

TCP/IPv6 動作状態

コード	内容と処置
0	TCP/IPv6 は正常に動作しています。
1	IPv6 グローバルアドレス取得中です。

LAN ステータス

LAN の接続情報を表示します。

参照画面では、▲スイッチで 1 つ上の階層へ戻ります。

LAN の接続状態を「a.bcd.efg.hi.j」の形式で表示します。各部の意味は次のとおりです。

各部	意味
a	ネットワークに接続されているかどうかを表します。 ・1：ネットワークに接続されています。 ・0：ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
bcd	プリンタのデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…1000Base-T（0：Half/Full 無効／ 2：Full 有効） ・2 桁目…100Base-TX（0：Half/Full 無効／ 1：Half 有効／ 2：Full 有効／ 3：Half/Full 有効） ・3 桁目…10Base-T（0：Half/Full 無効／ 1：Half 有効／ 3：Half/Full 有効） 注：メニューモードの「LAN 設定」→「Ethernet タイプ」で設定を変更できます。

各部	意味
efg	ハブなど、プリンタの接続先のデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…1000Base-T（0 : Half/Full 無効／ 1 : Half 有効／ 2 : Full 有効／ 3 : Half/Full 有効） ・2 桁目…100Base-TX（0 : Half/Full 無効／ 1 : Half 有効／ 2 : Full 有効／ 3 : Half/Full 有効） ・3 桁目…10Base-T（0 : Half/Full 無効／ 1 : Half 有効／ 2 : Full 有効／ 3 : Half/Full 有効） 注：ハブによっては「000」と表示される場合があります。このときは、ハブのマニュアルで転送能力を確認してください。
hi	現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…0 : Half ／ 1 : Full ・2 桁目…0 : 10Mbps ／ 1 : 100Mbps ／ 2 : 1000Mbps 注：a が 0 のときは、「－－」と表示されます。
j	省電力モード状態を表します ・j=1 : 省電力モードが動いています。 ・j=0 : 省電力モードが動いていません。

セキュリティに関する設定

ここでは、本製品を使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

POINT

・セキュリティに関するすべての機能は、「Printia LASER Internet Service」から設定することができます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。
「サービス管理」の「インターネットサービス」を無効に設定した場合など、「Printia LASER Internet Service」からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

ポート／サービスの管理

ネットワークサービスと印刷や検索に使用するポートの有効／無効を設定します。
設定は、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」→「サービス設定」から行います。

POINT

・各設定を無効にした場合について詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」のネットワークサービスの説明をご覧ください。

IPv4 アドレスによるアクセス管理

プリンタにアクセスできるパソコン（IPv4 アドレス）を制限するかしないかを設定します。設定は、メニューモードの「初期設定」→「LAN 設定」→「アクセス管理」から行います。

POINT

- IP アドレスによるアクセス管理は、IPv4 アドレスのみ使用できます。
- IPv4 アドレスを制限する場合は、あらかじめ「Printia LASER Internet Service」のネットワークサービス設定でアクセス許可リストの設定を行っておく必要があります。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザーによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワード（4 桁以内の数字）で制限します。

設定は、メニューモードの「初期設定」→「管理／初期化」→「メニュー操作制限」から行います。

パスワードの初期値は、「9999」です。パスワードの変更は、メニューモードの「初期設定」→「管理／初期化」→「パスワード変更」から行ってください。

「メニュー操作制限」を有効にすると、オペレータパネルでメニューモードに移行するときにパスワードの入力を要求されます。

▶スイッチまたは◀スイッチを押してパスワードを入力する桁を選択し、▲スイッチまたは▼スイッチで値を設定した後、設定スイッチを押してください。

POINT

- パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法で対処してください。
  - 「Printia LASER Internet Service」で新しいパスワードを設定
    「管理者モード」→「オプション情報」→「管理者情報」の「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更」で新しいパスワードを設定してください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。
  - オペレータパネル操作制限無効モードで起動
    メニュースイッチと設定スイッチを同時に押しながら、本製品の電源を入れると、オペレータパネル操作制限機能を無効にしてプリンタが起動します。この場合は、メニューモードに入る前のパスワード入力が必要ありません。パスワードの変更で新しいパスワードを設定し直してください。

消耗品の管理

プリンタのトナーカートリッジやドラムカートリッジなど、消耗品の警告発生履歴の保存と出力を行うことができます。

POINT

- トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が近づいたときには印刷を停止し、通知する方法もあります。メニューモードの「初期設定」→「その他の設定」→「カートリッジ準備」で「停止」を選択してください。
- 「Printia LASER Internet Service」の「E メール送信設定」を利用すると、消耗品や定期交換部品の交換要求、ハードエラーの発生などを、E メールで受信することができます。
  詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。

■履歴の保存

履歴は最大 500 件まで自動的に保存されます。500 件以上になった場合は、古いものから順に削除され、最新の 500 件を保存します。

■履歴の出力

履歴は次の方法で出力できます。

- レポート印刷

  メニューモードの「システム印刷」→「消耗品レポート」で消耗品履歴レポートの印刷を行います。

  消耗品履歴レポートの出力例

```
XL-XXXX　消耗品履歴レポート

装置情報
MACアドレス : xxxxxxxxxxxx
ROM版数　　 : Ver xx.xx

[ID]  [履歴採取日時]       [総印刷頁数]  [カウンタ(A4換算)]  [電源投入時間]  [ログ情報]    [要因]
0XX   yy/mm/dd xx:xx:xx   XXXXXXXX     XXXXXXXX           XXXXXXXX       定期交換部品   交換キット警告発生
0XX   yy/mm/dd xx:xx:xx   XXXXXXXX     XXXXXXXX           XXXXXXXX       定期交換部品   交換キット警告解除
   :
0XX   yy/mm/dd xx:xx:xx   XXXXXXXX     XXXXXXXX           XXXXXXXX       カートリッジ   準備警告発生
0XX   yy/mm/dd xx:xx:xx   XXXXXXXX     XXXXXXXX           XXXXXXXX       装置寿命       寿命残り20%
```

- 「電源投入時間」では、電源が入れられていた累積時間が表示されます。単位は、時間になります。

- 「Printia LASER Internet Service」による CSV ファイル出力
- 「管理者モード」→「オプション情報」→「消耗品履歴の保存」で CSV ファイルとして保存することができます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。

第 6 章
使用できる用紙と保管方法

この章では、本製品で使用できる用紙とその保管方法について説明します。

1　使用できる用紙 138
2　使用できない用紙 144
3　用紙保管上のご注意 146

1 使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係は、次の表のとおりです。

<table>
<tr><th>給紙方法</th><th>用紙種類</th><th>重量</th><th>収容枚数</th><th>用紙サイズ</th></tr>
<tr><td rowspan="13">給紙トレイ</td><td>普通紙 L</td><td rowspan="3">52 〜 90g/㎡</td><td rowspan="3">約 100 枚
（64g/㎡の用紙の場合）</td><td rowspan="7">A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、B5SEF、A5LEF、A5SEF、B6LEF、B6SEF、A6SEF、リーガル SEF、レターLEF、レターSEF、長尺紙、ユーザ定義サイズ</td></tr>
<tr><td>普通紙</td></tr>
<tr><td>普通紙 H</td></tr>
<tr><td>厚紙 1L</td><td rowspan="3">91 〜 162g/㎡</td><td rowspan="10">横ガイドの上限線まで</td></tr>
<tr><td>厚紙 1</td></tr>
<tr><td>厚紙 2L</td></tr>
<tr><td>厚紙 2</td><td>163 〜 220g/㎡</td></tr>
<tr><td>ラベル紙 1</td><td>75 〜 90g/㎡</td><td rowspan="3">A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、B5SEF、A5LEF、A5SEF、B6LEF、B6SEF、A6SEF、リーガル SEF、レターLEF、レターSEF、</td></tr>
<tr><td>ラベル紙 2L</td><td rowspan="2">91 〜 130g/㎡</td></tr>
<tr><td>ラベル紙 2</td></tr>
<tr><td>郵便はがき</td><td>190g/㎡</td><td>はがき SEF</td></tr>
<tr><td>往復はがき</td><td>190g/㎡</td><td>往復はがき LEF、往復はがき SEF</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>封筒</td><td>封筒（洋長 3 号 LEF、洋長 3 号 SEF、洋形 2 号 LEF、洋形 2 号 SEF、洋形 4 号 SEF、長形 3 号 SEF、長形 4 号 SEF、角形 2 号 SEF）</td></tr>
<tr><td rowspan="10">給紙カセット
（標準）</td><td>普通紙 L</td><td rowspan="3">52 〜 90g/㎡</td><td rowspan="3">XL-9381 は約 550 枚、
XL-9321 は約 250 枚
（64g/㎡の用紙の場合）</td><td rowspan="7">A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、B5SEF、A5LEF、A5SEF、B6SEF、A6SEF、リーガル SEF、レターLEF、レターSEF、ユーザ定義サイズ</td></tr>
<tr><td>普通紙</td></tr>
<tr><td>普通紙 H</td></tr>
<tr><td>厚紙 1L</td><td rowspan="3">91 〜 162g/㎡</td><td rowspan="7">横ガイドの上限線まで</td></tr>
<tr><td>厚紙 1</td></tr>
<tr><td>厚紙 2L</td></tr>
<tr><td>厚紙 2</td><td>163 〜 220g/㎡</td></tr>
<tr><td>郵便はがき</td><td>190g/㎡</td><td>はがき SEF</td></tr>
<tr><td>往復はがき</td><td>190g/㎡</td><td>往復はがき LEF、往復はがき SEF</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>封筒</td><td>封筒（洋長3号 LEF、角形2号 SEF）</td></tr>
</table>

給紙方法	用紙種類	重量	収容枚数	用紙サイズ
拡張給紙ユニット（オプション）	普通紙 L	52 ～ 90g/ ㎡	約 550 枚／約 250 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）	A3SEF、B4SEF、A4LEF、A4SEF、B5LEF、B5SEF、A5LEF、A5SEF、B6SEF、A6SEF、リーガル SEF、レター LEF、レター SEF、ユーザ定義サイズ
	普通紙			
	普通紙 H			
	厚紙 1L	91 ～ 162g/ ㎡	横ガイドの上限線まで	
	厚紙 1			
	厚紙 2L			
	厚紙 2	163 ～ 220g/ ㎡		

重要

- 用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷を行い、支障がないことを確認することをお勧めします。
- はがきは、郵便はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- ラベル紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
- ラベル紙を印刷する場合は、ラベル紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。重量が 75 ～ 90g/ ㎡の場合は「ラベル紙 1」を、91 ～ 130g/ ㎡の場合は「ラベル紙 2L」または「ラベル紙 2」を選択してください。
- ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定にあわせてください。
- プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
- A4 LEF より長い用紙を使用した場合、耐用期間は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。
- 厚紙を印刷する場合は、厚紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。重量が 91 ～ 162g/ ㎡の場合は「厚紙 1L」「厚紙 1」「厚紙 2L」から選択し、160 ～ 220g/ ㎡の場合は、「厚紙 2」を選択してください。
  指でこすると、印字がはがれることがありますので、「普通紙 L」「普通紙」「普通紙 H」は選択しないでください。
- ユーザ定義サイズ用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、本製品が故障するおそれがあります。
- ユーザ定義サイズ用紙に印刷する場合は、用紙の幅と長さの組み合わせにより、印刷速度が異なります。詳しくは、「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.217）をご覧ください。
- 幅が 297 ㎜未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。
- 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
  また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
- 用紙（特に再生紙）は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。
- シワ／斜行／角折れ／二重送り／紙詰まりなどが発生する場合があります。印刷する前に、用紙のカール／反りを直してから用紙をセットしてください。
  また、高温／高湿環境や低温／低湿環境を避けて、保管／運用してください。
- 用紙の状態によっては、紙詰まりやシワ／カールが発生する場合があります。
  次のように対処することで軽減できる場合がありますので、お試しください。改善されない場合は、「用紙保管上のご注意」（→ P.146）をご確認ください。
  1. 印刷方向を変えてみる（90°または 180°）。
  2. 用紙を裏返して印刷する面を変えてみる。
  3. プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「普通紙 L」（トナーの定着温度を少し低くする設定）にしてみる。
- A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙をお勧めします。
  A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。
- 封筒使用時は印刷品質が低下する場合があります。

使用できる用紙の種類

普通紙

本製品では、PPC用紙および普通紙を使用できます。本製品での印刷に適した普通紙の仕様について、次の表でご確認ください。
一般の市販品には、本製品に適さないものもあります。できるだけ「印刷確認済みの用紙」の推奨用紙をご使用ください。詳しくは、「推奨用紙」（→ P.228）をご覧ください。

項目	測定方法	推奨仕様［注1］
坪量	―	64 ～ 68g/ ㎡
連量	―	55 ～ 58 ㎏
紙厚	JIS P-8118	88 ～ 94 μ m
密度	―	0.68 ～ 0.74g/cm³
平滑度	JIS P-8119	表：23 ～ 47 秒、裏：20 ～ 37 秒
剛度	JIS P-8143	主走査：70 ～ 123cm³/100、 副走査：28 ～ 60cm³/100
水分	JIS P-8127	4 ～ 5%
摩擦係数	JIS P-8147	静止：0.45 ～ 0.75、動：0.40 ～ 0.70
紙質	―	中性紙
すき目方向	―	用紙の搬送方向と同じすき目の用紙［注2］

注1　：　開封直後の用紙を常温常湿環境（23 ℃、50%RH）で測定した値

注2　：　A4LEF、B5、A5など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙、
A4SEF、B4、A3など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

プレプリント紙、　カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で230 ℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものを使用してください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、紙詰まり、装置破損の原因となります。
また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送／印刷／定着に関係する部品が汚損／変質／摩耗する場合があります。定期的に清掃、または部品の交換を行ってください。
プレプリントされた用紙を使用する場合は、プレプリントは、ベタ印刷ではなく、網点印刷された用紙をお使いください。

重要

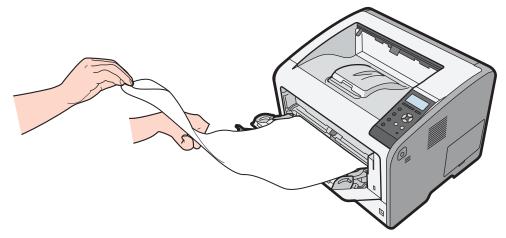
- 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
- 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを充分考慮に入れて設計してください。
  - 位置精度：A4サイズで±2㎜程度（普通紙推奨用紙の場合）
  - 用紙の傾き：100㎜あたり±1㎜程度（普通紙推奨用紙の場合）
  - 画像の伸縮：100㎜あたり±1㎜程度（普通紙推奨用紙の場合）

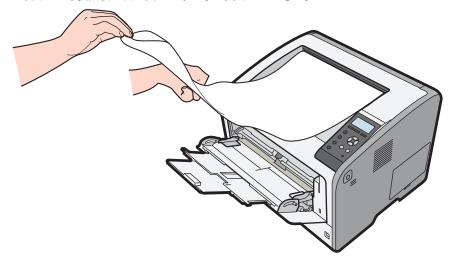
  ［注］：普通紙推奨用紙以外の用紙では、バラツキはより大きくなります。

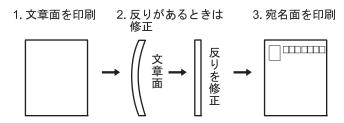
長尺紙

- 縦や横に長いデータ（1260 ㎜の長さまで）を印刷することができます。印刷は Printia XL ドライバのみ使用可能です。
- 長尺紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
  給紙トレイに用紙をセットする方法は､「給紙トレイに用紙をセットする」(→P.64)をご覧ください。
- 長尺紙は、「印刷確認済みの用紙」に記載の長尺紙をご使用ください。その他の用紙を使用した場合は、シワ、印刷ずれ、定着不良、および汚れが発生することがあります。
  本製品で使用できる長尺紙については、「推奨用紙」（→ P.228）をご覧ください。
- 長尺紙の全領域（全長）に印刷すると、印刷内容の下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）が欠けることがあります。その場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を増やして印刷してください。

重要

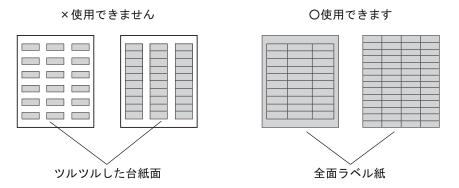
- 幅が 297 ㎜未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
- アプリケーションによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
- 長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を充分に（10 ㎜以上）とって印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端が欠けることがあります。
- 用紙サイズスイッチは「パネルで設定」に合わせてください。
- 長尺紙は、1 枚ずつセットしてください。
- 長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。

- 長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、「長尺紙」にしてください。設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。

・印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙詰まりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。

郵便はがき

郵便はがきは、郵便局から発売されている通常はがきをご使用ください（ただし、絵入りはがき、インクジェット用はがきは除く）。はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください（両面印刷機能には、対応していません）。
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2 ㎜以内の反りになるように修正してから印刷してください。

郵便はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

・印刷面を上にしてセットしてください。
・使用するアプリケーションの設定内容と印刷方向に合わせて郵便はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

ラベル紙

・ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものを使用してください。また、粘着剤が定着時の熱（約 230 ℃）で溶けたり変質したりしないものを使用してください。

本製品で使用できるラベル紙については、「推奨用紙」（→ P.228）をご覧ください。

重要

・ラベル紙を使用するときは、レーザプリンタ用のものをご購入ください。市販品の中には本製品に適さないものがありますので、試し印刷などで確認したうえで使用してください。
・ラベル紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
・ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定に合わせてください。

2 使用できない用紙

次の用紙は、本製品では使用できません。

紙詰まり、 二重送り、 斜行を起こしやすい用紙

- 厚すぎる用紙（220g/ ㎡より厚い用紙）や、薄すぎる用紙（52g/ ㎡未満）
- 湿っている用紙、濡れている用紙、乾燥しすぎている用紙
- 一度印刷された用紙（複写機や、他のプリンタで印刷された用紙、本製品で印刷済みの用紙）
- カール（反り）・シワ・折り目・角折れのある用紙・破れている用紙・波打っている用紙
- 表面が平滑（ツルツル）すぎる用紙
- 静電気で用紙どうしが密着している用紙、静電気を帯びている用紙
- 四角い形状（長方形、正方形）でない用紙
  ※四角形でも、ひし形や平行四辺形などの用紙は使えません
- 裁断部のバリが大きい用紙
- バインダー穴や、ミシン目のある用紙
- 用紙の搬送方向と異なるすき目の用紙
  A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙、
  A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

印刷品質低下の原因となる用紙

- ざら紙や和紙、繊維質の多い用紙、表面が滑らかでない用紙
- 封筒
- 酸性紙（中性紙を使用してください）

プリンタの故障の原因となる用紙

- 表面を加工、または特殊なコーティングを行った用紙（感熱紙、カーボン紙、ノンカーボン紙、メールシール紙など）
- 貼り合わせた用紙や、のりなどが付いている用紙
- ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- 大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙など）
- 紙粉の多い用紙
- インクジェット専用紙、インクジェットプリンタ共用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用はがき
- 水転写紙、布地転写紙
- 絵入りはがき
- クリーンルーム用の用紙（無塵紙）
- 炭酸カルシウムを多く含んだ用紙
- 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外の「ラベル紙」（→ P.143）
- タックフィルム
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、230 ℃の熱でガスが発生したりするインクを使用したプレプリント用紙
- 230 ℃の熱で溶けたり、変質する用紙

両面印刷できない用紙

次の用紙は両面印刷では使用できません。

- 厚紙（163g/ ㎡～ 220g/ ㎡）、ラベル紙、長尺紙、郵便はがき

6

給紙カセットで使用できない用紙

ラベル紙、長尺紙は、給紙カセットでは使用できません。給紙トレイを使用してください。

3 用紙保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性をもっているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。次の保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

保管場所

用紙は次のような場所に保管してください。

・暗く、湿気の少ない、平らな書棚のような場所
・平らなパレットの上
・温度 20 ℃、湿度 50%RH の環境

■保管場所として適さない場所

次のような場所は避けてください。

・床の上（直接置く）
・直射日光の当たる場所
・外壁の内側の近く
・段差や、曲がりのある場所
・静電気が発生する場所
・過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
・複写機、空調機、ヒーター、ダクトの近く

保管方法

次のような状態で保管してください。

・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・本製品を長期間にわたり使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

POINT

・長時間放置した用紙を使用した場合、次のような現象が発生し、うまく印刷できない場合があります。
　・印刷した用紙が丸まり、排出不良となる
　・印刷した用紙にシワが発生する
　・紙詰まりが発生する
・湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
・用紙（特に再生紙）は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。

第 7 章
こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

1　紙詰まりになったとき 148
2　故障かなと思ったとき 175
3　印刷品質が低下したとき 179
4　メッセージ一覧 186

1　紙詰まりになったとき

紙詰まりが発生したときの対処方法は、次のとおりです。

紙詰まり発生時の状態と発生場所

発生時の状態

紙詰まりが発生するとエラーランプが点灯し、液晶ディスプレイに「紙詰まり」と表示されます。また、エラーメッセージには、「給紙トレイ」「プリンタ内部」などのように紙詰まりが発生した場所も表示されます。
紙詰まりに関するエラーメッセージと対処時の参照先については、「エラーメッセージ一覧」（→ P.187）をご覧ください。

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	参照先
2440 用紙残り < プリンタ内部 > 前カバーを開けて用紙を取除いて下さい	「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159）
2450 用紙残り < カセット 1> カセットを引き出して用紙を取除いて下さい	「紙詰まり（A1）が発生したとき」（→ P.153）
2451 用紙残り < カセット 2> カセットを引き出して用紙を取除いて下さい	「紙詰まり（Y1）、（Y2）、または（Y3）が発生したとき」（→ P.163）
2452 用紙残り < カセット 3> カセットを引き出して用紙を取除いて下さい	
2453 用紙残り < カセット 4> カセットを引き出して用紙を取除いて下さい	
2460 用紙残り < 排紙トレイ > 後カバーを開けて用紙を取除いて下さい	・「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159） ・「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）
2470 用紙残り < プリンタ内部 > Z2 の用紙を取除き前 / 後カバーを開閉して下さい	「紙詰まり（Z2）が発生したとき」（→ P.168）

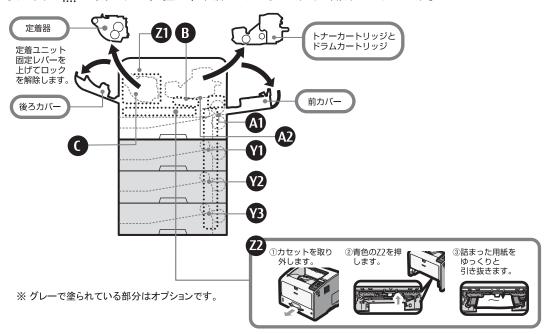
表：エラーメッセージ一覧

<table>
<tr><th>表示メッセージ</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>2471 用紙残り
< プリンタ内部 >
後カバーを開けて用紙を
取除いて下さい</td><td rowspan="2">「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）</td></tr>
<tr><td>2241 紙詰まり
< プリンタ内部 >
前カバーを開けて用紙を
取除いて下さい</td></tr>
<tr><td>2242 紙詰まり
< カセット 1>
カセットを引き出して
用紙を取除いて下さい</td><td>「紙詰まり（A1）が発生したとき」（→ P.153）</td></tr>
<tr><td>2243 紙詰まり
< カセット 2>
カセットを引き出して
用紙を取除いて下さい</td><td rowspan="3">「紙詰まり（Y1）、（Y2）、または（Y3）が発生したとき」（→ P.163）</td></tr>
<tr><td>2244 紙詰まり
< カセット 3>
カセットを引き出して
用紙を取除いて下さい</td></tr>
<tr><td>2245 紙詰まり
< カセット 4>
カセットを引き出して
用紙を取除いて下さい</td></tr>
<tr><td>2246 紙詰まり
< 給紙トレイ >
前カバーを開けて用紙を
取除いて下さい</td><td>「紙詰まり（A2）が発生したとき」（→ P.155）</td></tr>
<tr><td>2247 紙詰まり
< プリンタ内部 >
前カバーを開けて用紙を
取除いて下さい</td><td>「紙詰まり（Z2）が発生したとき」（→ P.168）</td></tr>
<tr><td>2248 紙詰まり
< プリンタ内部 >
前カバーを開けて用紙を
取除いて下さい</td><td>「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159）</td></tr>
</table>

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	参照先
2252 紙詰まり < カセット 2> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	・「紙詰まり（A1）が発生したとき」（→ P.153） ・「紙詰まり（Y1）、（Y2）、または（Y3）が発生したとき」（→ P.163）
2253 紙詰まり < カセット 3> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	
2254 紙詰まり < カセット 2> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	
2255 紙詰まり < カセット 3> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	
2256 紙詰まり < カセット 4> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	
2261 紙詰まり < プリンタ内部 > 前/後カバーを開けて用紙 を取除いて下さい	「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159）
2262 紙詰まり < プリンタ内部 > 前/後カバーを開けて用紙 を取除いて下さい	・「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159） ・「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）
2273 紙詰まり < プリンタ内部 > 後カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）
2274 紙詰まり <プリンタ内部/カセット 1> 後カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	「その他の紙詰まりが発生したとき」（→ P.170）
2275 紙詰まり < プリンタ内部 > 前/後カバーを開けて用紙 を取除いて下さい	「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159）
2276 紙詰まり < プリンタ内部 > 後カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）
5003 トレイフル < 排紙トレイ > 用紙を取除いて下さい	・排紙トレイから用紙を取り除いてください。 ・「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159） ・「その他の紙詰まりが発生したとき」（→ P.170）

発生場所

次の図の⬚で囲まれた位置で、紙詰まりが発生する可能性があります。

紙詰まりを防ぐために

紙詰まりを防ぐため、次の点を確認してください。

- プリンタを水平に設置する
- 適切な用紙を使用する
- 給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする
- カールしていない用紙を使用する
- 給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む
- A4 サイズの場合は、用紙をセットする向きを変えてみる
  A4 サイズであれば、LEF（横送り方向）と SEF（縦送り方向）を変更することで紙詰まりが改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。
- セット方向に適した用紙を使用する
  A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙をお勧めします。
  A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。

詰まった用紙の取り除き方

オペレータパネルで紙詰まりが発生した場所を確認し、以降で説明する部位ごとの取り除き方をご覧になり、詰まった用紙を取り除いてください。

詰まった用紙をすべて取り除いてカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。

重要

- 詰まった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、詰まった用紙を完全に取り除いてください。
- 詰まった用紙を取り除いた後に、必ず上部カバーを一度開き、内部に紙が残っていないことを確認します。その後、上部カバーを閉じてください。
- 用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。
- オペレータパネルのメッセージが、前カバーを開くと「0001 カバーオープン　< 前カバー >　カバーを閉じてください」、後ろカバーを開くと「0004 カバーオープン　< 後ろカバー >　カバーを閉じてください」と表示されます。前後カバーを開く前に紙詰まりのエラーメッセージ内容を確認してください。また、前後カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わる場合があります。
- カセット 1 が延長カセットの場合、カセット 1 を外す時には手前を持ち上げながら引いてください。

注意

- 詰まった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
  ネックレスやネクタイなどを身に着けていると、プリンタ内部に巻き込まれ、けがの原因になることがあります。必ず外してから操作してください。
  プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- 詰まった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
  紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。
  なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。

用紙が詰まったとき

紙詰まりが発生したときは、オペレータパネルの画面に次のメッセージが表示されます。紙詰まりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

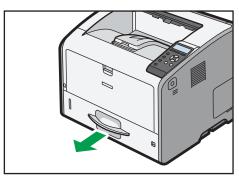
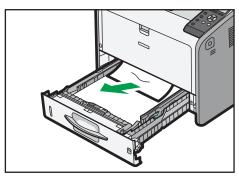
注意

機械内部には高温の部分があります。紙詰まりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

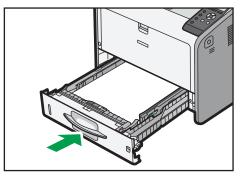
紙詰まりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

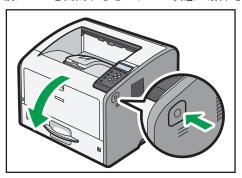
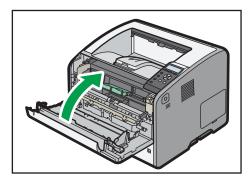
重要

- 用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると詰まった用紙の除去ができていない場合に、次に電源を入れたときに定着器のローラに用紙が巻きつき、用紙が加熱されて焦げによる異臭などの二次障害を招くことがあります。
- 用紙は破れないように確実に取り除いてください。プリンタの内部に紙片が残ると、再び用紙が詰まったり、故障の原因になります。
- 何度も用紙が詰まるときは、次の原因が考えられます。
  - 給紙カセットの横ガイドや縦ガイド、または給紙トレイの用紙ガイドの位置がずれている。詳しくは、「用紙をセットする」（→ P.58）をご覧ください。
  - 給紙コロが汚れている。詳しくは、「給紙カセット、給紙コロを清掃する」（→ P.87）、「給紙トレイの給紙コロを清掃する」（→ P.91）をご覧ください。
  - 上記の内容を確認した上でも用紙が詰まるときは「お問い合わせ窓口」（→ P.232）に連絡してください。

紙詰まり（A1）が発生したとき

1. 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します。

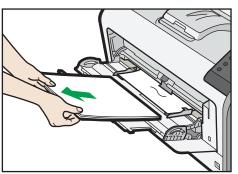
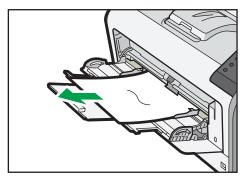
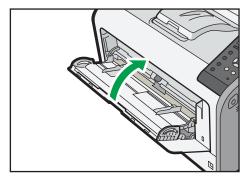
2. 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

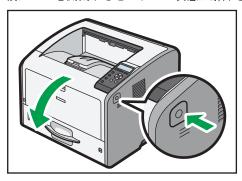
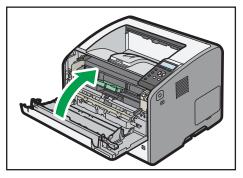
3. 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと差し込みます。

4 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。

前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

POINT

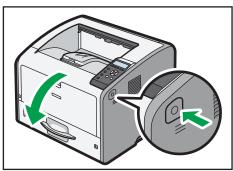
- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- 前カバー開閉を実施しないとエラー解除ができません。

紙詰まり（A2）が発生したとき

1 給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。

2 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

3 給紙トレイを閉めます。

4 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。

前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

POINT

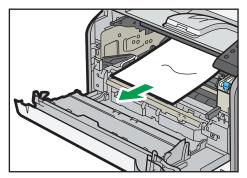
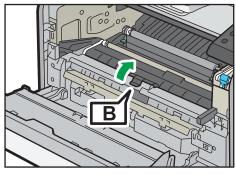
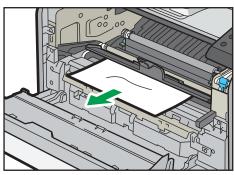
- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- 前カバー開閉を実施しないとエラー解除できません。

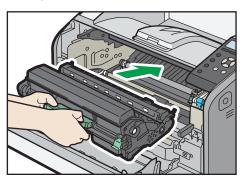
紙詰まり （B） が発生したとき

1 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

2 トナーロックレバー（緑色）がロックされていることを確認し、緑色の取っ手を持ち、トナーカートリッジごとドラムカートリッジを少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

3 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

4 詰まった用紙が見つからないときや引き抜けないときは、「**B**」を上げて詰まった用紙を取り除きます。

7

5 トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。

トナーカートリッジは、本製品に貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。

6 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

POINT

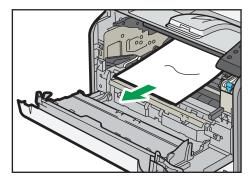
- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- 前カバー開閉を実施しないとエラー解除ができません。

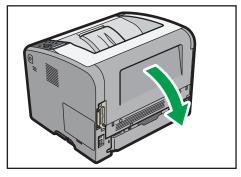
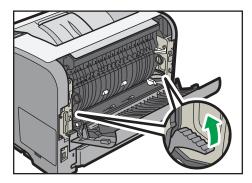
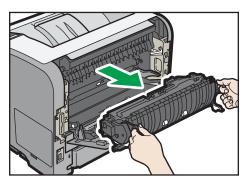
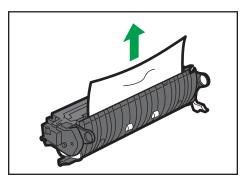
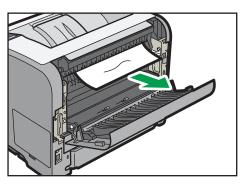
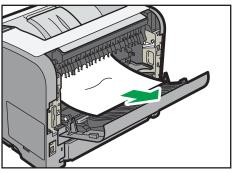
紙詰まり（B）（C）が発生したとき

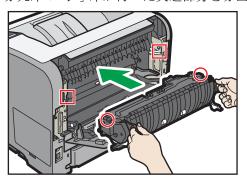
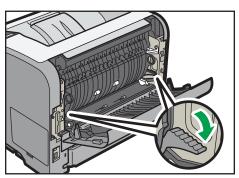
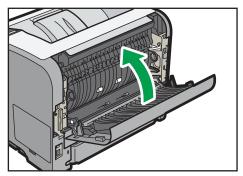
1 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けます。

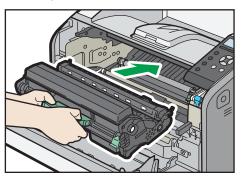
2 トナーロックレバー（緑色）がロックされていることを確認し、緑色の取っ手を持ち、トナーカートリッジごとドラムカートリッジを少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

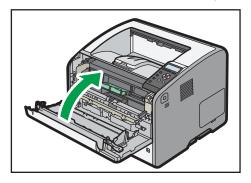
3 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

7

4 詰まった用紙が見つからないときや引き抜けないときは、「**B**」を上げて詰まった用紙を取り除きます。

5 後ろカバーを開けます。

6 定着ユニット固定レバーを上げてロックを解除します。

7 定着ユニットを本製品から引き抜きます。

8 カバーを開いて、詰まった用紙を取り除きます。

9 定着ユニットに用紙が詰まっていないときは、プリンタの内部から詰まった用紙を取り除きます。

10 定着ユニットを本製品の奥まで差し込みます。

赤丸印の「▶」印が付いた突起部分を赤四角印のガイド部分に合わせて差し込みます。

11 定着ユニット固定レバーをカチッと音がするまで下げて、ロックします。

12 後ろカバーを閉めます。

13 トナーカートリッジのハンドルを持ち、奥まで差し込みます。

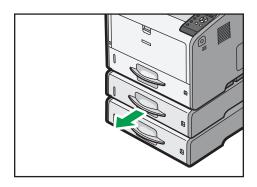
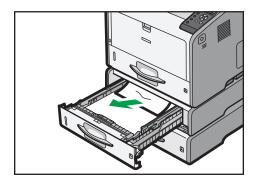
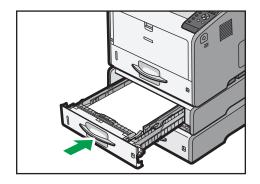
トナーカートリッジは、プリンタに貼られたラベルが示す位置までしっかりと押し込んでください。

14 前カバーを両手でゆっくりと押し上げて閉じます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

POINT

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- 前後カバーの開閉を実施しないとエラー解除ができません。

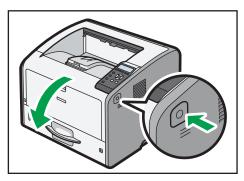
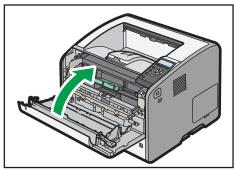
紙詰まり（Y1）、（Y2）、または（Y3）が発生したとき

ここでは、給紙カセット 2 で紙詰まりが発生したときの手順について説明します。給紙カセット 3、給紙カセット 4 も対処方法は同じです。

1 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出します。

2 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

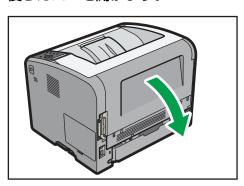
3 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと差し込みます。

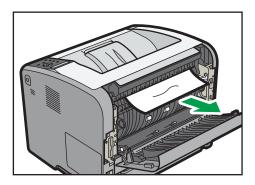
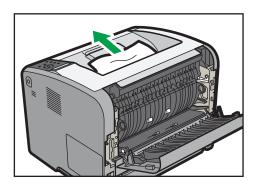
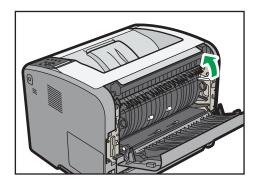
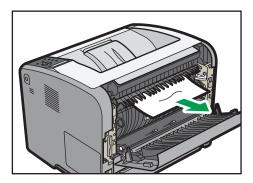
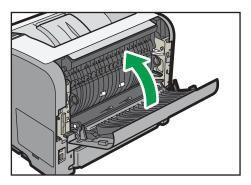
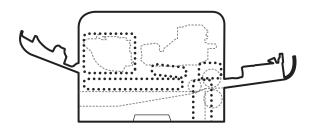
4 **前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。**

前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

POINT

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- 前カバーの開閉を実施しないとエラー解除ができません。

7

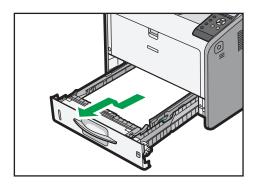
紙詰まり（Z1）が発生したとき

1 **後ろカバーを開けます。**

2 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

3 詰まった用紙が排紙口から出ているときは、後ろカバーを開けた状態のまま、詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

4 詰まった用紙が排紙口から出ていないときや、本体内部に用紙が詰まっていて引き抜けないときは、「**Z1**」を上げます。

5 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

6 後ろカバーを閉めます。

7 連続印刷時は複数枚の用紙がプリンタ内部に残っている場合がありますので、図の付近を確認します。

POINT

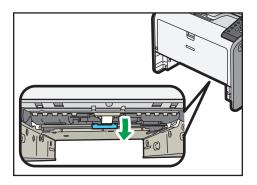
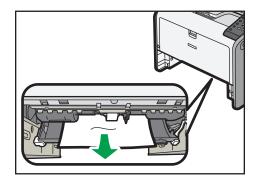
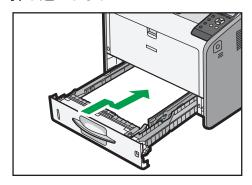
- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- 前後カバーの開閉を実施しないとエラー解除ができません。

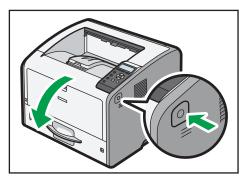
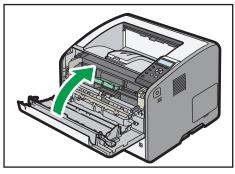
紙詰まり（Z2）が発生したとき

1 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。

POINT

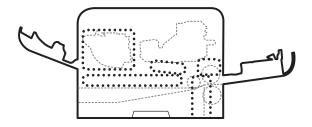
・給紙カセットを完全に引き抜かずに Z2 を操作した場合は、カセット 1 を手前にち上げながら引いてください。

2 黄色の「Z2」を押します。

「Z2」が下がります。

3 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

4 **前面を持ち上げるようにして給紙カセットを差し込み、ゆっくりと奥まで押し込みます。**

「Z2 」が元の位置に戻ります。

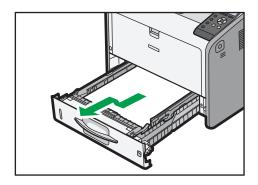
5 **前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。**

前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

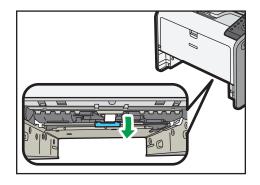
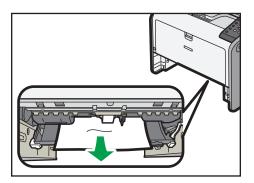
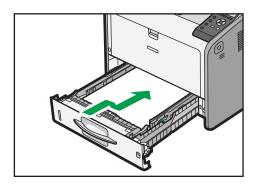
7

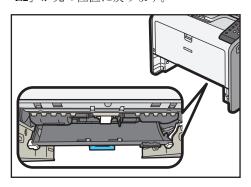
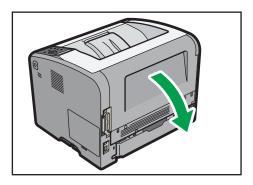
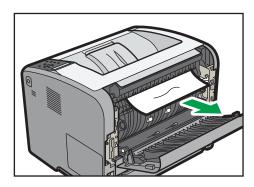
6 連続印刷時は複数枚の用紙がプリンタ内部に残っている場合がありますので、図の付近を確認します。

POINT

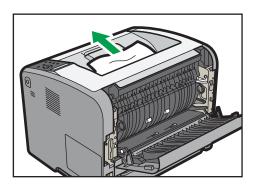
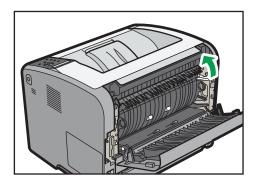
・前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
・前カバー開閉を実施しないとエラー解除ができません。

その他の紙詰まりが発生したとき

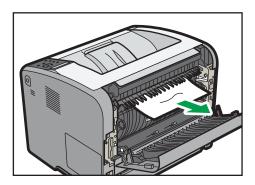
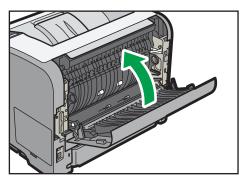
1 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。

2 青色の「**Z2**」を押します。

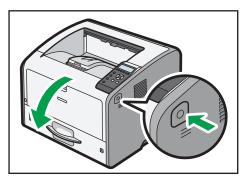
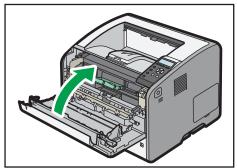
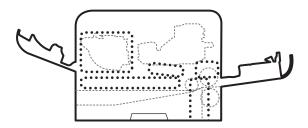
「Z2」が下がります。

3 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

4 前面を持ち上げるようにして給紙カセットを差し込み、ゆっくりと奥まで押し込みます。

「Z2」が元の位置に戻ります。

5 後ろカバーを開けます。

6 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

7 詰まった用紙が排紙口から出ているときは、後ろカバーを開けた状態のまま、詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

8 詰まった用紙が排紙口から出ていないときや、本体内部に用紙が詰まっていて引き抜けないときは、「**Z1**」を上げます。

9 詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。

10 後ろカバーを閉めます。

7

11 前カバーオープンボタンを押し、前カバーを両手でゆっくりと開けてから、前カバーを閉じます。

前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。

12 連続印刷時は複数枚の用紙がプリンタ内部に残っている場合がありますので、図の付近を確認します。

POINT

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
- 前後カバーの開閉を実施しないとエラー解除ができません。

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。まず、次の各項目をご確認ください。それでも解決しないときは、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。

POINT

・パソコンのアプリケーションからの印刷時やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『ソフトウェアガイド』の「こんなときには」をご覧ください。

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
電源が入らない 電源を入れてもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が入っている（オペレータパネルの液晶ディスプレイ表示やLEDの点灯や点滅）ことを確認してください。 ・他の電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。	・「安全上のご注意」（→ P.10） ・『設置ガイド』 ・「各部の名称と機能」（→ P.22）
印刷されない	・プリンタの電源が入っていない。 ・LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタUSBケーブルが抜けている。 ・オンライン状態でない。	・LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタUSBケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、「オンライン」と表示されていることを確認してください。	・『設置ガイド』 ・「LAN ケーブル接続の場合」（→ P.35） ・「パラレルケーブル接続の場合」（→ P.38） ・「プリンタ USB ケーブル接続の場合」（→ P.41）
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	A4 サイズの用紙をセットしているのに、プリンタがレターサイズと認識し、用紙サイズ不一致のエラーが表示される。	・Printianavi機能を利用してプリンタの状態を表示し、カセットの用紙サイズを確認してください。 ・カセットの縦／横ガイドのクリップが正しくセットされているか確認してください。	・『ソフトウェアガイド』 ・「用紙をセットする」（→ P.58）
オペレータパネルのスイッチが機能しない	オペレータパネルの操作が制限されている。	オペレータパネルの操作制限を解除してください。	「オペレータパネルの操作制限」（→ P.134）
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない。 ・プリンタの状態で効かないスイッチがある。	スイッチの中央部をしっかり押してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.101）
オペレータパネルの液晶表示に何も表示されていない	節電モード（節電2またはスリープモード）に入っています。	オペレータパネルの節電中 / 解除スイッチを押して節電を解除してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.101）
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある。 ・給紙カセットの装着が不完全。	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。	・「用紙をセットする」（→ P.58） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.148）

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
電源を切っても、LED が点灯したまま	プリンタがスリープモード中に電源を切った。	プリンタがスリープモード中は、電源が切れるまで約 40 秒かかります。 電源を切った後、約 40 秒お待ちください。	－
用紙が傾く、破れる、詰まる	・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・給紙トレイや給紙カセットの用紙ガイドが正しくセットされていない。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。用紙やプリンタの設置状態に異常がなければ、紙送りローラが汚れていないか確認してください。	・「安全上のご注意」（→ P.10） ・「使用できる用紙と保管方法」（→ P.137） ・「プリンタを清掃する」（→ P.86）
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は 1 枚ずつセットして印刷してください。 ・紙送りローラが汚れていないか確認してください。	・「用紙をセットする」（→ P.58） ・「使用できる用紙と保管方法」（→ P.137） ・「プリンタを清掃する」（→ P.86）
紙詰まりが発生した	・用紙がくっつきやすい。 ・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・印刷中に給紙カセットを引き抜いた。 ・給紙カセットが正しくセットされていない。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・用紙のセット方向を確認してください（A4 は横送り、縦送りの両方でセットできます）。 B5、A5、レターサイズの用紙は、横送りでセットしてください。 A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦送りでセットしてください。 ・紙送りローラが汚れていないか確認してください。 ・A4 サイズであれば、LEF（横送り方向）と SEF（縦送り方向）を変更することで改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。 ・A4LEF、B5、A5 など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙をお勧めします。A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙をお勧めします。	・「安全上のご注意」（→ P.10） ・「使用できる用紙と保管方法」（→ P.137） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.148） ・「プリンタを清掃する」（→ P.86）
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切った。 ・紙詰まりが発生している。 ・給紙カセットのふたがずれている。 ・	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・オペレータパネルの液晶ディスプレイやすべてのLEDが消灯していることを確認した後、電源を切り、数秒経過後に入れてください。	・『設置ガイド』 ・「紙詰まりになったとき」（→ P.148）

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
エラーメッセージが表示され、印刷されない	―	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。	「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.186）
裏面が汚れる	・プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。 ・転写ローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。	・「プリンタを清掃する」（→ P.86） ・「基本的な操作方法」（→ P.108） ・「使用できる用紙と保管方法」（→ P.137）
用紙がないのにブザーが鳴らない	・ブザーが鳴らない設定にしている。 ・給紙トレイから用紙を補給している。	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「ON」にしてください。 ・給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。	「基本的な操作方法」（→ P.108）
トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けても、カートリッジなしとエラーが表示される	・他社製のトナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けている。 ・トナーカートリッジやドラムカートリッジが故障している。	・他社製のトナーカートリッジやドラムカートリッジを使用していないか確認してください。 ・上部カバーを開いている場合には、上部カバーを閉じてください。 純正のトナーカートリッジやドラムカートリッジを使用していて、次のエラーメッセージが表示される場合にはトナーカートリッジやドラムカートリッジが故障しています。新しいトナーカートリッジやドラムカートリッジに交換してください。 K004 カートリッジエラー <トナーカートリッジ> 純正のカートリッジを セットして下さい	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
印刷開始時や印刷中にジュンビと表示される	印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した。	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	―
印刷中にクールダウンと表示される	・大量に両面連続印刷した。 ・用紙サイズが切り替わった。	定着器や機内の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	―
・液晶ディスプレイの表示が判読できない ・プリンタの動作が安定しない ・ハングアップする	静電気による誤作動が起きた。	アースが正しく接続されていることを確認してください。	「安全上のご注意」（→ P.10）
連続印刷にもかかわらず、印刷速度が遅い	アプリケーション側で印刷処理に時間がかかっている。	・解像度を下げてみてください。 ・他のアプリケーションと印刷速度を比べてみてください。	『ソフトウェアガイド』
	連続で1分以上215mm未満の用紙を印刷した場合	定着器の温度調整中でありプリンタの異常ではありません。	―

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
連続印刷にもかかわらず､印刷速度が遅い(ユーザ定義サイズの用紙を使用)	ー	プリンタの異常ではありません。	「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.217）
・ネットワークに接続できない（オペレータパネルのリンクランプが点灯しない） ・ネットワーク経由での印刷速度が遅い	・LAN ケーブルが抜けている。 ・通信速度に適していないLANケーブルを使用している。 ・プリンタ、もしくはハブユニットの Ethernet タイプが一致していない。	・LAN ケーブルが外れていないか確認してください。 ・通信速度に適した LAN ケーブルをご使用ください。 ・プリンタ、またはハブユニットの Ethernet タイプを変更してください。印刷速度が向上する場合があります。 Ethernet タイプには速度（自動、100Mbps、10Mbps）、双方向モード（Full、Half）があります。	「LAN ケーブル接続の場合」（→ P.35）
トナー交換時にオンラインになるまで時間がかかる	ー	プリンタの異常ではありません。しばらく待つとオンラインになります。	ー
連続印刷中に一旦停止する	ー	プリンタの異常ではありません。	ー

印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。
ここで説明する処置を行っても印刷品質が改善されない場合や、記載以外の現象が起きた場合は、「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。

⚠警告

・プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
印刷が薄い（かすれる、不鮮明） PRINTER 矢印は印刷方向	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「初期設定」→「その他の設定」→「印字濃度調整」で設定してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.101）
	LED ヘッドが汚れている。	LED ヘッドを清掃してください。	「LED ヘッドを清掃する」（→ P.92）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	トナーカートリッジの交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 ×××××× トナーカートリッジ 準備 サイズ 紙種類 消耗品	新しいトナーカートリッジに交換してください。 トナーカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど印刷品質が劣化する場合があります。 トナーカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 24ヶ月 (開封後は 1 年間) の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いします。有効期限は梱包箱に記載しています。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
	トナーカートリッジが劣化、または損傷している。		
	プリンタドライバで「ドット径を補正する」が☑になっている。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「ドット径を補正する」を☑にすると、ドット径を小さくして印刷します。 「ドット径を補正する」を☐にしてください。	『ソフトウェアガイド』
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」（→ P.138） ・『ソフトウェアガイド』

7

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
印刷が薄い（かすれる、不鮮明）	1dot/1line 線を印刷している。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「写真をきれいに印刷する」を☑にする、または解像度を落とすことで、改善される場合があります。	『ソフトウェアガイド』
	図形の網かけなど、パターンで塗りつぶした文書が薄い	プリンタドライバの「グラフィックス」タブにある「図形の中塗りパターンを拡大する」を☑にする、または解像度を 300dpi にすると、改善される場合があります。	『ソフトウェアガイド』
黒点「・」や黒い小円「。」が印刷される PRINTER 矢印は印刷方向	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」（→ P.228） ・「使用できる用紙」（→ P.138） ・「使用できない用紙」（→ P.144） ・「オペレータパネルの操作」（→ P.101）
	トナー残量が少なくなった。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。		
	定期交換部品の交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 ×××××× 定着器 準備 サイズ 紙種類 消耗品	オペレータパネルに表示されている定期交換部品を交換してください。	「定期交換部品について」（→ P.225）
	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。	オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。	・「オペレータパネルの操作」（→ P.101） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.148）
黒線が印刷される PRINTER 矢印は印刷方向	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
等間隔に汚れる PRINTER 矢印は印刷方向	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.101）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
黒く塗りつぶされた部分に白点がある	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」（→ P.138） ・「使用できない用紙」（→ P.144）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」（→ P.138） ・『ソフトウェアガイド』
指でこすると、印字がはがれる	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	定着器の右側にある緑色の封筒レバーが下がった状態になっている。	定着器の右側にある緑色の封筒レバーを上げてください。	「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」（→ P.60）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」（→ P.228） ・「使用できる用紙」（→ P.138） ・「使用できない用紙」（→ P.144）
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	結露している。	プリンタを室温に充分になじませてください。	ー
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」（→ P.138） ・『ソフトウェアガイド』
用紙全体に黒色が付いて印刷される	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」（→ P.232）
	ドラムカートリッジが正しくセットされていない。	ドラムカートリッジを正しくセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
何も印刷されない	トナーカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。	トナーシールを引き抜きます。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しくセットされていない。	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを正しくセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
	ドラムカートリッジが寿命、劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」（→ P.232）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
白抜けが起こる 矢印は印刷方向	LED ヘッドが汚れている。	LED ヘッドを清掃してください。	「LED ヘッドを清掃する」（→ P.92）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」（→ P.228） ・「使用できる用紙」（→ P.138） ・「使用できない用紙」（→ P.144）
	トナーシールの切れはしが、トナーカートリッジ内に残っている。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
	トナーカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 ×××××× トナーカートリッジ 準備 サイズ 紙種類 消耗品		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」（→ P.138） ・『ソフトウェアガイド』
	ドラムクリーナーに異物（紙粉など）が付着している。	ドラムクリーニングを実行する。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「初期設定」→「その他の設定」→「ドラムクリーニング」で設定してください。	「初期設定」の「ドラムクリーニング」（→ P.119）
用紙にシワが付く 矢印は印刷方向	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	定着器の右側にある緑色の封筒レバーが下がった状態になっている。	定着器の右側にある緑色の封筒レバーを上げてください。	「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」（→ P.60）
	使用している用紙が適切でない。 一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」（→ P.228） ・「使用できる用紙」（→ P.138） ・「使用できない用紙」（→ P.144）
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。特に、薄い用紙や再生紙はシワが付きやすい傾向があります。「普通紙 L」に設定し、印刷してみてください。	・「使用できる用紙」（→ P.138） ・『ソフトウェアガイド』

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.58)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」(→ P.228) ・「使用できる用紙」(→ P.138) ・「使用できない用紙」(→ P.144)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.77)
	ドラムカートリッジの交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 ×××××× ドラムカートリッジ 準備 サイズ 紙種類 消耗品		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」(→ P.138) ・『ソフトウェアガイド』
縦長に白抜けする 矢印は印刷方向	ドラムクリーナーに異物（紙粉など）が付着している。	ドラムクリーニングを実行する。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「初期設定」→「その他の設定」→「ドラムクリーニング」で設定してください。	「初期設定」の「ドラムクリーニング」(→ P.119)
	トナーカートリッジが正しくセットされていない、またはトナーカートリッジやドラムカートリッジ内のトナーがかたよっている。	トナーロックレバー(緑色)がロックされていることを確認し、緑色の取っ手を持ち、トナーカートリッジごとドラムカートリッジを少し持ち上げながら手前に引き抜き正しくセットしなおしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.77)
	LED ヘッドが汚れている。	LED ヘッドを清掃してください。	「LED ヘッドを清掃する」(→ P.92)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.77)
	ドラムカートリッジの交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 ×××××× トナーカートリッジ 準備 サイズ 紙種類 消耗品		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	・「使用できる用紙」(→ P.138) ・『ソフトウェアガイド』

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
不要なトナーが付く	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「初期設定」→「その他の設定」→「印字濃度調整」で設定してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.101）
	使用している用紙が適切でない。 一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」(→ P.228) ・「使用できる用紙」（→ P.138） ・「使用できない用紙」（→ P.144）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 ドラムカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど印刷品質が劣化する場合があります。 ドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 24ヶ月 (開封後は 1 年間) の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。	オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。	・「オペレータパネルの操作」（→ P.101） ・「プリンタを清掃する」（→ P.86） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.148）
太い文字や図形に影が出る 矢印は印刷方向	解像度、ディザ、明るさの設定が適切でない。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブで、解像度、ディザ、明るさを調整してください。	『ソフトウェアガイド』
	一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。	適切な用紙をセットしてください。推奨紙の使用をお勧めします。	・「推奨用紙」(→ P.228) ・「使用できる用紙」（→ P.138） ・「使用できない用紙」（→ P.144）
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
用紙がカールする 矢印は印刷方向	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.58)
	用紙の表裏を間違っている。	用紙の表裏を間違えていないか確認してください。用紙に表裏の表示がない場合は、印刷面を入れ替えて印刷してみてください。包装された用紙は、開封面が印刷面です。	「用紙をセットする」(→ P.58)
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.58)
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。 特に、再生紙はカールしやすい傾向があります。「普通紙 L」に設定し、印刷してみてください。	・「使用できる用紙」(→ P.138) ・『ソフトウェアガイド』

7

4 メッセージ一覧

オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されるメッセージと、「Printianavi2」および「Printia LASER Internet Service」利用時に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。

・「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.186）

・「Windows 画面に表示されるメッセージ一覧」（→ P.204）

オペレータパネルに表示されるメッセージ

プリンタでエラーなどが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。次の表に従って処置してください。

POINT

ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、以下をご覧ください。
・「オンライン（印刷できる状態）時の表示内容」（→ P.104）
・「エラーメッセージ一覧」（→ P.187）
・「警告メッセージ一覧」（→ P.201）

エラーメッセージ一覧

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0001 カバーオープン < 前カバー > カバーを閉じて下さい	前カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	–
0004 カバーオープン < 後カバー > カバーを閉じて下さい	後カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	
H091 ユニット確認 < 定着器 > ユニットを正しくセット して下さい	定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 定着器を正しく装着してください。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」（→ P.232）
H092 ユニット確認 < 拡張ユニット > ユニットを正しくセット して下さい	拡張給紙が外れてるか、正しく認識されていない場合に表示されます。 拡張給紙を正しく装着してください。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
K001 カートリッジ確認 < トナーカートリッジ > カートリッジを正しく セットして下さい	トナーカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 トナーカートリッジをセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
K002 カートリッジ確認 < ドラムカートリッジ > カートリッジを正しく セットして下さい	ドラムカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 ドラムカートリッジをセットしてください。	
K004 カートリッジエラー < トナーカートリッジ > 純正のカートリッジを セットして下さい	セットされたトナーカートリッジが使用できない場合に表示されます。 トナーカートリッジを交換してください。	
K003 カートリッジ交換 < トナーカートリッジ > 交換準備して下さい 設定 SW で印刷継続します	メニューモードで「カートリッジ準備」→「停止」を設定している場合に、トナーカートリッジの交換時期（トナー残量が少ない）が近づくと表示されます。早急にトナーカートリッジを交換してください。なお、本エラーが表示されていても、設定スイッチを押すことで、一定枚数（10 ページ以下）の印刷は可能です。	
K005 カートリッジ交換 < トナーカートリッジ > 寿命に達しました 交換して下さい	トナーカートリッジの交換時期（トナー残量がない）になると表示されます。早急にトナーカートリッジを交換してください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
K006 カートリッジ交換 < トナーカートリッジ > 寿命に達しました 交換して下さい	「環境共生トナー」使用時に、トナーカートリッジの交換時期（トナー残量が少ない）を検出してから、5000 ページ以上印刷した場合に表示されます。トナーカートリッジを交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
K013 カートリッジ交換 < ドラムカートリッジ > 交換準備して下さい 設定 SW で印刷継続します	メニューモードで「カートリッジ準備」→「停止」を設定している場合に、ドラムカートリッジの交換時期（感光体の寿命が少ない）が近づくと表示されます。早急にドラムカートリッジを交換してください。なお、本エラーが表示されていても、設定スイッチを押すことで、一定枚数（10 ページ以下）の印刷は可能です。	
K014 カートリッジ交換 < ドラムカートリッジ > 交換時期です 設定 SW で印刷継続します	ドラムカートリッジの交換時期（感光体が寿命に達した）になると表示されます。本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にドラムカートリッジを交換してください。なお、本エラーが表示されていても、設定スイッチを押すことで、一定枚数（10 ページ以下）の印刷は可能です。	
K015 カートリッジ交換 < ドラムカートリッジ > 寿命に達しました 交換して下さい	ドラムカートリッジの交換時期（感光体が寿命を過ぎた）になると表示されます。本エラーが表示されてからはドラムカートリッジを交換するまでは印刷を継続することができません。早急にドラムカートリッジを交換してください。	
K053 カートリッジ交換 < トナーカートリッジ > 廃トナーが満杯間近です 設定 SW で印刷継続します	メニューモードで「カートリッジ準備」→「停止」を設定している場合に、トナーカートリッジの交換時期（廃トナー格納エリアが満杯に近い）が近づくと表示されます。早急にトナーカートリッジを交換してください。なお、本エラーが表示されていても、設定スイッチを押すことで、一定枚数（10 ページ以下）の印刷は可能です。	
K054 カートリッジ交換 < トナーカートリッジ > 廃トナーが満杯です 交換して下さい	トナーカートリッジの交換時期（廃トナー格納エリアが満杯）になると表示されます。早急にトナーカートリッジを交換してください。	
K055 カートリッジ交換 < トナーカートリッジ > まもなく交換時期です 交換して下さい	メニューモードで「カートリッジ準備」→「停止」を設定している場合に、トナーカートリッジの交換時期（廃トナー格納エリアが満杯に近い、かつトナー残量が少ない（が近づくと表示されます。早急にトナーカートリッジを交換してください。なお、本エラーが表示されていても、設定スイッチを押すことで、一定枚数（10 ページ以下）の印刷は可能です。	
K056 カートリッジ交換 < トナーカートリッジ > 交換時期です 交換して下さい	メニューモードで「カートリッジ準備」→「停止」を設定している場合に、トナーカートリッジの交換時期（廃トナー格納エリアが満杯、かつトナー残量が少ない）なると表示されます。早急にトナーカートリッジを交換してください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1021 カセットなし < カセット 1> カセットを正しくセット して下さい	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセット 1 に印刷するサイズの用紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」(→ P.58)
1022 カセットなし < カセット 2> カセットを正しくセット して下さい	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセット 2 に印刷するサイズの用紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	
1023 カセットなし < カセット 3> カセットを正しくセット して下さい	給紙カセット 3 を指定して印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセット 3 に印刷するサイズの用紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	
1024 カセットなし < カセット 4> カセットを正しくセット して下さい	給紙カセット 4 を指定して印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセット 4 に印刷するサイズの用紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	
1007 カセットなし < 全カセット > カセットを正しくセット して下さい	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口に給紙カセットがセットされていないと表示されます。 (メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき) 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れて給紙カセットをセットすると印刷を開始します。	
1226 用紙サイズ不一致 ccccccc →全給紙口 正しい用紙サイズを指定 して下さい	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット（1 〜 4）または給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。また、給紙カセットの縦／横のガイドグリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。縦／横のガイドグリップが正しく設定されているか確認してください。	
1221 用紙サイズ不一致 ccccccc →カセット 1 正しい用紙サイズを指定 して下さい	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 1 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1222 用紙サイズ不一致 ccccccc →カセット 2 正しい用紙サイズを指定 して下さい	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 2 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1223 用紙サイズ不一致 ccccccc →カセット 3 正しい用紙サイズを指定 して下さい	給紙カセット 3 を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 3 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1224 用紙サイズ不一致 ccccccc →カセット 4 正しい用紙サイズを指定 して下さい	給紙カセット 4 を指定して印刷したときに、給紙カセット 4の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 4 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
1227 用紙サイズ不一致 ccccccc →カセット 正しい用紙サイズを指定 して下さい	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。	
1240 用紙サイズ不一致 ccccccc →給紙トレイ 正しいサイズをセットし ▲ SW を押して下さい	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットして▲スイッチを押すと印刷を開始します。	
1321 用紙サイズ確認 ccccccc →カセット 1 用紙サイズを確認して下 さい	・給紙カセット1から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	・「用紙をセットする」（→ P.58） ・「使用できる用紙」（→ P.138） ・「使用できない用紙」（→ P.144）
1322 用紙サイズ確認 ccccccc →カセット 2 用紙サイズを確認して下 さい	・給紙カセット2から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	・「用紙をセットする」（→ P.58） ・「使用できる用紙」（→ P.138） ・「使用できない用紙」（→ P.144）
1323 用紙サイズ確認 ccccccc →カセット 3 用紙サイズを確認して下 さい	・給紙カセット3から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	
1324 用紙サイズ確認 ccccccc →カセット 4 用紙サイズを確認して下 さい	・給紙カセット4から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	
1320 用紙サイズ確認 ccccccc →給紙トレイ 用紙サイズを確認して下 さい	・給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1400 用紙サイズ不足 A4SEF　→給紙トレイ 用紙サイズを確認して下さい	「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 SEF 方向（縦送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。 給紙トレイに A4 を SEF（縦送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	「用紙をセットする」（→P.58）
1400 用紙サイズ不足 A4LEF　→給紙トレイ 用紙サイズを確認して下さい	「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 LEF 方向（横送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。 給紙トレイに A4 を LEF（横送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	
1640 未サポートサイズ サイズ -SW で給紙トレイの用紙サイズを確認して下さい	指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。 給紙トレイの用紙サイズを確認し、セットし直してください。	
1106 用紙なし ccccccc →全給紙口 用紙をセットして下さい	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 自動給紙対象の給紙カセット（1 ～ 4）または給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1101 用紙なし ccccccc →カセット 1 用紙をセットして下さい	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 1 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1102 用紙なし ccccccc →カセット 2 用紙をセットして下さい	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 2 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1103 用紙なし ccccccc →カセット 3 用紙をセットして下さい	給紙カセット 3 を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 3 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1104 用紙なし ccccccc →カセット 4 用紙をセットして下さい	給紙カセット 4 を指定して印刷したときに、給紙カセット 4 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 4 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1107 用紙なし ccccccc →カセット 用紙をセットして下さい	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 （メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき） 自動給紙対象の給紙カセット（1 ～ 4）に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1100 用紙なし ccccccc →給紙トレイ 用紙をセットして下さい	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙の場合、「用紙なし」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	「用紙をセットする」（→ P.58）
2440 用紙残り < プリンタ内部 > 前カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「紙詰まり（B）が発生したとき」（→ P.156）
2450 用紙残り < カセット 1> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「紙詰まり（A1）が発生したとき」（→ P.153）
2451 用紙残り < カセット 2> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「紙詰まり（Y1）、（Y2）、または（Y3）が発生したとき」（→ P.163）
2452 用紙残り < カセット 3> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
2453 用紙残り < カセット 4> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
2460 用紙残り < 排紙トレイ > 後カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159） ・「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
2470 用紙残り <プリンタ内部> 後カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159） ・「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）
2471 用紙残り <プリンタ内部> 後カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
2241 紙詰まり <プリンタ内部> 前カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
2242 紙詰まり <カセット 1> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「紙詰まり（A1）が発生したとき」（→ P.153）
2243 紙詰まり <カセット 2> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「紙詰まり（Y1）、（Y2）、または（Y3）が発生したとき」（→ P.163）
2244 紙詰まり <カセット 3> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
2245 紙詰まり <カセット 4> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
2246 紙詰まり < 給紙トレイ > 前カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「紙詰まり（A2）が発生したとき」（→ P.155）
2247 紙詰まり < プリンタ内部 > 前カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159） ・「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）
2248 紙詰まり < プリンタ内部 > 前カバーを開けて用紙を 取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
2252 紙詰まり < カセット 2> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「紙詰まり（Y1）、（Y2）、または（Y3）が発生したとき」（→ P.163）
2253 紙詰まり < カセット 3> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
2254 紙詰まり < カセット 2> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
2255 紙詰まり < カセット 3> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
2256 紙詰まり < カセット 4> カセットを引き出して 用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「紙詰まり（Y1）、（Y2）、または（Y3）が発生したとき」（→ P.163）
2261 紙詰まり < プリンタ内部 > 前 / 後カバーを開けて用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159） ・「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）
2262 紙詰まり < プリンタ内部 > 前 / 後カバーを開けて用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
2273 紙詰まり < プリンタ内部 > 後カバーを開けて用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159）
2274 紙詰まり < プリンタ内部 / カセット 1> 後カバーを開けて用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「紙詰まり（A1）が発生したとき」（→ P.153） ・「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159）
2275 紙詰まり < プリンタ内部 > 前 / 後カバーを開けて用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	・「紙詰まり（B）（C）が発生したとき」（→ P.159） ・「紙詰まり（Z1）が発生したとき」（→ P.165）
2276 紙詰まり < プリンタ内部 > 後カバーを開けて用紙を取除いて下さい	紙詰まりが発生すると表示されます。 カバーを開け、表示されている給紙カセット／プリンタ内／排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセット／給紙トレイを取り外してプリンタ内部を確認してください。詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	
5003 トレイフル < 排紙トレイ > 用紙を取除いて下さい	排紙トレイが用紙でいっぱいです。 すべての用紙を取り除いてください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
7002 メモリオーバー 印刷停止中 設定 SW で 1 部のみ印刷します	部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」未使用時は、設定スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 「Printianavi2」を使用している場合は、上記メッセージを表示後、部単位印刷が再開されます。	ー
7003 メモリ不足 印刷停止中 設定 SW で片面印刷します	プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」をにしている。 ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」がのとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき 「Printianavi2」使用時は、設定スイッチを押す、または 3 秒経過すると片面で印刷されます。 「Printianavi2」未使用時は、設定スイッチを押すと片面で印刷されます。	「プリンタRAMモジュールの取り付け」(→ P.49)
7005 アンダーランエラー プリンタドライバの設定を確認して下さい	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます（アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します)。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。	ー
7007 解像度無効 プリンタドライバが正しいか確認して下さい	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	
7004 給紙指定エラー 自動給紙設定を有効に設定して下さい	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「無効」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニューモードの自動給紙設定を「有効」にして、印刷をし直してください。	
7008 データエラー 印刷データ及びケーブルの接続を確認して下さい	印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	
7009 データエラー 印刷データ及びケーブルの接続を確認して下さい	印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	
7020 データエラー 印刷データ及びケーブルの接続を確認して下さい	「印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	
7030 未サポートサイズ 印刷設定の用紙サイズを確認して下さい	印刷できない用紙サイズが指定されました。 印刷先のプリンタ装置にあった用紙サイズを指定してください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
S270 ハードエラー ASIC エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.232)
S277 ハードエラー LEDA エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S230 ハードエラー MCU ボードエラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください	
S231 ハードエラー MCU ボードエラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S302 ハードエラー 高圧出力異常 (帯電 / 現像) 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S508 ハードエラー 給紙底板動作異常 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.232)
S520 ハードエラー メインモータエラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S525 ハードエラー カセット 2 搬送路エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S526 ハードエラー カセット 3 搬送路エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S527 ハードエラー カセット 4 搬送路エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください	
S530 ハードエラー ファンエラー (定着器) 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S532 ハードエラー 電源ファンエラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
S541 ハードエラー 定着器エラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」（→P.232）
S542 ハードエラー 定着器エラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S543 ハードエラー 定着器エラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S544 ハードエラー 定着器エラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S545 ハードエラー 定着器エラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S547 ハードエラー 電源エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください	
S531 ハードエラー 冷却ファンエラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S553 ハードエラー 定着器エラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S554 ハードエラー 定着器エラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S551 ハードエラー 定着器エラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S559 ハードエラー 定着器エラー	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください	
S669 ハードエラー MCU ボードエラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
S332 ハードエラー トナーカートリッジエラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.232)
S364 ハードエラー トナーカートリッジエラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S440 ハードエラー 高圧出力異常（転写） 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S460 ハードエラー 高圧出力異常（用紙除電） 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S688 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S681 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S682 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S790 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S101 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S102 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S103 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S107 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
S108 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→P.232)
S109 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S10a ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S201 ハードエラー 通信エラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
S901 ハードエラー MCU ボード不一致 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
M202 ハードエラー タイムアウトエラー 電源を OFF/ON して下さい	ハードウェアーの異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9001 コントローラエラー RAM エラー 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9101 拡張メモリエラー メモリ交換 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9102 メモリバスエラー 拡張メモリ取り外し 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9003 コントローラエラー MAC アドレスエラー 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9004 コントローラエラー Flash-ROM エラー 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9103 設定メモリエラー 登録初期化します 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
9104 ログメモリエラー データ初期化します	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」（→P.232）
9005 コントローラエラー LSI アクセスエラー	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9006 コントローラエラー EEPROM エラー 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください	
9007 コントローラエラー プログラム ROM エラー 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9105 プログラムエラー プログラム ROM エラー 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	
9008 コントローラエラー USB デバイスエラー 電源を OFF/ON して下さい	ROM およびRAM の異常を検出した場合に表示されます。いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	

警告メッセージ一覧

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を下段に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。

・警告メッセージの例

POINT

・警告が複数発生している場合は、次の表の該当する警告が、表の上から順番に交互に表示されます。

7

表示メッセージ	表示内容と処置
xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss データがあります	・データあり 未処理データがある状態です。
xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss トナーカートリッジ 準備	・トナーカートリッジ準備 「K003 カートリッジ交換」（トナーカートリッジ準備）エラー発生後、設定スイッチにより印刷を続行して、再度エラーとなるまで（10 回印刷）の表示です。 ・オンライン時はそれぞれ次のように表示されます。 xxxxxxxxxxxx pppppppp mm トナーカートリッジ 準備 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。 ・警告発生以降の印字品質については保証できません。
xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss ドラムカートリッジ 準備	・ドラムカートリッジ交換準備 「K013 ドラムカートリッジ交換」（ドラムカートリッジ交換準備）エラー発生後、設定スイッチにより印刷を続行して、再度エラーとなるまで（10 回印刷）の表示です。 ・オンライン時はそれぞれ次のように表示されます。 xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ドラムカートリッジ 準備 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。 ・警告発生以降の印字品質については保証できません。
xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss トナーカートリッジ 準備	・トナーカートリッジ準備 トナーなしあるいは廃トナー格納エリア（トナーカートリッジ内にあります）が少なくなり、交換時期が近づいた場合に表示されます。 ・オンライン時はそれぞれ次のように表示されます。 xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss ドラムカートリッジ 準備 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。 ・警告発生以降の印字品質については保証できません。

表示メッセージ	表示内容と処置
xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss ドラムカートリッジ 準備	・ドラムカートリッジ交換準備 ドラム交換時期が近づいた場合に表示されます。 ・オンライン時はそれぞれ次のように表示されます。 xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss ドラムカートリッジ 準備 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。 ・警告発生以降の印字品質については保証できません。
・アイドル中表示 xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss 装置寿命 残り xx% ・印字中表示 xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss 装置寿命	・装置寿命 装置が寿命に近づいている（装置寿命消耗率 80%以上）場合の警告です。 本製品では、XL-9381 は 120 万枚、XL-9321 は 60 万枚が装置寿命です。 ・表示は残り寿命率で表示されます。 10%刻みで表示され 0%に達した場合「装置寿命」表示となります。 【例】装置寿命消耗率 80%となった場合 「装置寿命 残り 20%」 ・警告発生以降の印字品質については保証できません。 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。
・アイドル中表示 xxxxxxxxxxxx 定着器 準備 ・印字中表示 xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss 定着器 準備	・定着器交換時期（CE 交換） 定着器を含む定期交換キット部品が交換時期となった場合の警告です。 本製品では、定着器、転写ローラ、給紙コロ、フリクションパッドが対象となります。 警告を解除した後、エンジン内でカウントを行っている走行距離または枚数が、エンジン内で規定している値となった場合、警告発生となります。 ・警告発生以降の印字品質については保証できません。 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。 ・装置寿命警告発生後は、定着器の交換警告は表示されません。
xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss カセット n 確認	・カセット確認 カセットが外れている場合の警告です。 ・複数カセットが同時に外れている場合は、優先順位の一番高いカセットの警告を 1 つだけ表示します。（優先順位 : 1 > 2 > 3 > 4） ・外れているカセットを指定して印刷を行うと、カセットなしエラーに移行します。 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。
xxxxxxxxxxxx pppppppp mm ssssssssss カセット n サイズ確認	・カセットサイズ確認 カセットのサイズが正しくない場合の警告です。 ・複数カセットが同時にサイズが正しくない場合は、優先順位の一番高いカセットの警告を 1 つだけ表示します。（優先順位 : 1 > 2 > 3 > 4） ・サイズが正しくないカセットを指定して印刷を行うと、カセットサイズエラーに移行します。 ・他の警告発生中は、表示されない場合があります。

警告が複数同時発生している場合は、2 秒間隔でメッセージが切り替わります。
ただし、データあり警告が発生している場合、他の警告は表示しません。

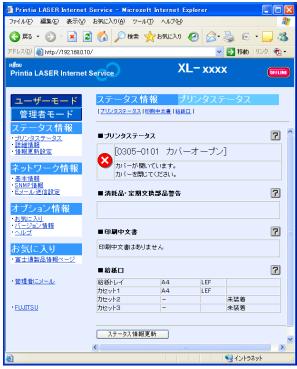
Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

「Printianavi2」および「Printia LASER Internet Service」を利用時に、Windows 画面に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。
「Printianavi2」および「Printia LASER Internet Service」について詳しくは、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

■「Printianavi2」／「Printianavi」の場合

■「Printia LASER Internet Service」の場合

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0000	0100	[オンライン]	印刷可能です。	－
0000	0200	[パワーセーブ中]	パワーセーブ中です。パワーセーブ（節電中 1）とパワーセーブ（節電中 2）の時があります。 印刷可能です。	
0000	0300	[準備中...] 印刷の準備中です。 しばらくお待ちください。	準備中と、クールダウン中があります。 しばらくお待ちください。	
0000	0400	[印刷中...]	印刷中です。	
0000	2200	[印刷の再開準備中...] 印刷の再開準備中です。 しばらくお待ちください	しばらくお待ちください	
0000	0102	[オンライン （消耗品交換）] 消耗品の交換時期が近づきました。	トナーカートリッジの交換時期が近づいてきました。 消耗品交換：印刷可能 （トナーカートリッジ準備）	
0000	0302	[準備中... （消耗品交換）] 消耗品の交換時期が近づきました。	トナーカートリッジの交換時期が近づいてきました。 消耗品交換：準備中 （トナーカートリッジ準備）	
0000	0402	[印刷中... （消耗品交換）] 消耗品の交換時期が近づきました。	トナーカートリッジの交換時期が近づいてきました。 消耗品交換：印刷中 （トナーカートリッジ準備）	
0000	1000	[印刷中...] 両面印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足）	片面で印刷（プリンタメモリ不足）	
0000	1000	[印刷中...] 両面印刷の指定は無効です。（未サポート用紙指定）	片面で印刷（未サポート用紙指定）	
0000	1000	[印刷中...] 部単位印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足）	1 部のみ印刷（プリンタメモリ不足）	
0000	1000	[印刷中...] 部単位印刷の指定は無効です。（プリンタメモリオーバー）	1 部のみ印刷（プリンタメモリオーバー）	
0000	1000	[印刷中...] と以下の組み合わせ 両面印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足）or（未サポート用紙指定） 部単位印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足）or（プリンタメモリオーバー）	以下の組み合わせまたはいずれか 片面で印刷（プリンタメモリ不足）or（未サポート用紙指定） 1 部のみ印刷（プリンタメモリ不足）or（プリンタメモリオーバー） ※分類枠内に収まらない部分は表示されない	
0000	1001	[印刷中... （消耗品交換）] 消耗品の交換時期が近づきました。 と以下の組み合わせ 両面印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足）or（未サポート用紙指定） 部単位印刷の指定は無効です。（リンタメモリ不足）or（プリンタメモリオーバー） 排紙方法の指定は無効です。（オプション未装着／指定誤り）	トナーカートリッジの交換時期が近づいてきました。 ※ [印刷中... （消耗品交換）] 時、ステータス表示 / IntetnetService で表示したとき	

7

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0000	1001 1000	[印刷中. . . （消耗品交換）] 消耗品の交換時期が近づきました。 または [印刷中. . .] と以下の組み合わせ 両面印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足）or（未サポート用紙指定） 部単位印刷の指定は無効です。（プリンタメモリ不足）or（プリンタメモリオーバー） 排紙方法の指定は無効です。（オプション未装着／指定誤り） ステープルの指定は無効です。（針なし／用紙サイズ混在／規定枚数超過）	トナーの残量が少なくなりました。 ドラムカートリッジの交換時期が近づいてきました。 ステープル針がなくなりました。 トナーカートリッジの交換時期が近づいてきました。 ※ [印刷中. . . （消耗品交換）] 時、ステータス表示 / IntetnetService で表示したとき	ー
0000	2300	[印刷待ち] プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。	他で使用中：印刷・保存待ち (ドライバ)	
0000	2100	[他で使用中] プリンタが他で使用中です。	他で使用中：印刷・保存待ち (ドライバ以外)	
0305	5002	[****-**** カバーオープン] カバーが開いています。 カバーを閉じてください。	前カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	
0305	0102	[****-**** カバーオープン] カバーが開いています。 カバーを閉じてください。	後カバーが開いていると表示されます。 表示された箇所のカバーを閉じてください。	
0330	0108	[****-**** ユニット確認] 定着器が外れています。 定着器を正しく装着してください。	定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」（→ P.232）
0330	0123	[****-**** ユニット確認] 拡張給紙が外れています。 拡張給紙を正しく装着してください。	拡張給紙ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください。	「拡張給紙ユニットの取り付け」（→ P.53） 「お問い合わせ窓口」（→ P.232）

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-**** 」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0319	0101	[****-**** カートリッジなし] トナーカートリッジが正しくセットされていません。 トナーカートリッジをセットし直してください	トナーカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 トナーカートリッジをセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」（→ P.77）
0319	0102	[****-**** カートリッジなし] ドラムカートリッジが正しくセットされていません。 ドラムカートリッジをセットし直してください。	ドラムカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 ドラムカートリッジをセットしてください。	
0420	0102	[****-**** カートリッジ不一致] 装着されたトナーカートリッジは使えません。 トナーカートリッジを交換してください。	セットされたトナーカートリッジが使用できない場合に表示されます。 トナーカートリッジを交換してください。	
0420	0103 1106 1107	[****-**** カートリッジ寿命] トナーカートリッジの交換時期です。 トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 交換用のトナーカートリッジを準備してください。	
0420	0501 0601 0602	[****-**** カートリッジ寿命] ドラムカートリッジの交換時期です。 ドラムカートリッジを交換してください。	ドラムカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 交換用のドラムカートリッジを準備してください。	
0420	1204 1205 1206 1207	[****-**** カートリッジ寿命] トナーカートリッジの交換時期です。 トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 交換用のトナーカートリッジを準備してください。	
0304	9001	[****-**** カセットなし] 給紙カセット1がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。	給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットがセットされていないと表示されます。 カセット * で表示された給紙カセット（1 ～ 3）に印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	9002	[****-**** カセットなし] 給紙カセット2がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。		
0304	9003	[****-**** カセットなし] 給紙カセット3がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。		
0304	9004	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 4 がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。		

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-**** 」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0304	9000	[****-**** カセットなし] 給紙カセットがセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。	給紙カセットを指定して印刷したときに、指定した給紙カセットがセットされていないと表示されます。 カセット * で表示された給紙カセット（1 ～ 3）に印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	30ss	[****-**** 用紙サイズ不一致] プリンタにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット（1 ～ 3）または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。また、給紙カセットの縦／横のガイドグリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。縦／横のガイドグリップが正しく設定されているか確認してください。	
0304	31ss	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット1にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット1を指定して印刷したときに､給紙カセット 1 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 1 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	32ss	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット2にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 2 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	33ss	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット3にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット3を指定して印刷したときに､給紙カセット 3 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 3 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	34ss	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット4にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット 4 を指定して印刷したときに、給紙カセット 4 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 4 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	40ss	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセットにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。	
0304	b0ss	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙トレイにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-**** 」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0304	41ss	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 1 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット1の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 1 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	42ss	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 2 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット2の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 2 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	43ss	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 3 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット3の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 3 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	44ss	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 4 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット4の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 4 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	c0ss	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙トレイの設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙トレイの用紙を正しくセットし直してください。	給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0304	a8ss	[****-**** 用紙サイズ不足] 指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。 給紙トレイに A4 を SEF 方向（縦置き）にセットすると印刷を続行します。	「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 LEF 方向（横送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。 給紙トレイに A4 を LEF（横送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	
0304	a8ss	[****-**** 用紙サイズ不足] 指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。 給紙トレイに A4 を LEF 方向（横置き）にセットすると印刷を続行します。	「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 SEF 方向（縦送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。 給紙トレイに A4 を SEF（縦送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	
0304	a700	[****-**** 未サポート用紙サイズ] 指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。 給紙トレイの用紙サイズを確認し、セットし直してください。	給紙トレイの用紙サイズを確認し、セットし直してください。	
0301	00ss	[****-**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。（用紙サイズ）	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます。 （メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき）。 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	
0301	01ss	[****-**** 用紙なし] 給紙カセット 1 に用紙がありません。（用紙サイズ）	給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 1 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0301	02ss	[****-**** 用紙なし] 給紙カセット 2 に用紙がありません。（用紙サイズ）	給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 2 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0301	03ss	[****-**** 用紙なし] 給紙カセット 3 に用紙がありません。（用紙サイズ）	給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 3 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0301	04ss	[****-**** 用紙なし] 給紙カセット 4 に用紙がありません。（用紙サイズ）	給紙カセット 4 を指定して印刷したときに、給紙カセット 4 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 4 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0301	10ss	[****-**** 用紙なし] 給紙カセットに用紙がありません。（用紙サイズ）	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 （メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき）。 自動給紙対象の給紙カセット（1 ～ 3）に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
0301	80ss	[****-**** 用紙なし] 給紙トレイに用紙がありません。（用紙サイズ）	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙の場合、「用紙なし」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	
0315	2401 2402 2403 2404 2405 2410 2420 2421	[****-**** 用紙残り] 用紙が装置内に残っています。 カバーを開け、カセット／プリンタ内／排紙口に詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、プリンタ内部、排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外してプリンタ内部を確認してください。	「紙詰まりになったとき」（→ P.148）
0314	1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1011 1012 1023 1024 1025 1021 1022 1031 1032 1033 1034	[****-**** 紙詰まり] 紙詰まりが発生しました。 カバーを開け、カセット／プリンタ内／排紙口に詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、プリンタ内部、排紙口を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外してプリンタ内部を確認してください。	

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-**** 」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0320	0001	[****-**** トレイフル] 排紙トレイが用紙でいっぱいです。すべての用紙を取り除いてください。	すべての用紙を取り除いてください。	−
0350	0601	[****-**** 論理エラー] メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。（ESC/Page） プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。処理を続行します。	プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。処理を続行します。	
0350	0703	[****-**** 論理エラー] メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 （部単位印刷） プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。一部のみ印刷します。	部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」未使用時は、設定スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 「Printianavi2」を使用している場合は、上記メッセージを表示後、部単位印刷が再開されます。	
0350	0704	[****-**** 論理エラー] プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。 プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。片面印刷で続行します。	メモリを増設していない状態で A3、B4、リーガルの用紙を 1200dpi で両面印刷するときに、次の状態の場合、表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」をにしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」がのとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき「Printianavi2」使用時は、設定スイッチを押す、または 3 秒経過すると片面で印刷されます。 「Printianavi2」未使用時は、設定スイッチを押すと片面で印刷されます。	「プリンタ RAM モジュールの取り付け」（→ P.49）
0350	0706	[****-**** 論理エラー] 印刷中にアンダーランエラーが発生しました。 「プロテクトモードで印刷する」にチェックを付けるか、プリンタドライバの解像度を低く設定し直して、再度印刷してください。	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます（アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します）。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。	−
0350	0708	[****-**** 論理エラー] 印刷できない解像度が指定されました。 印刷先のプリンタ装置にあったプリンタドライバをインストールしてください。	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	
0350	0712	[****-**** 論理エラー] プリンタの給紙口が全て自動給紙無効となっているため、自動給紙が行えません。 プリンタドライバで給紙口を指定するか、プリンタの自動給紙設定を有効にして、再度印刷してください。	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニューモードの自動給紙設定を「有効（有効）」にして、印刷をし直してください。	
0350	070b 070c 070d	[****-**** 印刷データエラー] 印刷処理中の印刷データにエラーがあります。 ケーブルが正しく接続されていることを確認し、再度印刷を行ってください。	印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	
0350	070e	[****-**** 論理エラー] 印刷できない用紙サイズが指定されました。	印刷先のプリンタ装置にあった用紙サイズを指定してください。	

7

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0300	0101	[****-**** プリンタリセット] プリンタがリセットされました。	プリンタをオンラインにしてください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.101）
0300	0102	[****-**** オフライン] プリンタがオフラインとなっています。		
0300	0103	[****-**** リモート設定中] プリンタがリモート設定中です。	しばらくお待ちください。	―
0300	0104	[****-**** プリンタリセット] プリンタが初期化中です。		
0700	3001 3002 3004 3005 3006 301f 3008 3023 3024 3025 3009 300a 300b 300c 300d 300e 300f 3010 3011 3012 3013 3014 3016 3015 3020 3021 3022 301a 301b 301c 301d 3101 3102 3103 3103 3107 3108 3109 310a 310b 3110 2102	[****-**** ハードエラー] ハードエラーが発生しました。 プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「お問い合わせ窓口」へご連絡ください	

第 8 章

付録

この章では、本製品を使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。

1 仕様 214
2 オプション品一覧 223
3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／ 24 時間運用について 224
4 サプライ品一覧 226
5 推奨用紙 228
6 用紙の印刷方向と印刷可能領域について 229
7 アフターサービスについて 232

1 仕様

本製品の本体仕様とインターフェース仕様は、次のとおりです。

本体仕様

型名	XL-9381/9321					
印刷方式	電子写真方式					
印刷速度（コピー動作による連続印刷時） 単位：ページ / 分	普通紙					
			XL-9381		XL-9321	
	給紙方法		給紙トレイ	給紙カセット	給紙トレイ	給紙カセット
	用紙サイズ		連続印刷時間により、印刷速度が変わります。 0～1分／1分～			
	片面	A4 LEF	38／38		32／32	
	片面	A4 SEF	23.3／17.6		19.7／14.8	
	片面	A3	21.9／21.9		19.0／19.0	
	片面	A5	26.3／18.8		24.3／15.8	
	片面	A6	26.3／21.0		24.3／17.8	
	片面	B4	24.8／24.8		21.4／21.4	
	片面	B5	25.6／18.8		21.6／15.8	
	片面	B6	26.3／19.7		24.3／16.7	
	片面	ユーザ定義サイズの用紙［注1］	—	14.2～36.6	—	12.9～30.9
	片面	長尺紙	1.0	—	1.0	—
	用紙サイズ		連続印刷時間により、印刷速度が変わります。 0～1分／1分～			
	両面	A4 LEF	—	29／29	—	26／26
	両面	A4 SEF	—	23.3／14.0	—	21.4／12.4
	両面	A3	—	12.0／12.0	—	10.5／10.5
	両面	A5	—	26.3／18.8	—	24.3／15.9
	両面	A6	—	26.3／21.1	—	24.3／17.8
	両面	B4	—	13.0／13.0	—	11.5／11.5
	両面	B5	—	25.6／14.8	—	23.5／13.0
	両面	B6	—	26.3／19.7	—	24.3／16.7
	両面	ユーザ定義サイズの用紙［注1］	—	17.4~28.2	—	15.9～25.2
	・両面印刷にすると印刷速度は遅くなります。 ・厚紙モードにすると印刷速度は遅くなります。 ・用紙幅の狭い用紙から広い用紙に切り替わった場合、クールダウンのため一時的に印刷速度が遅くなる場合があります。 ・ユーザ定義サイズの用紙の場合は、用紙サイズによって、印刷速度が異なります。 ・大量に印刷すると、クールダウンのため、いったん停止または印刷速度が遅くなる場合があります。 ・拡張給紙ユニット最大構成時、カセット4からの両面印刷において印刷速度が遅くなる場合があります。					
ウォームアップ時間	19秒以内（23℃、公称電圧（100V）印加時）					
エンジン解像度	600dpi／1200dpi					
データ処理解像度	300dpi × 300dpi 600dpi × 600dpi 1200dpi × 1200dpi					
スムージング処理	Super FEIT（1200dpi 以外） ［注］FEIT=Fujitsu Enhanced Image Technology					

型名	XL-9381/9321	
用紙種類	・給紙トレイ 普通紙 L/ 普通紙 / 普通紙 H（52g/ ㎡～ 90g/ ㎡）、厚紙 1L/ 厚紙 1/ 厚紙 2L（91g/ ㎡～ 162g/ ㎡）、厚紙 2（163g/ ㎡～ 220/ ㎡）、ラベル紙 1（75g/ ㎡～ 90g/ ㎡）、ラベル紙 2L/ ラベル紙 2（91g/ ㎡～ 130g/ ㎡）、郵便はがき（190g/ ㎡）、往復はがき（190g/ ㎡）、封筒 ・給紙カセット（標準） 普通紙 L/ 普通紙 / 普通紙 H（52g/ ㎡～ 90g/ ㎡）、厚紙 1L/ 厚紙 1/ 厚紙 2L（91g/ ㎡～ 162g/ ㎡）、厚紙 2（163g/ ㎡～ 220/ ㎡）、郵便はがき（190g/ ㎡）、往復はがき（190g/ ㎡）、封筒 ・拡張給紙ユニット（オプション） 普通紙 L/ 普通紙 / 普通紙 H（52g/ ㎡～ 90g/ ㎡）、厚紙 1L/ 厚紙 1/ 厚紙 2L（91g/ ㎡～ 162g/ ㎡）、厚紙 2（163g/ ㎡～ 220/ ㎡）	
用紙サイズ	・給紙トレイ A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、長尺紙（幅 297 ㎜固定、長さ 432.1 ㎜～ 1260.0 ㎜）、ユーザ定義サイズ（片面）（幅 60 ～ 297 ㎜、長さ 127 ㎜～ 432 ㎜）、ユーザ定義サイズ（両面）（幅 90 ～ 297 ㎜、長さ 148 ㎜～ 432 ㎜）、はがき、往復はがき、封筒 (洋長 3 号、洋形 2 号、洋形 4 号、長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号) ・給紙カセット（標準） A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ（幅 90 ～ 297 ㎜、長さ 148 ㎜～ 432 ㎜）、はがき、往復はがき、封筒（洋長 3 号、角形 2 号） ・拡張給紙ユニット（オプション） A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ（幅100～ 297 ㎜、長さ148 ㎜～ 432 ㎜）	
給紙方式［注 2］	給紙カセットによる自動給紙（収容枚数：550 枚（XL-9381）/250 枚（XL-9321）） 拡張給紙ユニット使用時（収容枚数：1650 枚） 給紙トレイによる自動給紙（収容枚数 100 枚 (はがき 30 枚))	
両面印刷	用紙種類：普通紙（52g/ ㎡～ 162g/ ㎡） 用紙サイズ：A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ	
排紙方法［注 2］	フェースダウンスタッカ（スタック枚数：500 枚（XL-9381）/250 枚（XL-9321））	
使用環境条件	温度 :10 ～ 32 ℃、湿度 :15 ～ 80%RH（推奨紙使用時） 温度 32 ℃のときは湿度 54%RH 以下、湿度が 80%RH 前後のときは温度 27 ℃以下で使用してください（ただし、結露しないこと）。また、その他の用紙については、上記使用温湿度環境で使用されていても、用紙の特性により、充分にプリンタの性能を発揮できない場合があります。 冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。 標準温湿度 温度 ： 23°C 湿度 ： 50%RH HH: 27°C 80% MM: 23°C 50% 32°C 54% LL: 10°C 15% 32°C 15% 湿度 （%RH） 温度 （°C）	
電源・電源周波数	AC100V ± 10%（最小 90V、最大 110V）、50 ／ 60Hz ± 3Hz（最小 47Hz、最大 63Hz） 矩形波が出力される電源機器には接続しないでください。故障する場合はあります。	
消費電力	最大	975W
	平均	700W 以下
	節電 1	8.5W 以下
	節電 2	1.8W 以下
	パワーセーブ時（最小）	0.35W 以下
	電源オフ時	0.01W 以下
TEC 値	1.865kWh（XL-9381）／ 1.608kWh（XL-9321）	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率（2017 年度基準）	区分名	C
	印刷速度	モノクロ：38 枚／分（XL-9381） ／ モノクロ：32 枚／分 XL-9321）
	年間消費電力量	97kWh/ 年（XL-9381）／ 84kWh/ 年（XL-9321）
定格電流	12A	

8

型名	XL-9381/9321
騒音［注 3］	待機時：16.5dB(A) 以下 稼働時：52.6dB(A) 以下（XL-9381）／ 50.8dB(A) 以下（XL-9321） 本体のみ
外形寸法	幅 459mm、奥行き 392（546.5）、高さ 348mm （XL-9381 ） ( )：カセット延長時 幅 459mm、奥行き 392（546.5）、高さ 286（288）mm（XL-9321 ） ( )：突起物およびカセット延長時
質量	約 22.5kg（XL-9381）／約 20.7kg（XL-9321） （スタートアップトナー含む、用紙なし）
インターフェース	IEEE1284 双方向パラレルポート USB2.0 準拠 USB インターフェース 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T LAN ポート
対応ネットワーク	TCP/IPv4(IPP,HTTP,BPP,LPR,DHCP,SNMP,SMTP,DNS,RAW(Port9100)) TCP/IPv6(IPP,HTTP,BPP,LPR,SNMP,RAW(Port9100)) 対応 OS：Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/ Windows Server 2003
プリンタシーケンス［注 4］	XL プリンタドライバ、ESC/P
文字・書体	ESC/P 用：ANK、明朝体、ゴシック体
耐用期間［注 5］	XL-9381： 5 年（8 時間／日）または 120 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（ LEF））のいずれか早いほう XL-9321： 5 年（8 時間／ 日）または 60 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（ LEF））のいずれか早いほう
電源コード	1 本（平行 3 極プラグ（3P-2P 変換プラグ付））、2m
サポート OS［注 6］	Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2003

注 1 ： ユーザ定義サイズの用紙に印刷する場合は、「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.217）に記載の速度で印刷します。

注 2 ： 収容および排紙枚数は 64g/ ㎡で換算

注 3 ： ISO7779 に基づく実測値であり、バイスタンダ（近在者）位置の音圧レベルです。

注 4 ： データ処理解像度
・XL プリンタドライバ：1200dpi/600dpi/300dpi
・ESC/P:180dpi

注 5 ： 耐用期間のページ数は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF による初期化動作の頻度などにより異なります。
推奨月間印刷ページ数 5500 ページ以下、最大月間印刷ページ数 20000 ページ以下です（A4 サイズ横送り（ LEF 3 ページ／ジョブ）の場合）（XL-9381）。
推奨月間印刷ページ数 3000 ページ以下、最大月間印刷ページ数 10000 ページ以下です（A4 サイズ横送り（ LEF 3 ページ／ジョブ）の場合）（XL-9321）。
また、本製品には、有寿命部品、消耗品および定期交換部品が含まれています。詳しくは「有寿命部品／消耗品／定期交換部品／ 24 時間運用について」（→ P.224）をご覧ください。

注 6 ： 日本語版

ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度

ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合、次の表とグラフで示すように、用紙の幅と長さの組み合わせにより、印刷速度が異なります。一般的に、用紙の長さが短いほど、印刷速度は速くなります。

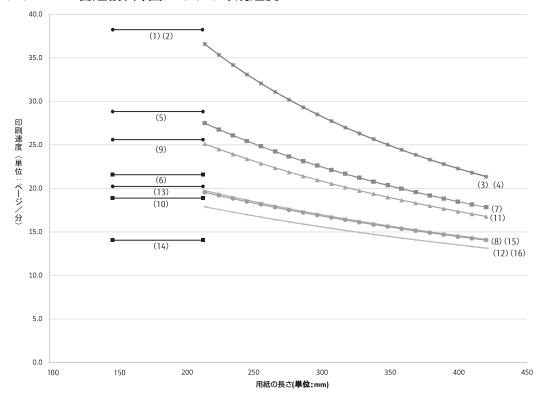
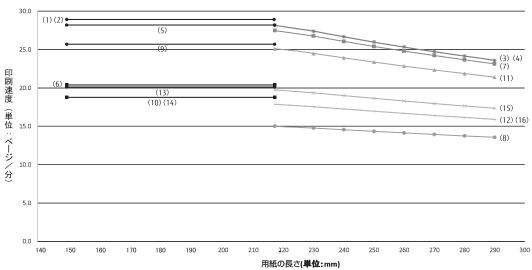
■XL-9381

ユーザ定義サイズ		印刷速度（単位：ページ / 分）			グラフの線
用紙の幅	用紙の長さ	時間	普通紙 / 片面（グラフ A を参照）	普通紙 / 両面（グラフ B を参照）	
230mm 以上	215.9mm 以下	0 ～ 1 分	38	29	(1)
		1 分～	38	29	(2)
	215.9mm を超える［注 1］	0 ～ 1 分	21.4	23.2［注 2］	(3)
		1 分～	21.4	23.2［注 2］	(4)
170mm 以上～ 230mm 未満	215.9mm 以下	0 ～ 1 分	28.3	28.3	(5)
		1 分～	22.8	20.6	(6)
	215.9mm を超える	0 ～ 1 分	17.8	22.8［注 2］	(7)
		1 分～	13.5	13.5［注 2］	(8)
95mm 以上～ 170mm 未満	215.9mm 以下	0 ～ 1 分	25.8	25.8	(9)
		1 分～	18.3	18.3	(10)
	215.9mm を超える	0 ～ 1 分	16.8	21.1［注 2］	(11)
		1 分～	11.9	15.1［注 2］	(12)
95mm 未満	215.9mm 以下	0 ～ 1 分	20.2	20.2	(13)
		1 分～	14.4	18.3	(14)
	215.9mm を超える	0 ～ 1 分	14.2	17.2［注 2］	(15)
		1 分～	10	15.1［注 2］	(16)

注 1 ： 用紙長さが 215.9mm を超える紙の印刷速度は、用紙長さによって変わります（数値は用紙長さ 420mm の場合）。

注 2 ： 用紙長さが 215.9mm を超える紙の印刷速度は、用紙長さによって変わります（数値は用紙長さ 297mm の場合）。用紙長さ 297mm を超える場合は、他のサイズに対して印刷速度が異なる場合があります。

8

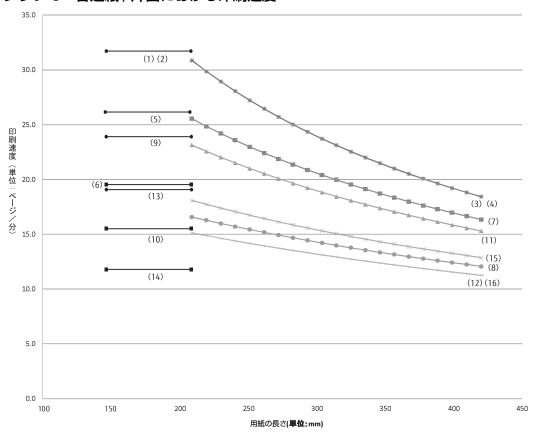
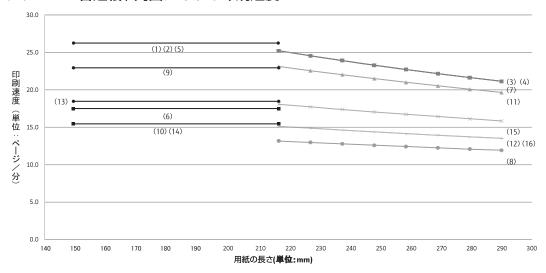
グラフ A：普通紙 / 片面における印刷速度

グラフ B：普通紙 / 両面における印刷速度

■XL-9321

ユーザ定義サイズ		印刷速度（単位：ページ / 分）			グラフの線
用紙の幅	用紙の長さ	時間	普通紙 / 片面（グラフ C を参照）	普通紙 / 両面（グラフ D を参照）	
230mm 以上	215.9mm 以下	0 ～ 1 分	32	26	(1)
		1 分～	32	26	(2)
	215.9mm を超える ［注 1］	0 ～ 1 分	18.4	20.8 ［注 2］	(3)
		1 分～	18.4	20.8 ［注 2］	(4)
170mm 以上～ 230mm 未満	215.9mm 以下	0 ～ 1 分	26.3	26	(5)
		1 分～	19.5	17.5	(6)
	215.9mm を超える	0 ～ 1 分	16.4	20.8 ［注 2］	(7)
		1 分～	11.4	12.1 ［注 2］	(8)
95mm 以上～ 170mm 未満	215.9mm 以下	0 ～ 1 分	23.8	23.8	(9)
		1 分～	15.4	15.4	(10)
	215.9mm を超える	0 ～ 1 分	15.3	19.4 ［注 2］	(11)
		1 分～	10	12.7 ［注 2］	(12)
95mm 未満	215.9mm 以下	0 ～ 1 分	18.5	18.5	(13)
		1 分～	12.1	15.4	(14)
	215.9mm を超える	0 ～ 1 分	12.9	15.7 ［注 2］	(15)
		1 分～	8.4	12.7 ［注 2］	(16)

注 1　:　用紙長さが 215.9mm を超える紙の印刷速度は、用紙長さによって変わります（数値は用紙長さ 420mm の場合）。

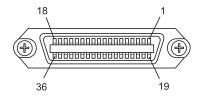
注 2　:　用紙長さが 215.9mm を超える紙の印刷速度は、用紙長さによって変わります（数値は用紙長さ 297mm の場合）。
用紙長さ 297mm を超える場合は、他のサイズに対して印刷速度が異なる場合があります。

8

グラフ C：普通紙 / 片面における印刷速度

グラフ D：普通紙 / 両面における印刷速度

インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、パラレルインターフェースおよびUSBインターフェースを採用しています。

パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列

- 基本仕様
  IEEE 1284に準拠した双方向パラレルインターフェース
- インターフェースコネクタ
  プリンタ側：36極コネクタ（メス）アンフェノール　57-40360相当品
  ケーブル側：36極コネクタ（オス）アンフェノール　57-30360相当品
- ケーブル
  1.5m以下のケーブルを使用してください（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること）。
- 信号レベル
  LOW：0.0V ～ +0.4V HIGH：+2.4V ～ +5.0V
- データ転送方式
  8ビットパラレル
- コネクタピン配列

インターフェースコネクタ（36ピン）

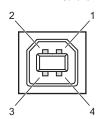
ピン番号	信号名称	発信元
1	＊ Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊ Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	Perror	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊ AutoFd	パソコン
15	―	―
16	SG	―
17	FG	―
18	+5Vsignal	プリンタ
19	-RET	―
20	-RET	―
21	-RET	―
22	-RET	―
23	-RET	―
24	-RET	―

8

ピン番号	信号名称	発信元
25	-RET	—
26	-RET	—
27	-RET	—
28	-RET	—
29	-RET	—
30	-RET	—
31	＊ Init	パソコン
32	＊ Fault	プリンタ
33	-RET	—
34	—	—
35	—	—
36	＊ SelectIn	パソコン

「＊」は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

- 基本仕様
  USB 仕様の Revision2.0 準拠
- インターフェースコネクタ
  プリンタ側：B レセプタクル（メス）
- ケーブル
  XL-CBLU2G または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル
- 伝送モード
  High Speed（最大 480Mbps）、Full Speed（最大 12Mbps）
- 電力制御
  セルフパワーデバイス
- USB ピン配列

ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

2 オプション品一覧

本製品で使用できるオプション品の一覧は次のとおりです。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF25MG	2 段目、3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。収容枚数は約 250 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。 給紙カセット添付
拡張給紙ユニット -B	XL-EF55MG	2 段目、3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。収容枚数は約 550 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。 給紙カセット添付

プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256MC	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

プリンタケーブル

■パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL716	富士通製パソコン、各社 PC/AT 互換機に接続できます。（1.5m）

■プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	サポート OS が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。（1.5m）

3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について

有寿命部品、消耗品、定期交換部品、24 時間運用について、留意していただきたい点を説明します。

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、適切な使用環境（温度：10 ～ 32 ℃、湿度：15 ～ 80%RH）において 1 日 8 時間のご使用で約 5 年、または XL-9381 は 120 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（LEF））、XL-9321 は 60 万ページ印刷（A4 サイズ横送り（LEF））のいずれか早いほうです（A4 LEF より長い用紙を使用した場合は A4 LEF 印刷時の半分程度）。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での、修理による交換となります。交換するときは「お問い合わせ窓口」（→ P.232）にご連絡ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。
- 本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

光学ユニット、制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ

消耗品について

トナーカートリッジやドラムカートリッジなどの消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

サプライ品については、「サプライ品一覧」（→ P.226）をご覧ください。

定期交換部品について

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換するときは、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、専用の窓口にご連絡ください。未契約のお客様は、「お問い合わせ窓口」(→P.232)にご連絡ください。

なお、定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています(ご契約によっては有償となりますので、詳しくは弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください)。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスについて詳しくは、弊社ホームページ「製品サポート」(http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/products/)のページをご覧ください。補修用性能部品(保守部品)、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。

定期交換部品	交換時期の目安
定着器	9 万ページ印刷ごとを目安に「定期交換キット」で交換
給紙カセット給紙コロ	
給紙カセットフリクションパッド	
転写ローラ	

[注] 上記は、A4 サイズ横送り(LEF)/片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期が早まることがあります。
A4 LEF より長い用紙を使用した場合、寿命は A4 LEF 印刷時の半分程度が目安となります。

24 時間以上の連続運用について

本製品は、24 時間以上の連続運用を前提とした設計にはなっておりません。
24 時間以上の連続運用を行うと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

4 サプライ品一覧

本製品に用意されているサプライ品は次の表のとおりです。
なお、サプライ品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

サプライ品のご購入については、本製品をご購入の販売店、または富士通コワーコ にご相談ください。

- 富士通コワーコお客様総合センター
  通話料無料　0120-505-279
  月曜～金曜 9:00 ～ 17:30（土・日曜日、祝日、当社指定の休日を除く）
  URL:http://www.fujitsu.com/jp/coworco/

⚠注意

- トナーカートリッジやドラムカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。非純正品のトナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けると、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。

重要

- トナーカートリッジ（環境共生トナーを含む）やドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 24ヶ月（開封後は 1 年間）の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

適用機種	商品名	商品番号	備考
XL-9381	ドラムカートリッジ LB320	0899130	印刷量の目安は、3 ページ／ジョブ～連続印刷時は約 25000 ページ、1 ページ／ジョブ印刷時は約 14300 ページ［注 1］です。
	トナーカートリッジ LB320A	0899110	印刷量の目安は、約 6000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく）。
	トナーカートリッジ LB320B	0899120	印刷量の目安は、約 12000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく）。
	環境共生トナー LB320AF	0899114	環境共生トナーは、使用後のトナーカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約 6000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく）。 ・トナーカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。 ・交換時期（トナー残量が少ない）を検出してから、約 5000 ページの印刷でトナーカートリッジやドラムカートリッジの動作を停止します。

適用機種	商品名	商品番号	備考
XL-9381	環境共生トナー LB320BF	0899124	環境共生トナーは､使用後のトナーカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約 12000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく）。 ・トナーカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。 ・交換時期（トナー残量が少ない）を検出してから、約 5000 ページの印刷でトナーカートリッジやドラムカートリッジの動作を停止します。
XL-9321	ドラムカートリッジLB321	0899230	印刷量の目安は、3 ページ／ジョブ～連続印刷時は約 25000 ページ、1 ページ／ジョブ印刷時は約 14300 ページ［注 1］です。
	トナーカートリッジ LB321A	0899210	印刷量の目安は、約 6000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく）。
	トナーカートリッジ LB321B	0899220	印刷量の目安は、約 12000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく）。
	環境共生トナー LB321AF	0899214	環境共生トナーは､使用後のトナーカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約 6000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく）。 ・トナーカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。 ・交換時期（トナー残量が少ない）を検出してから、約 5000 ページの印刷でトナーカートリッジやドラムカートリッジの動作を停止します。
	環境共生トナー LB321BF	0899224	環境共生トナーは､使用後のトナーカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約 12000 ページ［注 1］です（JIS X 6931(ISO/IEC19752) に基づく）。 ・トナーカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。 ・交換時期（トナー残量が少ない）を検出してから、約 5000 ページの印刷でトナーカートリッジやドラムカートリッジの動作を停止します。
XL-9381/9321	レーザプリンタ置台	0530580	プリンタ置台（富士通コワーコ株式会社製）

注 1 ： 上記枚数はあくまでも目安であり、印刷寿命を保証するものではありません。
また、低印字率での運用環境では、オペレータパネルに「トナーカートリッジ準備」､「ドラムカートリッジ準備」の警告メッセージまたは「カートリッジ交換」のエラーメッセージが出る前に、黒筋、薄黒い汚れやカスレが発生する場合があります。
トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの寿命ですので、新しいトナーカートリッジ、ドラムカートリッジに交換してください。

POINT

・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、純正品をご使用ください。
非純正品をご使用されますと、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。

8

5 推奨用紙

本製品で印刷確認を行った用紙は、次の表のとおりです。なお、印刷確認は、包装した状態の用紙を、温度 22 ℃、湿度 55 ～ 60% 環境下に 12 時間放置した後、印刷直前に包装紙から取り出して実施しています。

POINT

・ 安定した搬送性・印字品質を確保するために、推奨紙の使用をお勧めします。
・湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。

メーカー名	用紙種類	品名	サイズ	商品番号［注 1］	備考
富士通コワーコ（株）	普通紙	オフィス用紙 W	A3	0411650	
		オフィス用紙 W	B4	0411620	
		オフィス用紙 W	A4	0411610	［注 2］
		オフィス用紙 W	A4Y	0411612	［注 3］
		オフィス用紙 W	B5Y	0411645	
		オフィス用紙 W	A5Y	0411635	
郵便事業（株）郵便局などで発売	はがき	郵便はがき	はがき	ー	多色刷りはがきは除く

注 1 ： 各商品で梱包単位（枚数）が異なりますので、購入時は事前に確認をお願いします。
注 2 ： 用紙をセットする向き（搬送方向）が A4 縦（ SEF）の場合。
注 3 ： 用紙をセットする向き（搬送方向）が A4 横（ LEF）の場合。

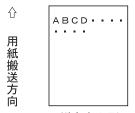
POINT

・古紙 100% 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。
A4 サイズであれば、LEF（横送り方向）と SEF（縦送り方向）を変更することで改善される場合があります。ただし、SEF に変更すると、LEF に比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。
・A4LEF、B5LEF、A5LEF など、LEF（横送り方向）にセットする場合は「横目」の用紙を推奨します。
A4SEF、B4、A3 など、SEF（縦送り方向）にセットする場合は「縦目」の用紙を推奨します。

用紙の印刷方向と印刷可能領域について

本製品は、給紙カセットや給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。ここでは、給紙方法と用紙サイズとの対応を説明します。

印刷方向

A4 縦送り（SEF）、A3、A5 縦送り（SEF）、A6、B4、B5 縦送り（SEF）、B6 縦送り（SEF）、リーガル、レター縦送り（SEF）、はがき、往復はがき縦送り（SEF）、封筒縦送り（SEF）、長尺紙サイズの用紙の場合

縦方向印刷

横方向印刷

重要

- 封筒は拡張給紙ユニット（オプション）はサポートしておりません。
- 長尺紙は、給紙トレイのみサポートしています。
- はがき、往復はがき縦送り（+SEF）は、拡張給紙ユニット（オプション）はサポートしておりません。

A4 横送り（LEF）、A5 横送り（LEF）、B5 横送り（LEF）、B6 横送り（LEF）、レター横送り（LEF）、往復はがき横送り（LEF）、封筒横送り（LEF）サイズの用紙の場合

重要

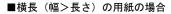
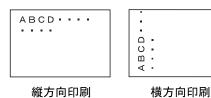
- B6 横送り（LEF）は給紙トレイのみサポートしています。
- 往復はがき横送り（LEF）は拡張給紙ユニット（オプション）はサポートしておりません。

8

ユーザ定義サイズの用紙の場合

■縦長（幅<長さ）の用紙の場合

縦方向印刷

横方向印刷

とじ穴のある A4 サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。

左とじの場合

上とじの場合

POINT

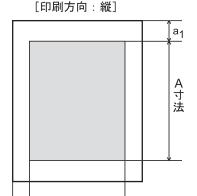
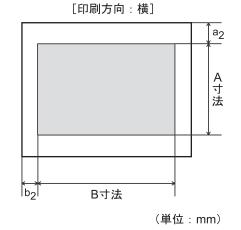
・用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプか、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［印刷方向：縦］

［印刷方向：横］

（単位：mm）

Printia XL ドライバ使用時

a1=a2=5 ㎜、b1=b2=5 ㎜

用紙方向	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

ESC/P モード使用時

a1=a2=8.5 ㎜または 22 ㎜（はがき：10 ㎜）、b1=b2=5 ㎜

用紙方向	用紙サイズ		A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	8.5 ㎜時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22 ㎜時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B 寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	8.5 ㎜時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22 ㎜時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B 寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

7 アフターサービスについて

本製品のアフターサービスについて説明します。

- ご購入時に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より 6ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
- 本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後 5 年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- 本製品のご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障時は下記にご連絡ください。
  - お問い合わせ窓口

    保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は専用の窓口に、未契約のお客様はハードウェア修理相談センターにご連絡ください。

    ハードウェア修理相談センター
    通話料無料：0120-422-297
    受付時間：平日 9:00 ～ 17:00（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）

- 本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または弊社の担当営業／ SE にお問い合わせください。
  なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。

使用済みトナーカートリッジ、 ドラムカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。使用済みカートリッジの回収連絡は、次の「エコ受付センター」までご連絡ください。

- エコ受付センター
  通話料無料：0120-300-693
  平日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
- プリンタ消耗品無償回収サービス
  http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/

ご協力をお願いいたします。

修理装置の返却準備 ～お客様へ～

「お問い合わせ窓口」（→ P.232）に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、次の手順で準備をお願いいたします。

1 **オペレータパネルから設定の一覧を印刷し、設定を復元するときに必要となる情報を控えます。**

詳しくは「設定の一覧印刷」（→ P.124）をご覧ください。

2 **拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、取り外します。**

詳しくは、拡張給紙ユニットの「取り外し」（→ P.55）をご覧ください。

3 **「梱包して運搬する」（→ P.99）の手順に従って、本製品の梱包を行います。**

本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、 企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

本マニュアルで紹介している URL について

本マニュアルで紹介している URL は、以下のとおりです。

- 富士通製品情報
  http://www.fmworld.net/biz/
- 富士通コワーコお客様総合センター
  http://www.fujitsu.com/jp/coworco/
- プリンタ消耗品無償回収サービス
  http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/
- 保守サービスについて
  http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/products/
- 本製品の廃棄について
  http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html

ページプリンタ **XL-9381/9321**
ハードウェアガイド

B5WY-1611-01-00

発 行 日　2014 年 12 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123　東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター